

豊島区職員の男女平等意識に関する調査

報 告 書

(平成21年9月実施)

豊 島 区

目次

I	調査実施の概要	1
1	調査目的	1
2	調査内容	1
3	調査設計	1
4	回収結果	1
5	報告書の見方	1
6	経年比較・平成21年住民意識調査との比較について	2
7	回答者の属性	3
II	調査結果のあらまし	8
1	一般的な男女平等について	9
2	仕事について	22
3	職場について	34
4	生活について	52
III	調査票および単純集計結果	62

I 調査実施の概要

1 調査目的

区行政を男女共同参画の視点のもとで積極的に推進するため、それを担う職員の意識及び職場の状況を把握し、今後の施策の資料とする。

2 調査内容

- (1) 一般的な男女平等について
- (2) 仕事について
- (3) 職場について
- (4) 生活について

3 調査設計

- (1) 調査対象者 全職員の中から無作為抽出
- (2) 抽出数 500人
- (3) 調査方法 交換便による個別配布個別回収
- (4) 調査時期 平成 21 年 9 月 7 日 ～ 9 月 16 日
- (5) 集 計 人事課・男女平等推進センター

4 回収結果

- (1) 調査対象数 500人
- (2) 有効回答数 326人
- (3) 有効回収率 65.2%

5 報告書の見方

- (1) この報告書中の数値は、原則として回答者総数(女性190人男性136人。全体的場合は326人)を100%とした数値である。
- (2) 図表中のnとは回答者総数(または該当質問での該当者数)のことである。
- (3) 集計は小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- (4) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基礎として算出した。
- (5) 住民意識調査との比較は、平成21年8月実施の住民意識調査と比較した。
- (6) 職員意識調査との比較は、平成17年11月実施の職員意識調査と比較した。

6 経年比較・平成21年住民意識調査との比較

男女平等意識の推移を見るために、平成17年調査との経年比較を行った。

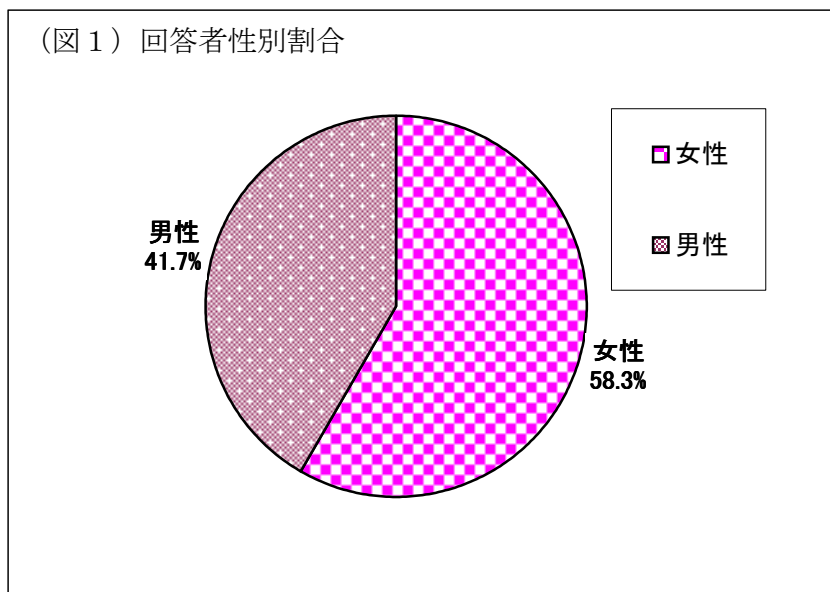
また、平成21年住民意識調査と内容を同じくする設問については、職員の意識動向をとらえるために比較を行った。

	豊島区職員の男女平等意識に関する調査 (平成17年11月実施)	今回調査 (平成21年9月実施)
調査内容	①一般的な男女平等について ②仕事について ③職場について ④生活について	①一般的な男女平等について ②仕事について ③職場について ④生活について
設問数	23問・属性8問	26問・属性8問
対象	全職員(清掃職員移管前)から無作為抽出 500人	全職員から無作為抽出 500人
回収数 (率)	342人 68.4% 女性 71.8%、男性 63.4%	326人 65.2% 女性 68.3%、男性 61.3%
調査方法	庁内交換配布 (調査票記入回答)	庁内交換配布 (調査票記入回答)
調査時期	平成17年11月28日 ～12月7日	平成21年9月7日 ～9月16日
集計・ 分析	総務部人事課 男女平等推進センター	総務部人事課 男女平等推進センター

7 回答者の属性

(1) 性別…女性6割、男性4割

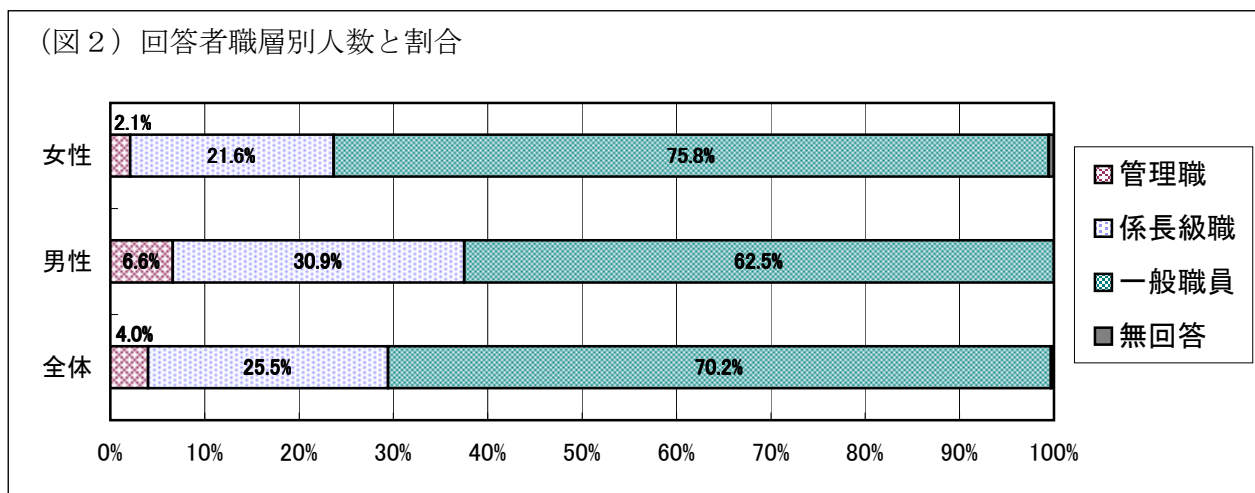
回答者326名のうち、女性58.3%、男性は41.7%と女性が大きく上回っている。平成17年調査と同様の傾向である。(区役所全体の職員比率、女性56.6%、男性43.4%)



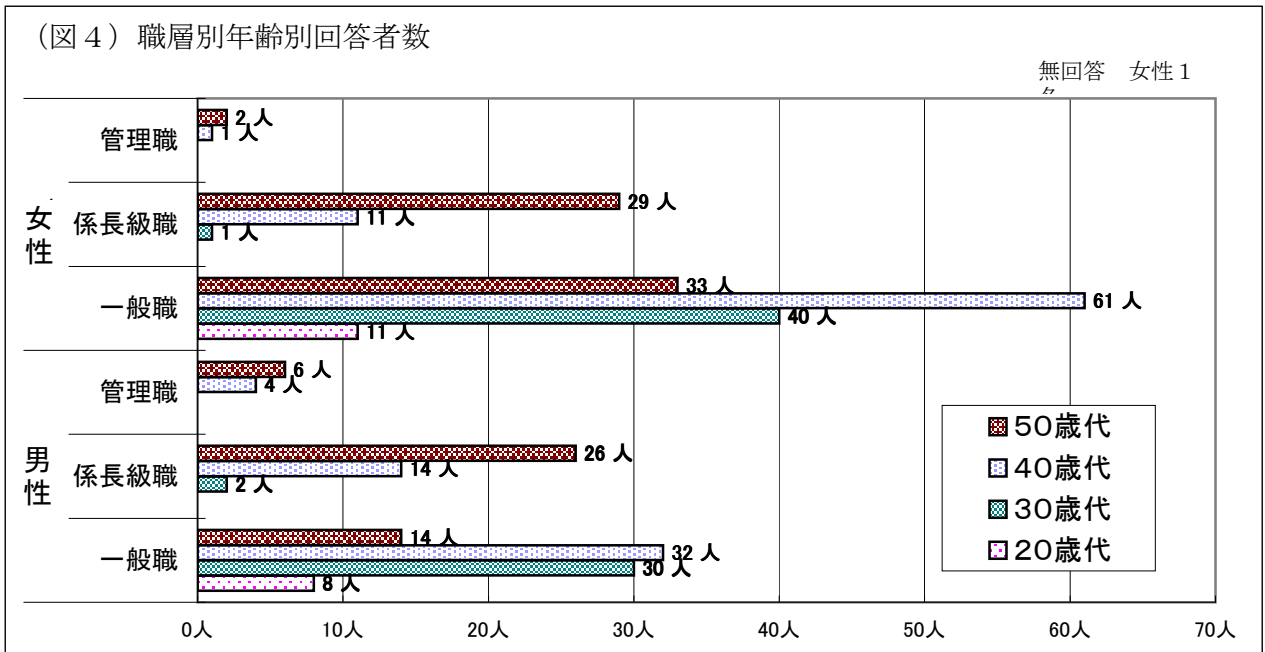
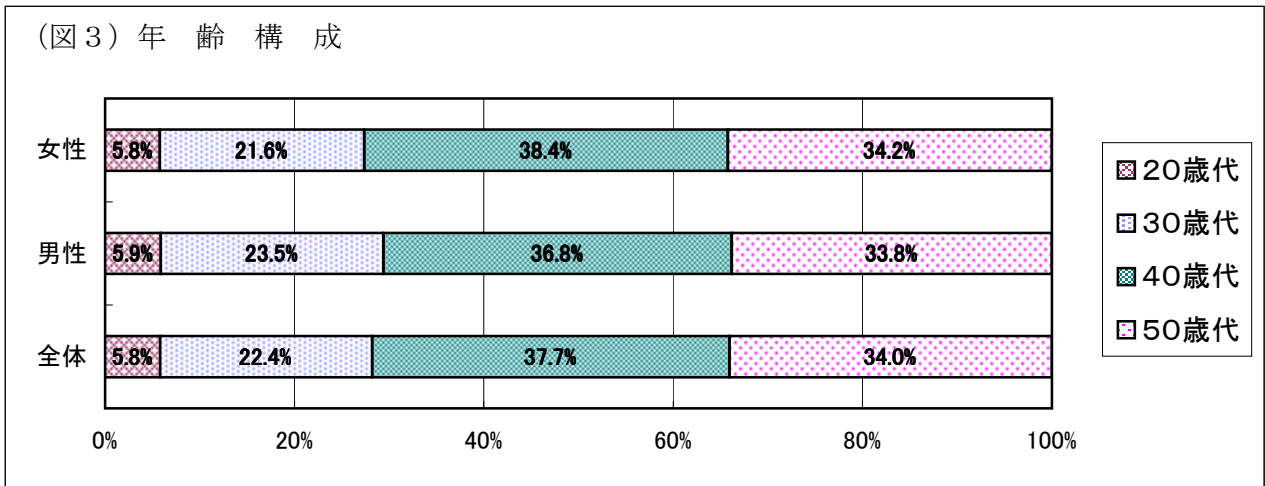
女性 190人
男性 136人
全体 326人

(2) 回答者職層…女性は75.8%が一般職である。

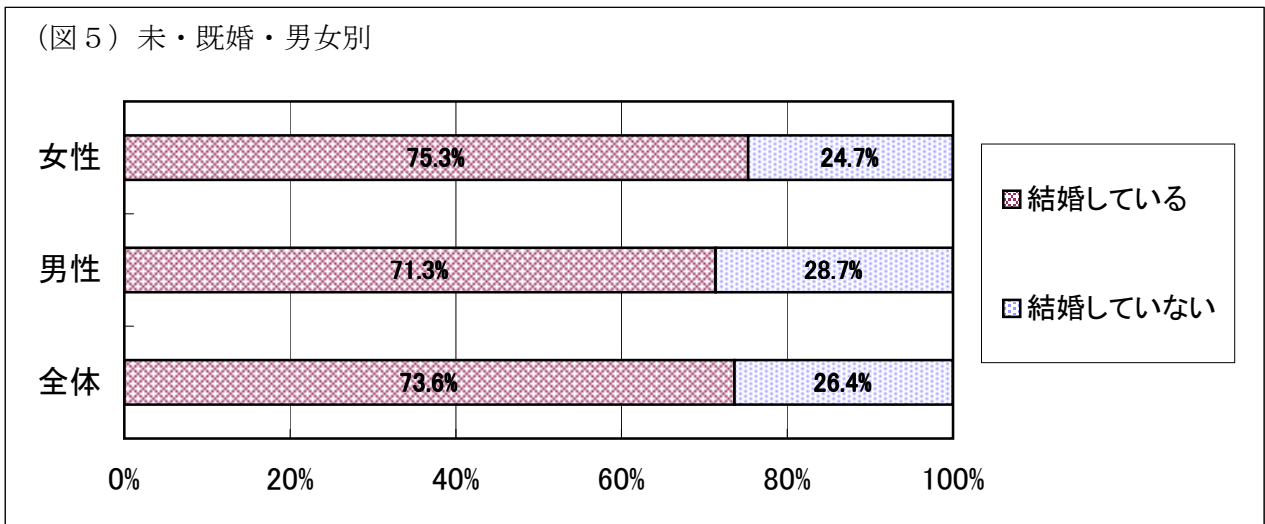
職層	女性	男性	全体
管理職	2.1%	6.6%	4.0%
係長級職	21.6%	30.9%	25.5%
一般職員	75.8%	62.5%	70.2%
無回答	0.5%	0.0%	0.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%



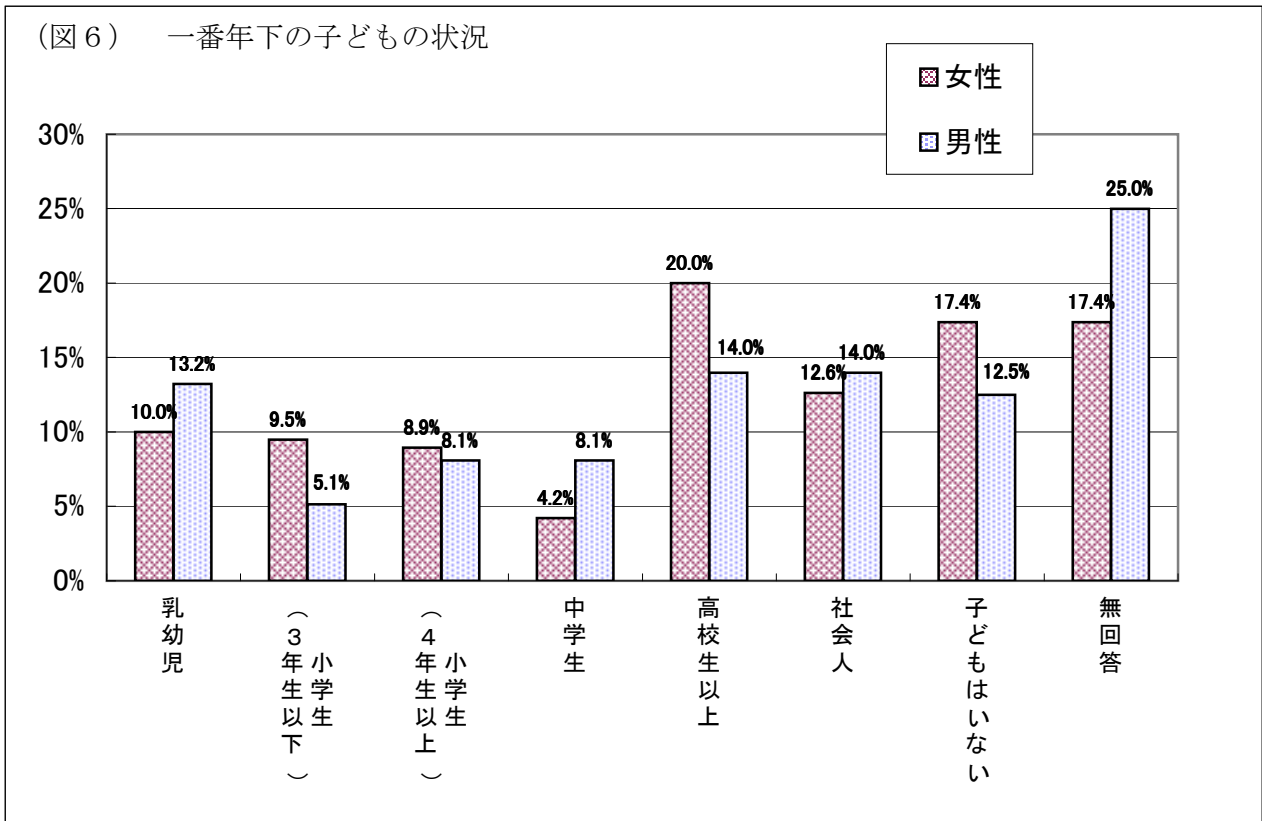
(3) 回答者年齢…40歳未満は約3割弱。女性・男性共、40歳代・50歳代が多い。



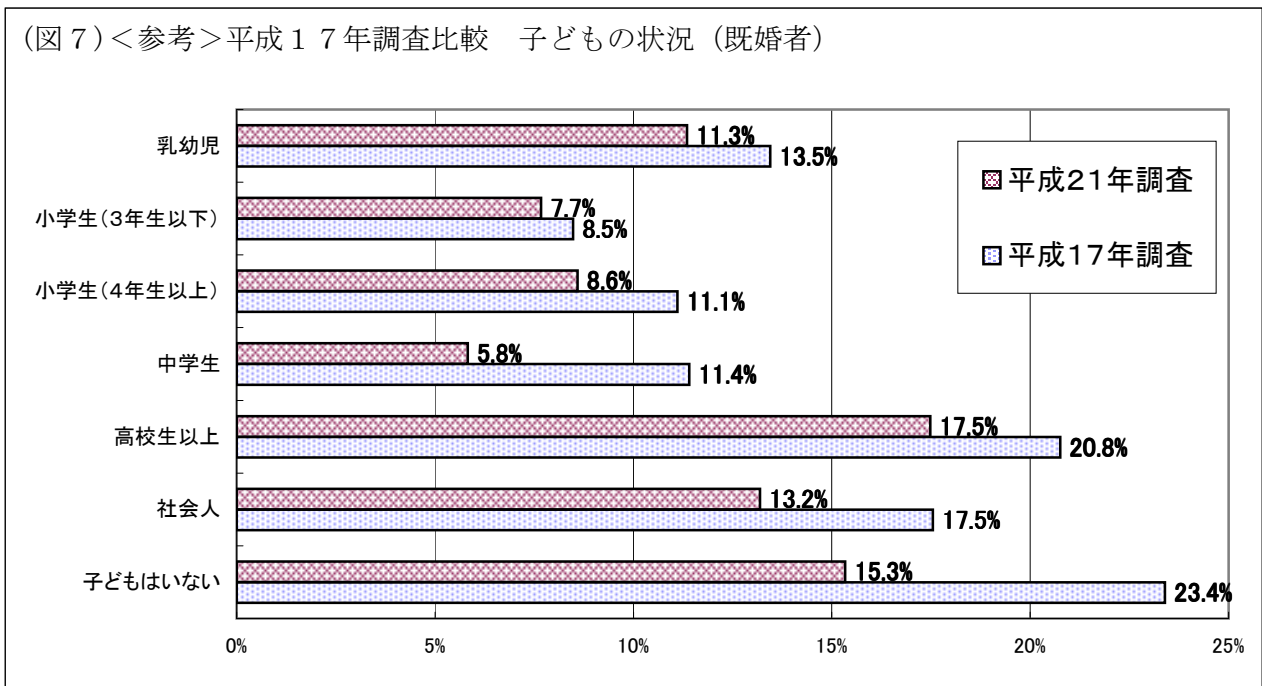
(4) 結婚の状況…男女とも約7割強が結婚している。



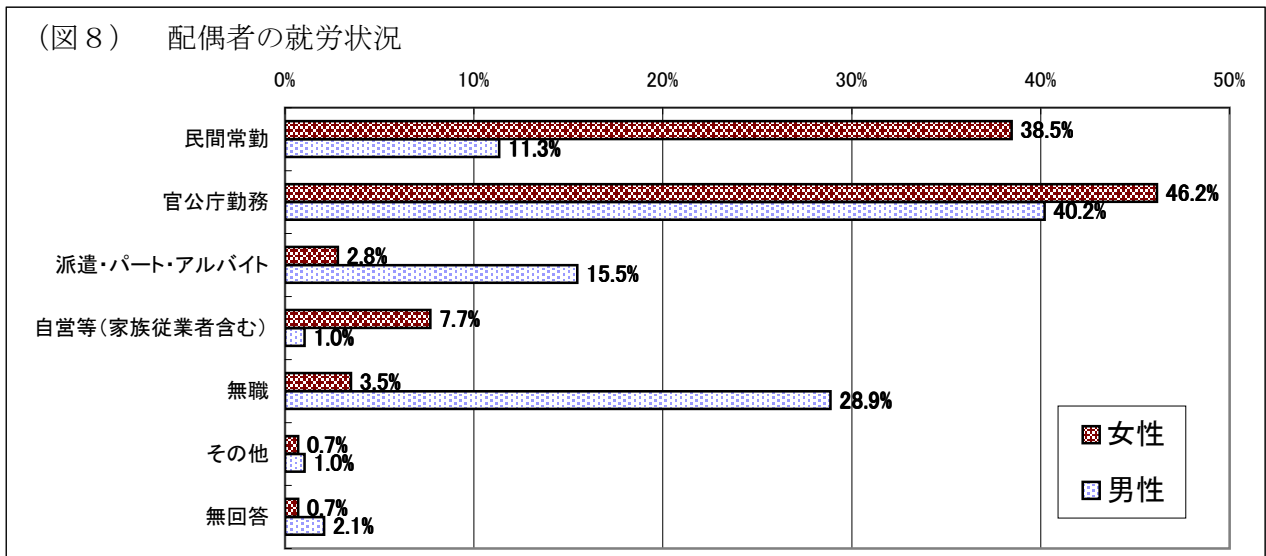
(5) 一番年下の子どもの状況…乳幼児を持つ人は男女全体で11.3%



<参考>平成17年調査の設問は「子どもの状況は」と聞いているので今回との直接比較は出来ない。(参考値)

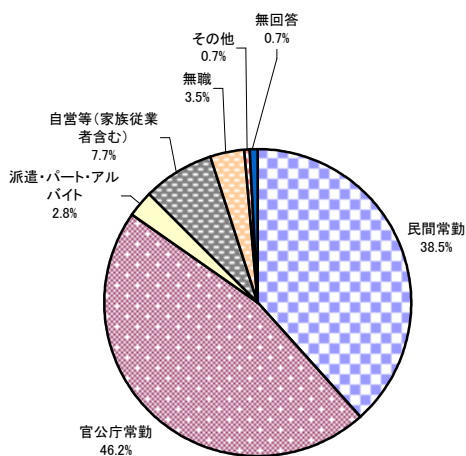


(6) 配偶者就労状況（配偶者のいる方）…女性職員では95.8%、男性職員でも68.0%は、配偶者が職業を持っている。内訳は、女性は官公庁勤務46.2%・民間常勤38.5%、男性は官公庁勤務40.2%、次いで無職28.9%となっている。

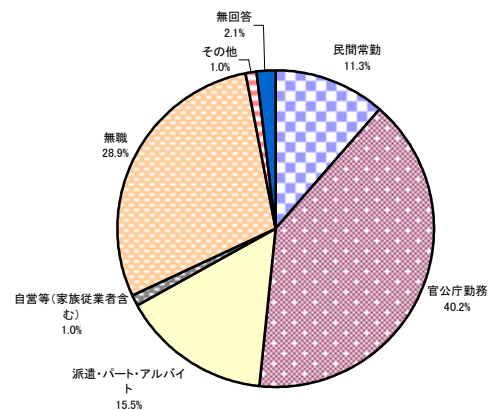


(図9) 配偶者の就労状況(男女別比較)

配偶者の就労状況(女性職員)



配偶者の就労状況(男性職員)

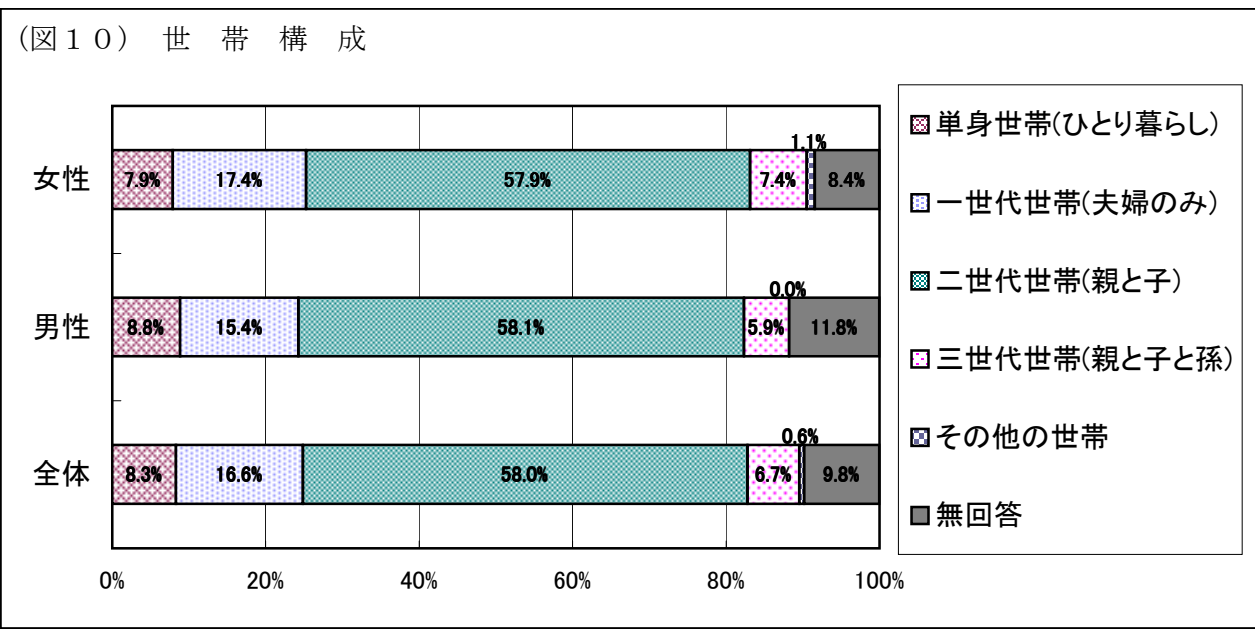


職層別・男女別 配偶者の就労状況

	管理職		係長級職		一般職	
	女	男	女	男	女	男
民間常勤	1		9	2	45	9
官公庁勤務		4	16	15	49	20
派遣・パート・アルバイト		2	1	7	3	6
自営等(家族従業者含む)		1	4		7	0
無職		3	4	12	1	13
その他			0		1	1
計	1	10	34	36	106	49

職層無回答 女性1名 就労状況無回答 女性1名 男性2名

(7)世帯構成…男女とも「本人夫婦と未婚の子ども」が60%弱である。



世帯構成	女性	男性	全体
単身世帯(ひとり暮らし)	7.9%	8.8%	8.3%
一世代世帯(夫婦のみ)	17.4%	15.4%	16.6%
二世世代世帯(親と子)	57.9%	58.1%	58.0%
三世世代世帯(親と子と孫)	7.4%	5.9%	6.7%
その他の世帯	1.1%	0.0%	0.6%
無回答	8.4%	11.8%	9.8%

Ⅱ 調査結果のあらまし

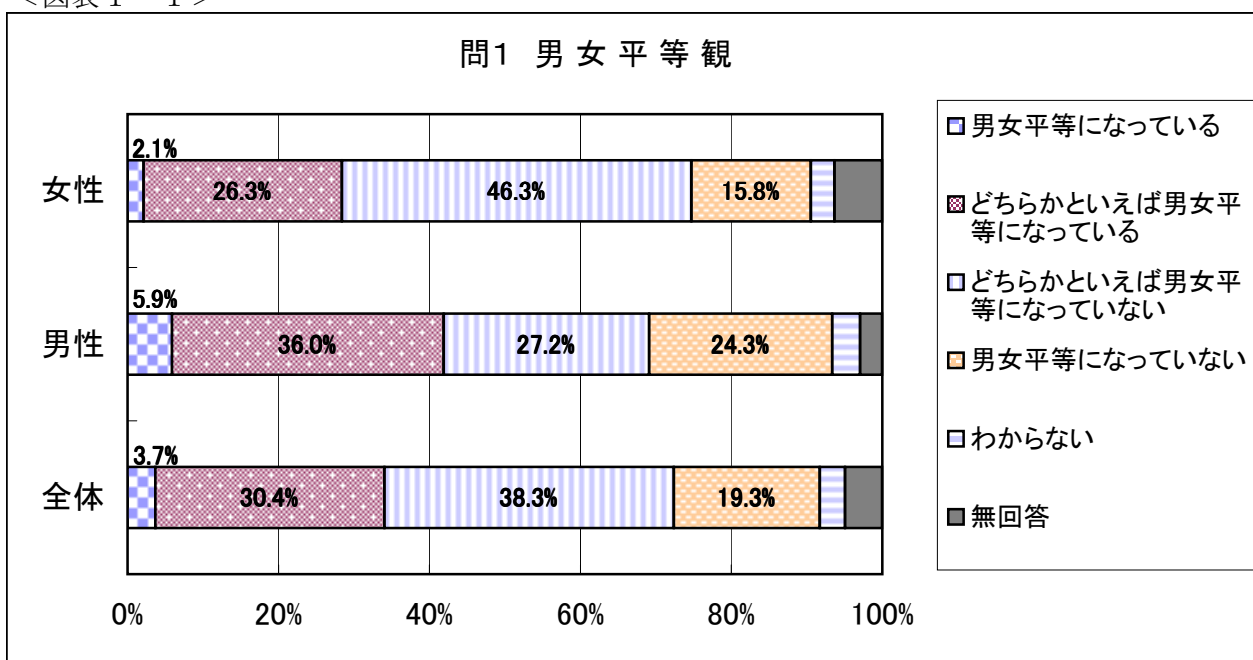
《 1 一般的な男女平等について 》

問1 あなたは、今の世の中は男女平等になっていると思いますか。(○は1つ)

	女性	男性	全体
男女平等になっている	4 2.1%	8 5.9%	12 3.7%
どちらかといえば男女平等になっている	50 26.3%	49 36.0%	99 30.4%
どちらかといえば男女平等になっていない	88 46.3%	37 27.2%	125 38.3%
男女平等になっていない	30 15.8%	33 24.3%	63 19.3%
わからない	6 3.2%	5 3.7%	11 3.4%
無回答	12 6.3%	4 2.9%	16 4.9%
総計	190 100.0%	136 100.0%	326 100.0%

女性 n = 190
男性 n = 136
全体 n = 326

<図表1-1>



「男女平等になっている」と「どちらかといえば男女平等になっている」を合わせた割合は女性で28.4%であるのに対し、男性は41.9%と13.5ポイント高くなっています。

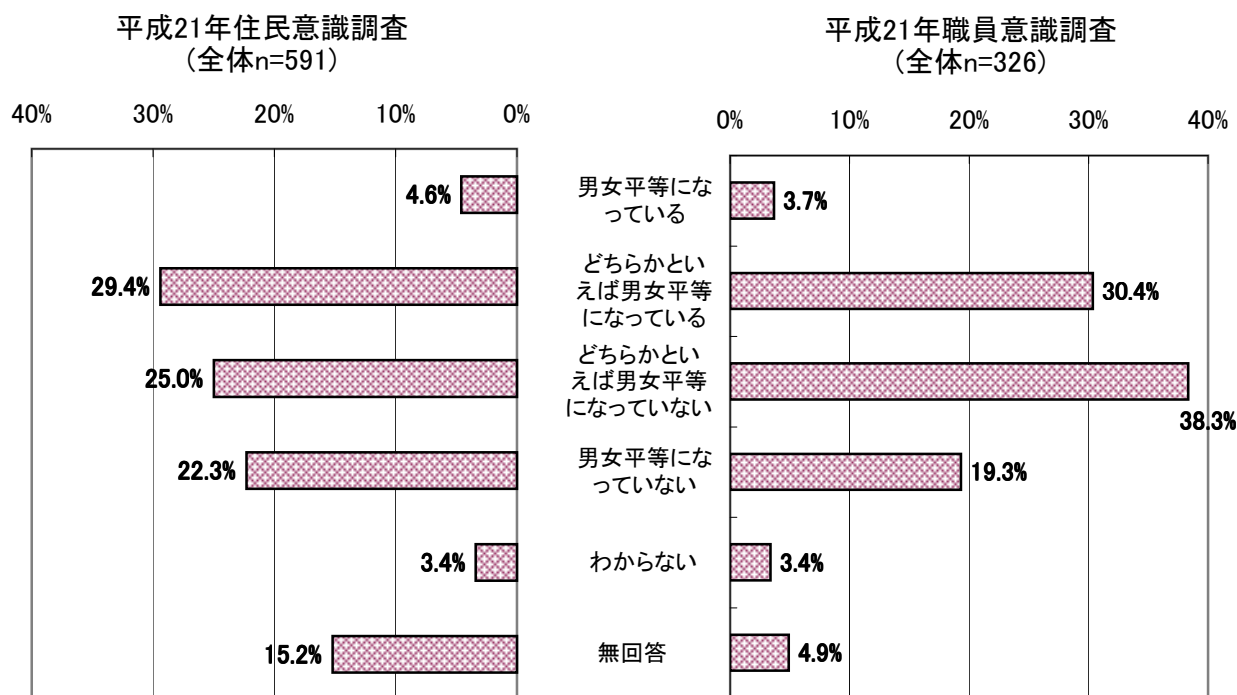
また、住民意識調査（H21年8月実施）との比較においては、女性・男性ともあまり大きな差異はみられません。

「男女平等になっていない」「どちらかといえば男女平等になっていない」をあわせた割合は女性で62.1%であるのに対し、男性は51.5%と10.6ポイント低くなっています。

また、住民意識調査（H21年8月実施）との比較において、女性は職員意識調査が62.1%、住民意識調査が48.0%と14.1ポイント高いが、男性においては、あまり大きな差異はみられません。

<参考>住民意識調査・職員意識調査との比較

<図表1-2>

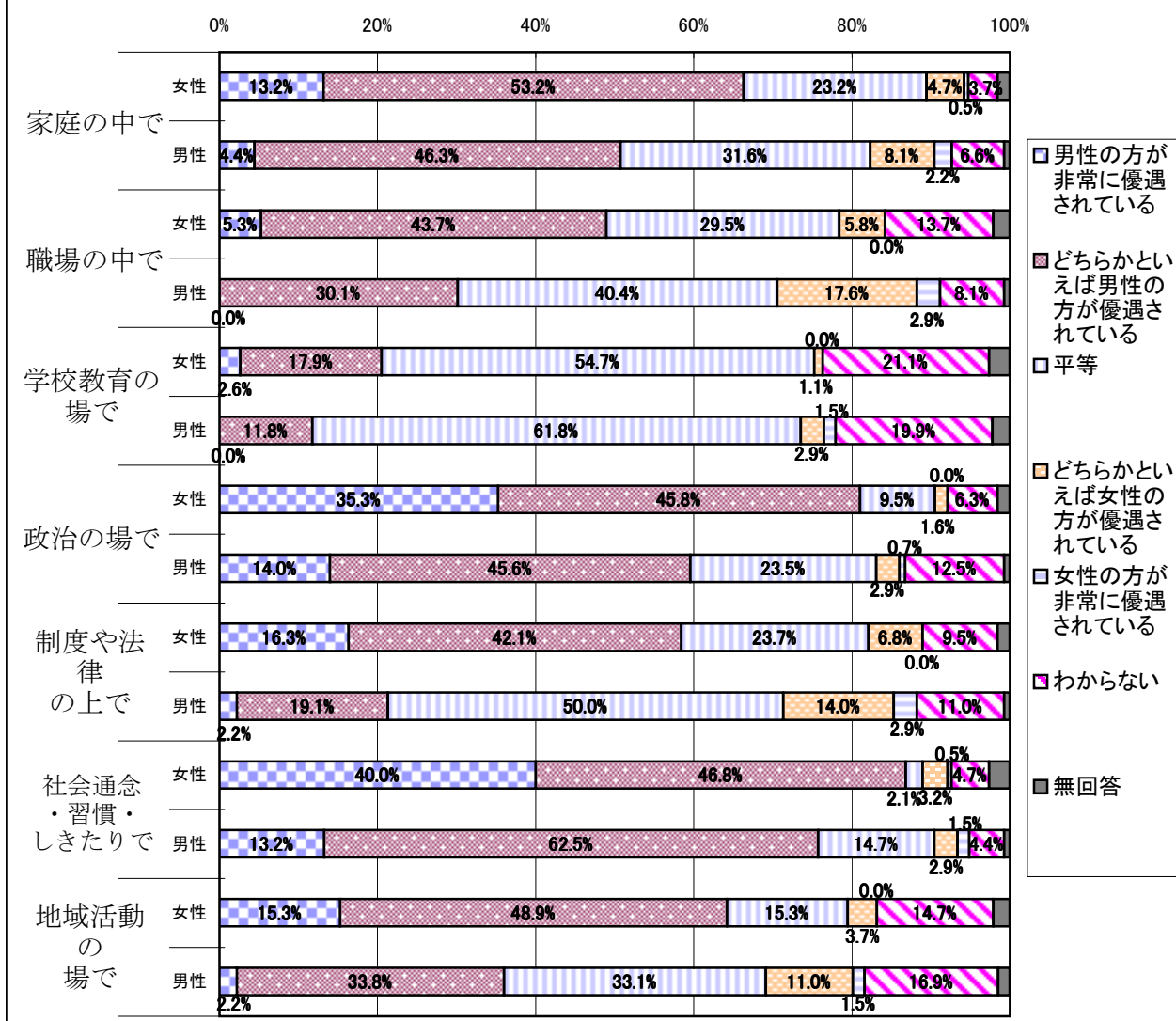


問2 では、次の a～g の分野では、男女平等がどの程度実現されていると思いますか。各分野ごとに、1～6の中から選んでください。（○はそれぞれ1つ）

女性n190 男性n136 全体n326

		男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	男女平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
a 家庭の中で	女性	13.2%	53.2%	23.2%	4.7%	0.5%	3.7%	1.6%
	男性	4.4%	46.3%	31.6%	8.1%	2.2%	6.6%	0.7%
b 職場の中で	女性	5.3%	43.7%	29.5%	5.8%	0.0%	13.7%	2.1%
	男性	0.0%	30.1%	40.4%	17.6%	2.9%	8.1%	0.7%
c 学校教育の場で	女性	2.6%	17.9%	54.7%	1.1%	0.0%	21.1%	2.6%
	男性	0.0%	11.8%	61.8%	2.9%	1.5%	19.9%	2.2%
d 政治の場で	女性	35.3%	45.8%	9.5%	1.6%	0.0%	6.3%	1.6%
	男性	14.0%	45.6%	23.5%	2.9%	0.7%	12.5%	0.7%
e 制度や法律の上で	女性	16.3%	42.1%	23.7%	6.8%	0.0%	9.5%	1.6%
	男性	2.2%	19.1%	50.0%	14.0%	2.9%	11.0%	0.7%
f 社会通念・習慣・しきたり	女性	40.0%	46.8%	2.1%	3.2%	0.5%	4.7%	2.6%
	男性	13.2%	62.5%	14.7%	2.9%	1.5%	4.4%	0.7%
g 地域活動の場で	女性	15.3%	48.9%	15.3%	3.7%	0.0%	14.7%	2.1%
	男性	2.2%	33.8%	33.1%	11.0%	1.5%	16.9%	1.5%

<図表1-3> 男女平等の実現度



各分野の男女平等の実現度については、「男性の方が非常に優遇されている」・「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた『男性が優遇されている』は、「社会通念・慣習・しきたりで」が82.2%と最も高く、「政治の場で」（72.1%）、「家庭の中で」（59.8%）と続いています。

一方、「平等になっている」は、「学校教育の場で」が57.7%と最も高く、「制度や法律の上で」（34.7%）、「職場の中で」（34.0%）と続いています。

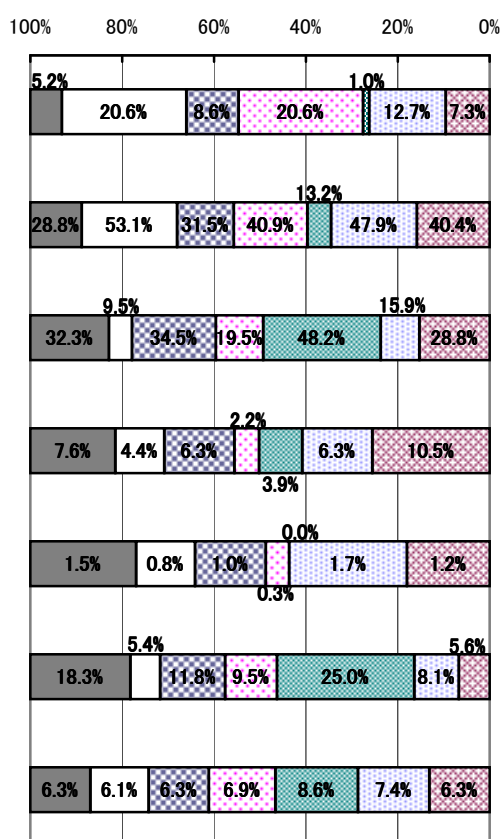
また、「女性の方が非常に優遇されている」・「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせた『女性が優遇されている』は、「職場の中で」が12.0%と最も高く、「制度や法律の上で」（11.0%）、「地域活動の場で」（7.4%）と続いています。

住民意識調査（H21年8月実施）との比較においては、職場の中で「平等になっている」が職員意識調査では34.0%、住民意識調査では15.9%と18.1ポイントの差があるが、その他は女性・男性とも大きな差異はみられません。

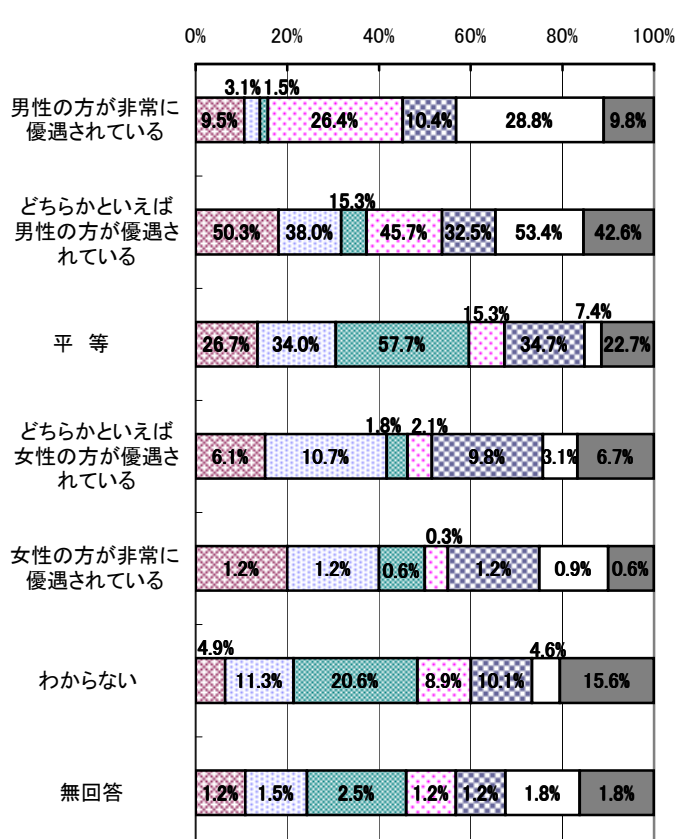
<参考>住民意識調査・職員意識調査との比較

<図表1-4>

平成21年住民意識調査(n=591)



平成21年職員意識調査(n=326)



家庭の中で
 職場の中で
 学校教育の場で
 政治の場で

制度や法律の上で
 社会通念・慣習・しきたりで
 地域活動の場で

問3 社会的に配偶者（事実婚や離婚後も含む）への暴力（DV）が問題になっていますが、配偶者間で次のようなことが行われた場合、あなたはそれを暴力だと思いますか。次の a～l ごとに、1～3 の中から選んでください。（○はそれぞれ1つ）

	女性n=190 男性n=136	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力の場合も、そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない	無回答
a 何を言っても無視する	女性 43.2% 男性 25.0%	53.2%	62.5%	3.2%	0.5%
b 交友関係や電話、メール、郵便を細かく監視する	女性 63.2% 男性 39.7%	33.2%	50.7%	3.2%	0.5%
c 自分が家にいるときは外出しないようにと言う	女性 62.6% 男性 39.0%	34.7%	51.5%	2.1%	0.5%
d 大切にしている物をわざと壊したり、捨てたりする	女性 88.9% 男性 86.0%	8.9%	12.5%	1.1%	0.7%
e 「誰のおかげで食べられるのだ」とか「かいしょうなし」と言う	女性 85.3% 男性 64.0%	13.2%	31.6%	1.1%	0.5%
f ながるふりをして、おどす	女性 93.7% 男性 75.7%	4.7%	22.1%	1.1%	0.7%
g ながる蹴るの暴力をふるう	女性 97.9% 男性 96.3%	0.5%	2.9%	1.1%	0.7%
h 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	女性 90.5% 男性 72.8%	7.4%	22.8%	1.1%	0.7%
i 避妊に協力しない	女性 83.7% 男性 72.1%	14.2%	23.5%	1.1%	1.5%
j おどしや暴力によって、意に反して性的な行為を強要する	女性 95.8% 男性 94.1%	3.2%	5.1%	0.5%	0.7%
k 大声でどなる	女性 78.4% 男性 56.6%	20.5%	41.2%	0.5%	0.7%
l 生活費を渡さない	女性 75.8% 男性 59.6%	22.6%	36.8%	1.1%	1.5%

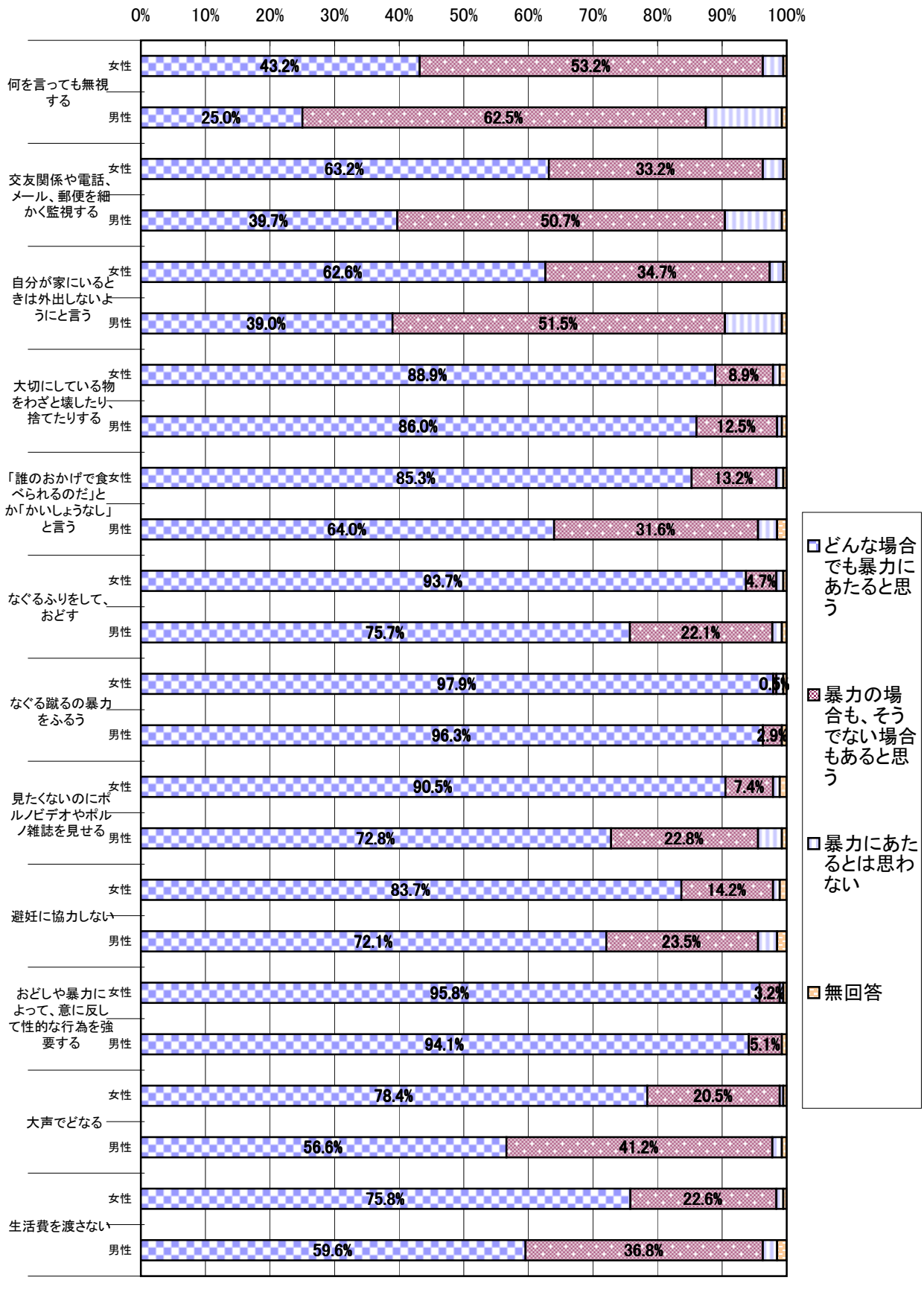
全体 n = 326

「どんな場合でも暴力にあたると思う」は、『ながる、蹴るの暴力をふるう』（女性97.9%、男性96.3%）が最も高く、次に『おどしや暴力によって、意に反して性的な行為を強要する』（女性95.8%、男性94.1%）が高い。

また、平成17年調査と比較すると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」では『交友関係や電話、メール、郵便を細かく監視する』14.5ポイント、『大声でどなる』11.4ポイント、『「誰のおかげで食べられるのだ」とか「かいしょうなし」と言う』10.9ポイントの増、その他ほとんどの項目で増となっている。

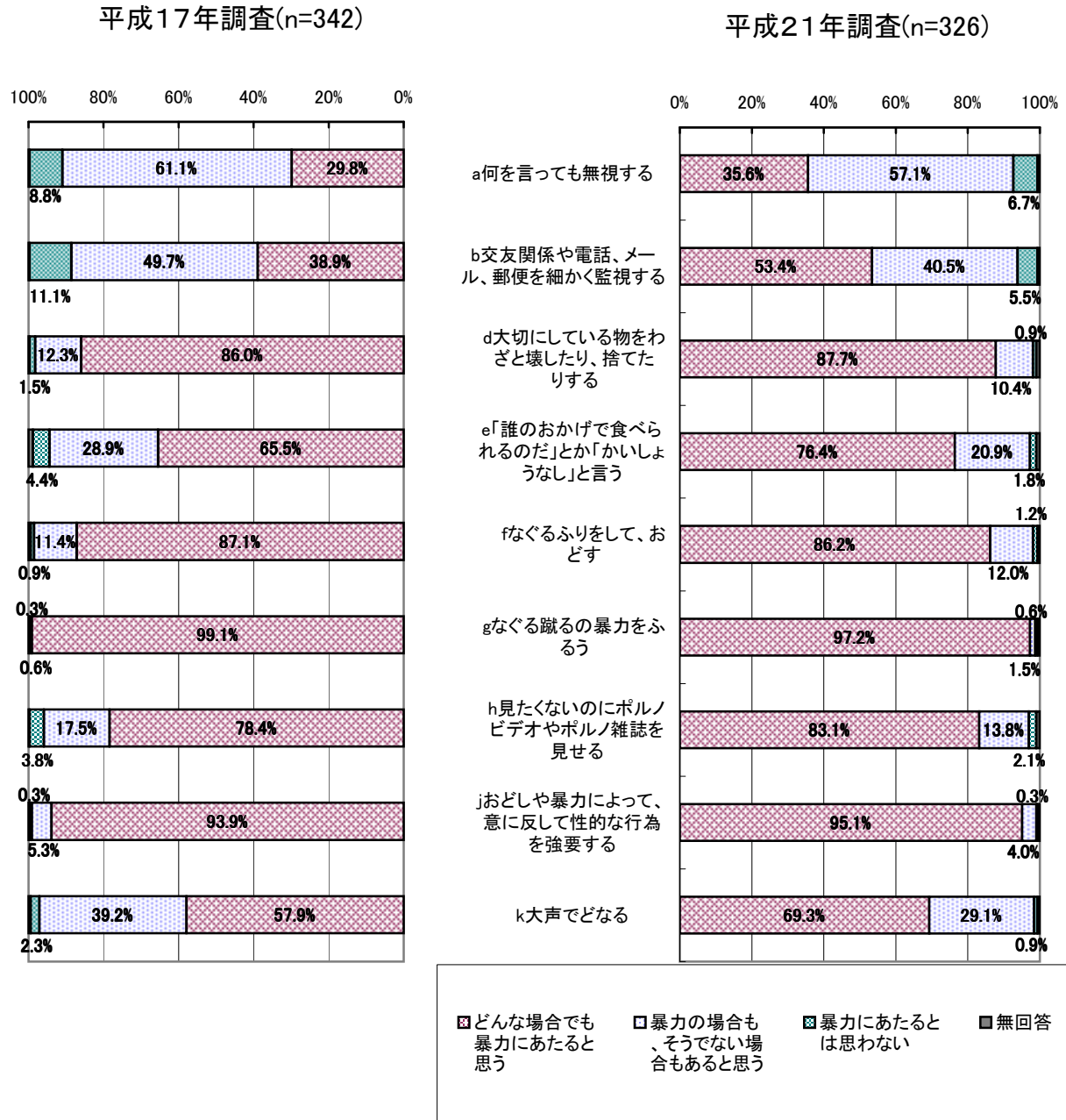
逆に、「暴力の場合も、そうでない場合もあると思う」・「暴力にあたるとは思わない」については、ほとんどの項目で減になっている。

<図表1-5> それぞれの行為がDVにあたると思うか？ 男女別比較



<参考>平成17年・平成21年職員意識調査との比較

<図表1-6>



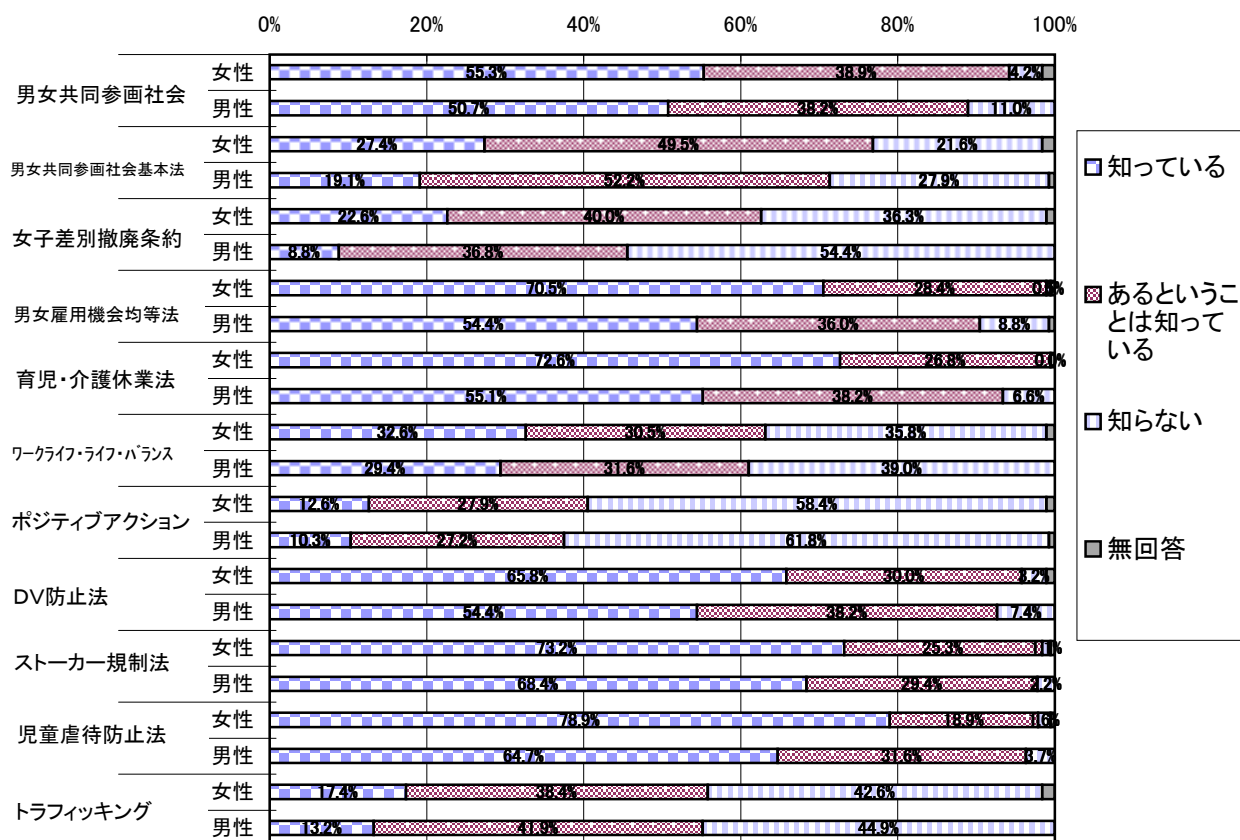
※前回調査に無い項目については比較していない。

- c 自分が家にいるときは外出しないようにと言う
- i 避妊に協力しない

問4 現在、男女共同参画社会の実現にむけて、法律や制度の整備が進んでいます。あなたは、国における次の法律・政策・用語を知っていますか。次の a～k ごとに、それぞれ当てはまるものを、1～3 の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

	女性n=190 男性n=136 全体n=326	知っている	あるとい うことは 知ってい	知らない	無回答
a 男女共同参画社会	女性	55.3%	38.9%	4.2%	1.6%
	男性	50.7%	38.2%	11.0%	0.0%
b 男女共同参画社会基本法	女性	27.4%	49.5%	21.6%	1.6%
	男性	19.1%	52.2%	27.9%	0.7%
c 女子差別撤廃条約	女性	22.6%	40.0%	36.3%	1.1%
	男性	8.8%	36.8%	54.4%	0.0%
d 男女雇用機会均等法（雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律）	女性	70.5%	28.4%	0.5%	0.5%
	男性	54.4%	36.0%	8.8%	0.7%
e 育児・介護休業法（育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律）	女性	72.6%	26.8%	0.0%	0.5%
	男性	55.1%	38.2%	6.6%	0.0%
f ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	女性	32.6%	30.5%	35.8%	1.1%
	男性	29.4%	31.6%	39.0%	0.0%
g ポジティブアクション（積極的改善措置）	女性	12.6%	27.9%	58.4%	1.1%
	男性	10.3%	27.2%	61.8%	0.7%
h DV防止法（配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律）	女性	65.8%	30.0%	3.2%	1.1%
	男性	54.4%	38.2%	7.4%	0.0%
i ストーカー規制法（ストーカー行為等の規制等に関する法律）	女性	73.2%	25.3%	1.1%	0.5%
	男性	68.4%	29.4%	2.2%	0.0%
j 児童虐待防止法（児童虐待の防止に関する法律）	女性	78.9%	18.9%	1.6%	0.5%
	男性	64.7%	31.6%	3.7%	0.0%
k トラフィッキング（人身取引）	女性	17.4%	38.4%	42.6%	1.6%
	男性	13.2%	41.9%	44.9%	0.0%

<図表1-7> 国の男女共同参画事業に係る用語・法律の認知度(男女別比較)



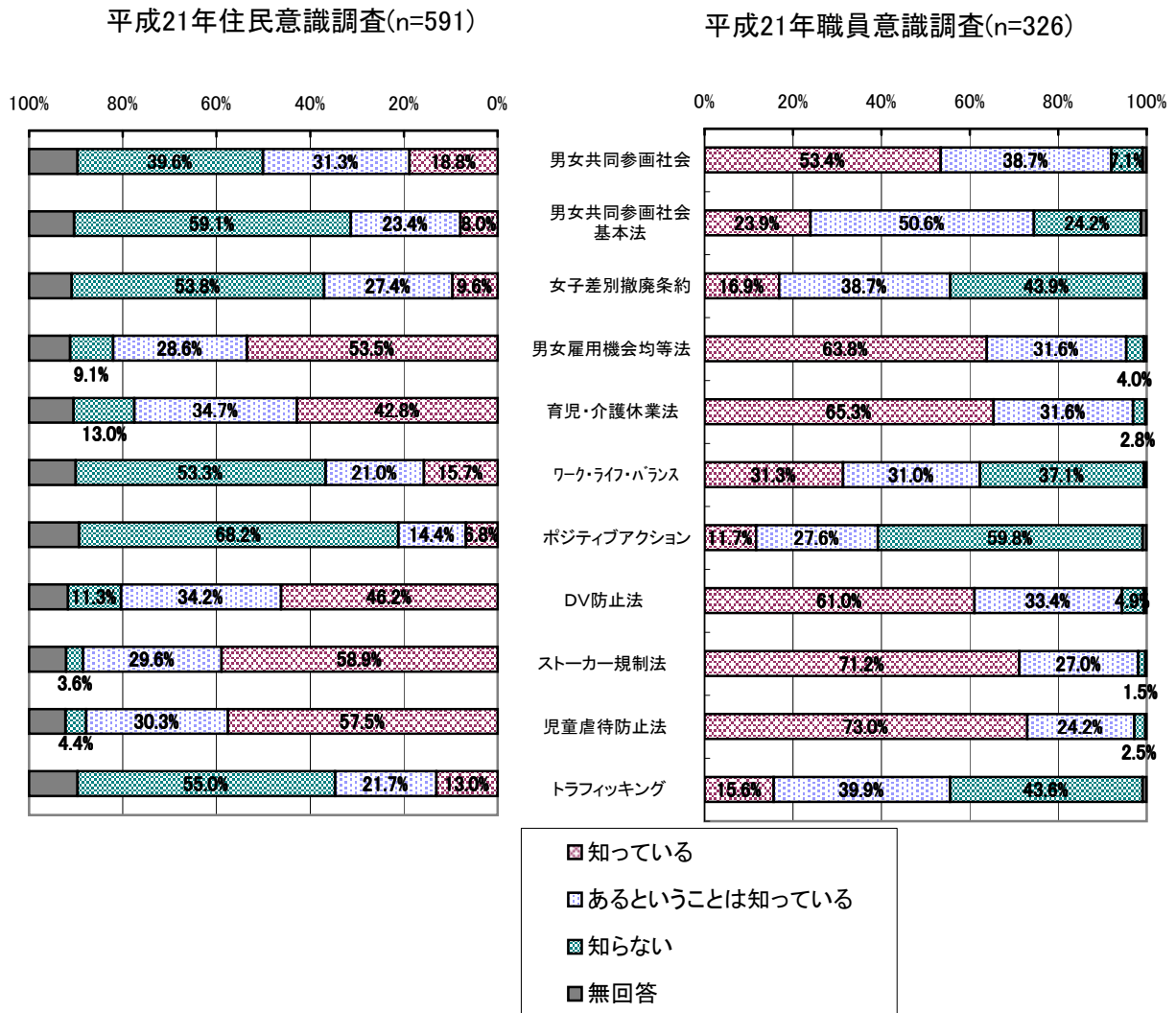
国の男女共同参画事業に係る用語・法律の認知度については、「知っている」・「あるということ知っている」を合わせた『知っている』は、「ストーカー規制法」が98.2%と最も高く、「児童虐待防止法」（97.2%）、「男女雇用機会均等法」（95.4%）と続いています。

逆に、認知度の低いのは、「ポジティブアクション」が39.3%と最も低く、「女子差別撤廃条約」（55.5%）、「トラフィッキング」（55.5%）、となっています。

また、住民意識調査（H21年8月実施）との比較においては、全項目で職員意識調査結果の方が認知度が高くなっています。特に、「男女共同参画社会基本法」41.9ポイント、「男女共同参画社会」43.2ポイント上回っています。

<参考>住民意識調査・職員意識調査との比較

<図表1-8> 国の男女共同参画事業に係る用語・法律の認知度（全体比較）

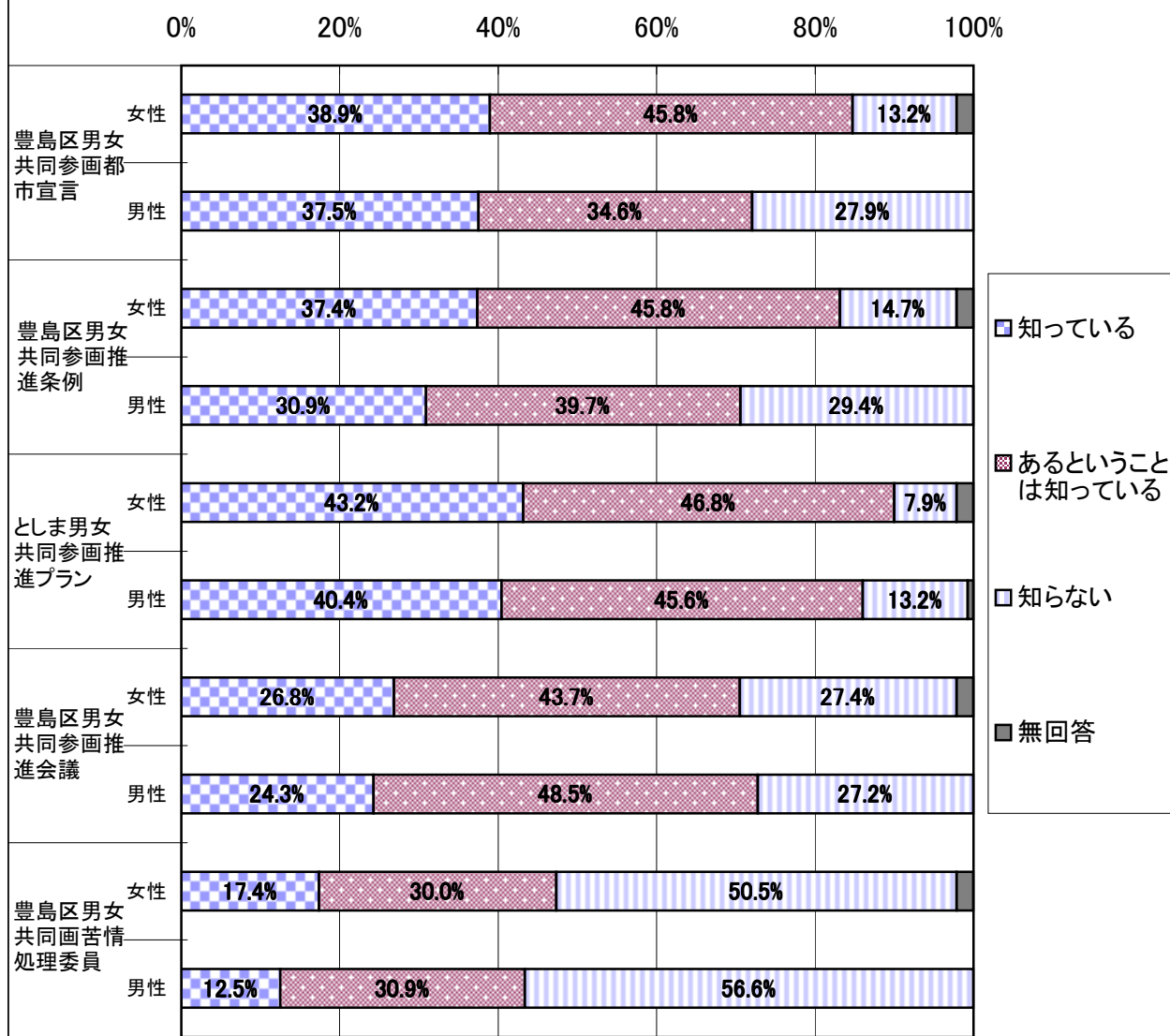


問5 あなたは、豊島区における次の事業・施策を知っていますか。次のa～eごとに、それぞれ当てはまるものを、1～3の中から選んでください。（○はそれぞれ1つ）

全体 n = 326

	女性n=190 男性n=136	知っている	あるとい うことは 知っている	知らない	無回答
a 豊島区男女共同参画都市宣言	女性	38.9%	45.8%	13.2%	2.1%
	男性	37.5%	34.6%	27.9%	0.0%
b 豊島区男女共同参画推進条例	女性	37.4%	45.8%	14.7%	2.1%
	男性	30.9%	39.7%	29.4%	0.0%
c としま男女共同参画推進プラン	女性	43.2%	46.8%	7.9%	2.1%
	男性	40.4%	45.6%	13.2%	0.7%
d 豊島区男女共同参画推進会議	女性	26.8%	43.7%	27.4%	2.1%
	男性	24.3%	48.5%	27.2%	0.0%
e 豊島区男女共同参画苦情処理委員	女性	17.4%	30.0%	50.5%	2.1%
	男性	12.5%	30.9%	56.6%	0.0%

<図表1-9> 豊島区における男女共同参画事業・施策の認知度



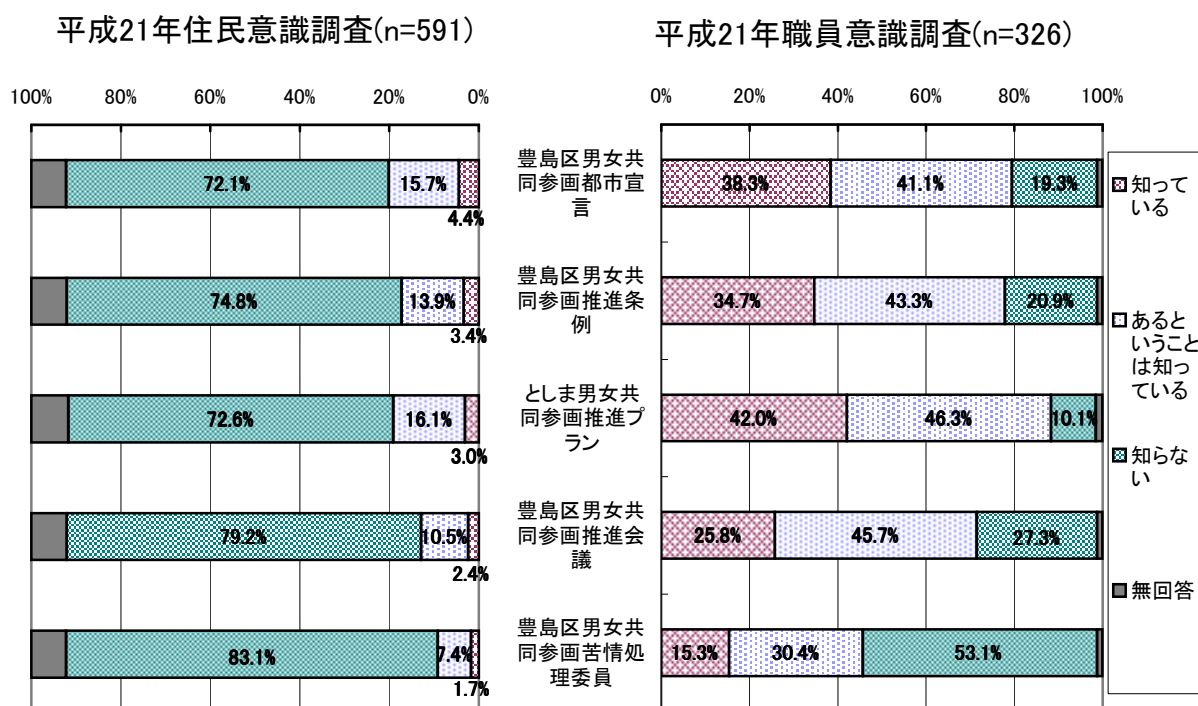
区の男女共同参画事業・施策の認知度については、「知っている」・「あるということは知っている」を合わせた『知っている』は、「としま男女共同参画推進プラン」が88.3%と最も高く、「豊島区男女共同参画苦情処理委員」が45.7%と最も低くなっています。

また、女性・男性との比較においては、全体的に女性の認知度が高くなっています。

職員意識調査・住民意識調査との比較においては、女性・男性とも職員の認知度が高くなっています。

<参考>住民意識調査・職員意識調査との比較

<図表1-10> 豊島区の男女共同参画事業に係わる事業・施策の認知度(全体比較)

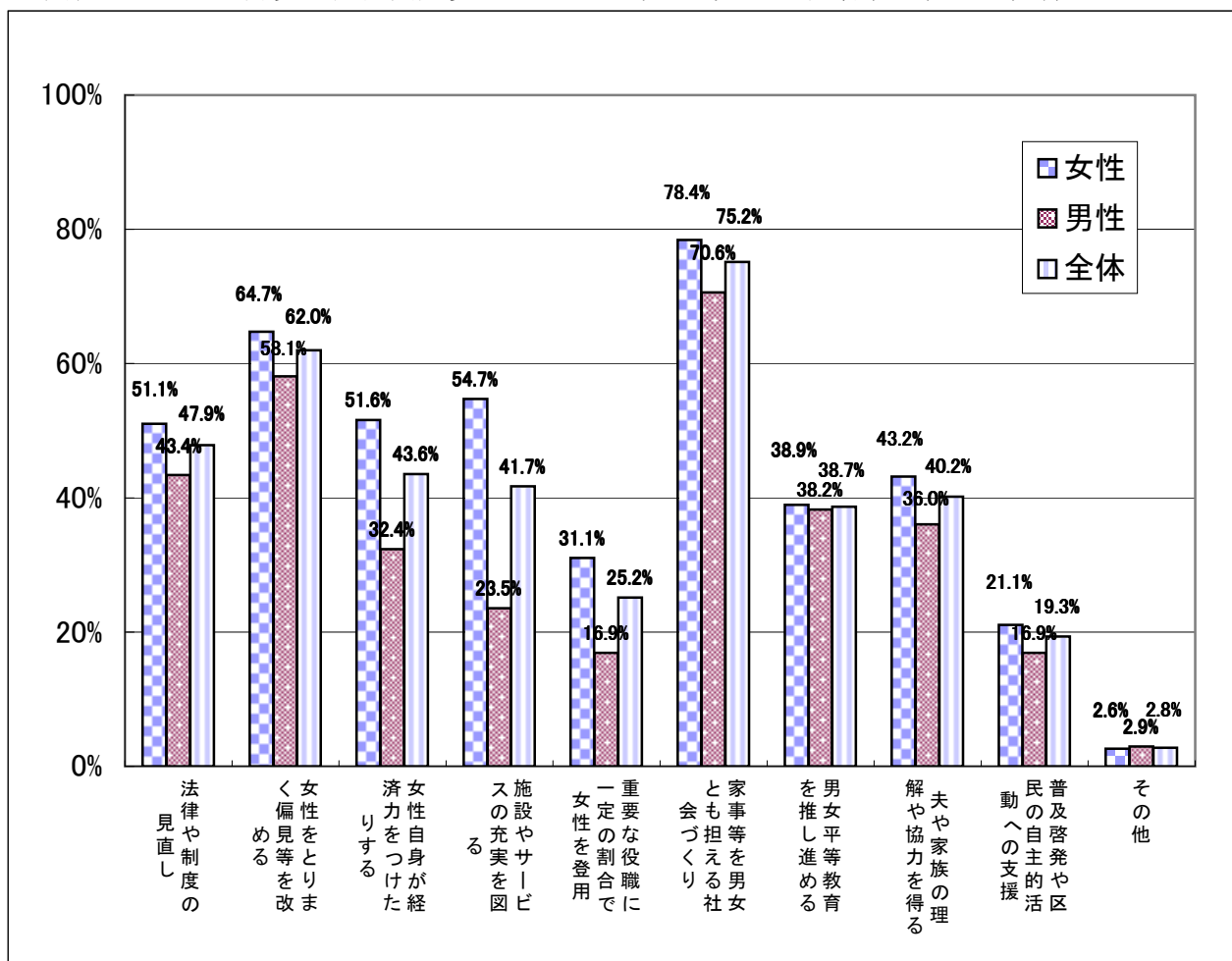


問6 男女共同参画社会を実現するために、あなたが重要であると思うことは何ですか。あなたの考えに近いものを選んでください。（○は該当するものいくつかでも）

	女性	男性	全体
法律や制度の見直しを行い、女性差別につながるものを改めること	97 51.1%	59 43.4%	156 47.9%
女性をとりまくさまざまな偏見や固定的な社会通念・慣習・しきたりを改めること	123 64.7%	79 58.1%	202 62.0%
女性自身が経済力をつけたり、積極的に知識・技術を習得すること	98 51.6%	44 32.4%	142 43.6%
女性の就業・社会参加を支援する施設サービスの充実を図ること	104 54.7%	32 23.5%	136 41.7%
行政や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること	59 31.1%	23 16.9%	82 25.2%
家事や育児、高齢者・病人の介護を、男女とも担える社会づくりを進めること	149 78.4%	96 70.6%	245 75.2%
学校や教育の場で、男女平等教育を推し進めること	74 38.9%	52 38.2%	126 38.7%
夫や家族の理解や協力を得ること	82 43.2%	49 36.0%	131 40.2%
男女平等に関する普及啓発や区民の自主的活動への支援などを行うこと	40 21.1%	23 16.9%	63 19.3%
その他	5 2.6%	4 2.9%	9 2.8%

女性 n = 190
男性 n = 136
全体 n = 326

<図表1-11>男女共同参画実現のために重要と思うこと 回答者に占める割合



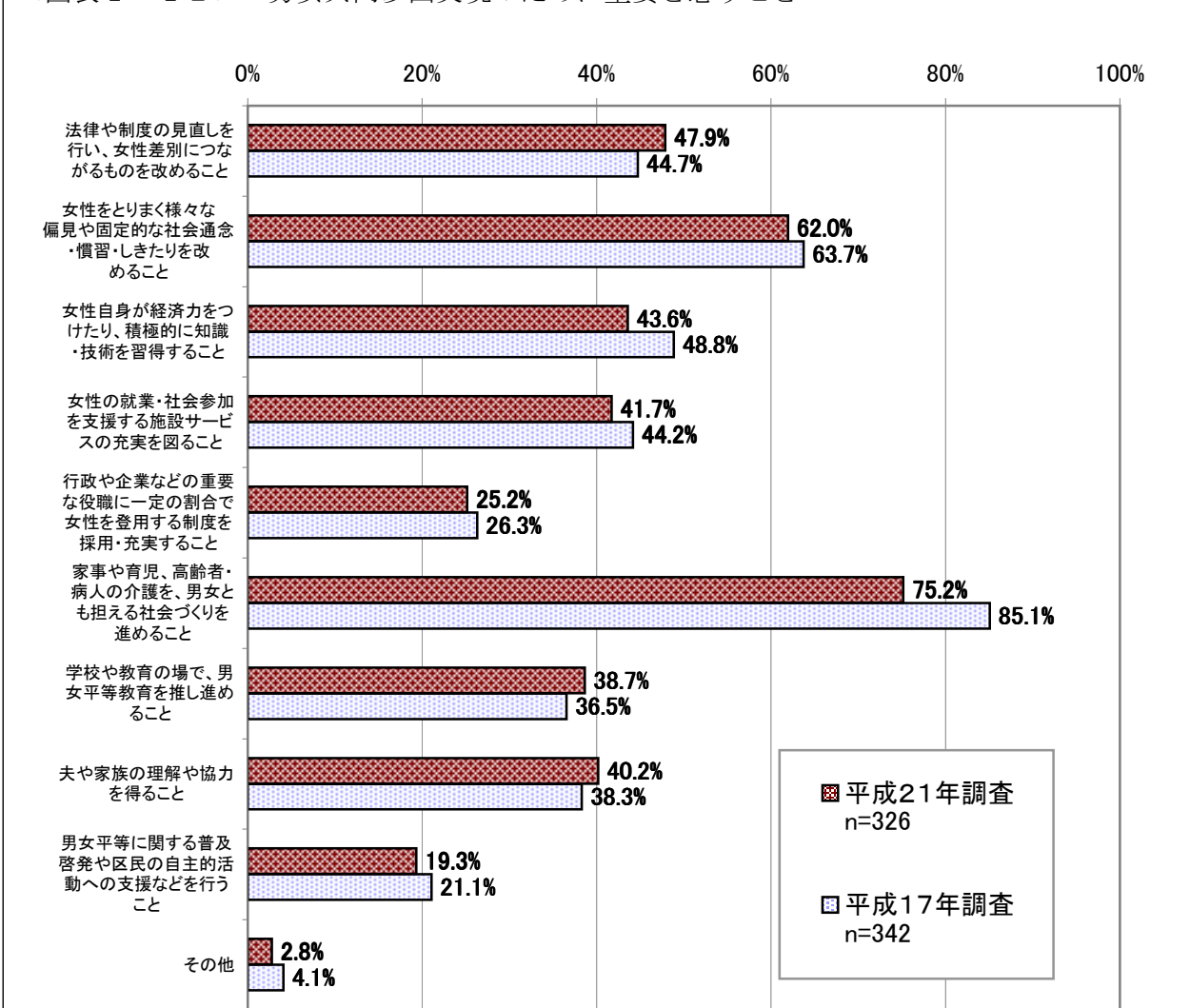
男女共同参画実現のために重要と思うことを複数回答してもらったところ、最も多かったのは「家事や育児、高齢者・病人の介護を、男女とも担える社会づくりを進めること」（女性78.4%、男性70.6%、全体75.2%）で、次に続く「女性をとりまく様々な偏見や固定的な社会通念・慣習・しきたりを改めること」（女性64.7%、男性58.1%、全体62.0%）を大きく引き離しています。

また、男女で違いが大きかったのは「女性自身が経済力をつけたり、積極的に知識・技術を習得すること」（女性51.6%、男性32.4%、19.2ポイント差）「女性の就業・社会参加を支援する施設サービスの充実を図ること」（女性54.7%、男性23.5%、31.2ポイント差）です。

平成17年調査と比較すると、「法律や制度の見直しを行い、女性差別につながるものを改めること」・「学校や教育の場で、男女平等教育を推し進めること」・「夫や家族の理解や協力を得ること」は上回っているが、それ以外は前回調査より下回っています。

<参考>平成21年・平成17年職員意識調査との比較

<図表1-12> 男女共同参画実現のために重要と思うこと



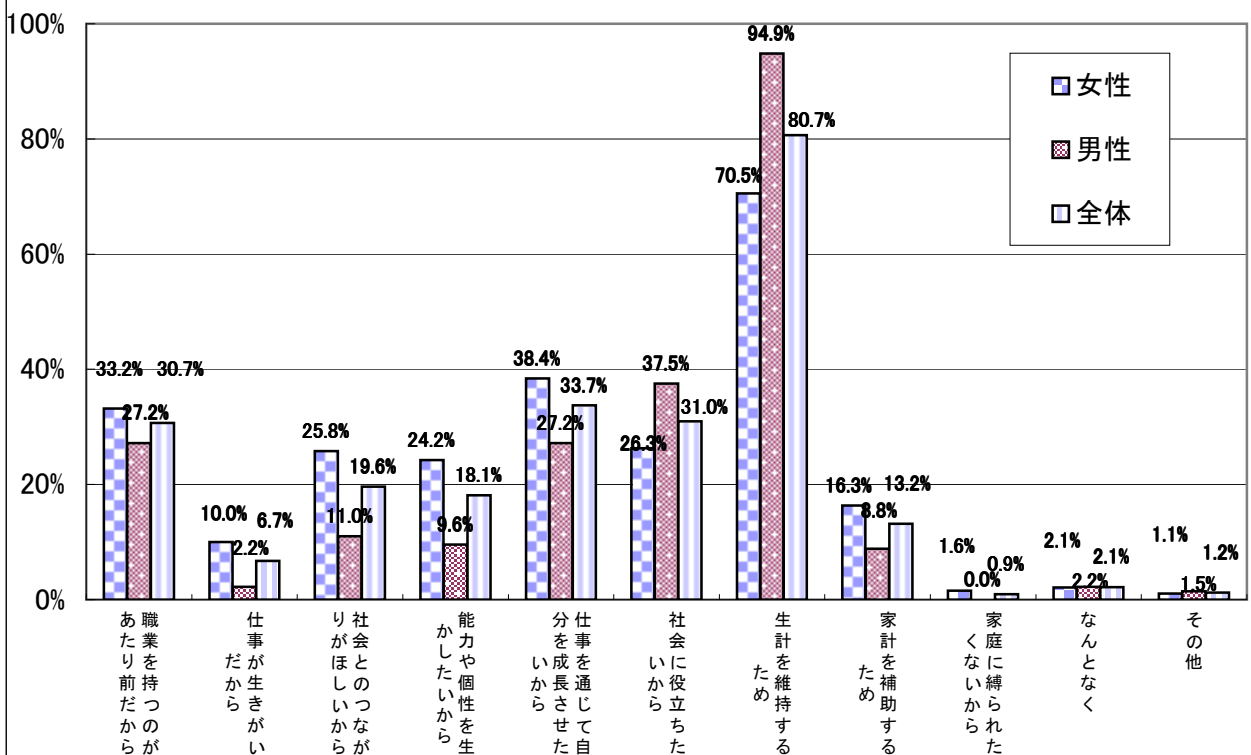
《 2 仕事について 》

問7 あなたが現在働いている理由は何ですか。(〇は3つまで)

	女性	男性	全体
職業を持つのがあたり前だから	63 33.2%	37 27.2%	100 30.7%
仕事が生きがいだから	19 10.0%	3 2.2%	22 6.7%
社会とのつながりがほしいから	49 25.8%	15 11.0%	64 19.6%
能力や個性を生かしたいから	46 24.2%	13 9.6%	59 18.1%
仕事を通じて自分を成長させたいから	73 38.4%	37 27.2%	110 33.7%
社会に役立ちたいから	50 26.3%	51 37.5%	101 31.0%
生計を維持するため	134 70.5%	129 94.9%	263 80.7%
家計を補助するため	31 16.3%	12 8.8%	43 13.2%
家庭に縛られたくないから	3 1.6%	0 0.0%	3 0.9%
なんとなく	4 2.1%	3 2.2%	7 2.1%
その他	2 1.1%	2 1.5%	4 1.2%

女性 n = 190
男性 n = 136
全体 n = 326

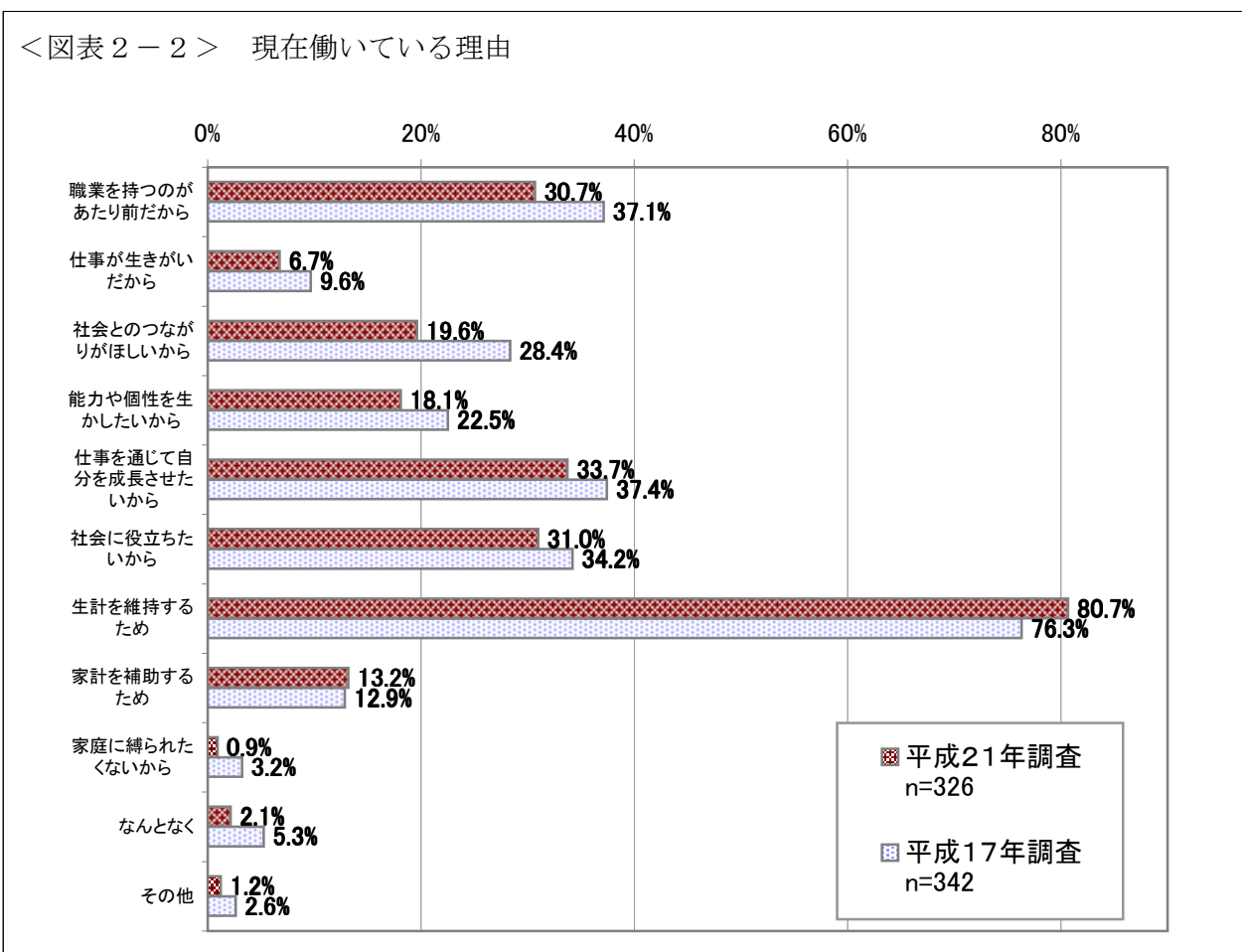
<図表2-1> 現在働いている理由



平成17年調査と比較すると、ほとんどの項目が微減ですが、「生計を維持するため」は男女とも高くなっています。

変化が大きかったものとしては男性の「職業を持つのが当たり前だから」（平成21年調査、27.2% 平成17年調査49.2%、22.0ポイント減）があげられます。

<参考>平成21年・平成17年職員意識調査との比較



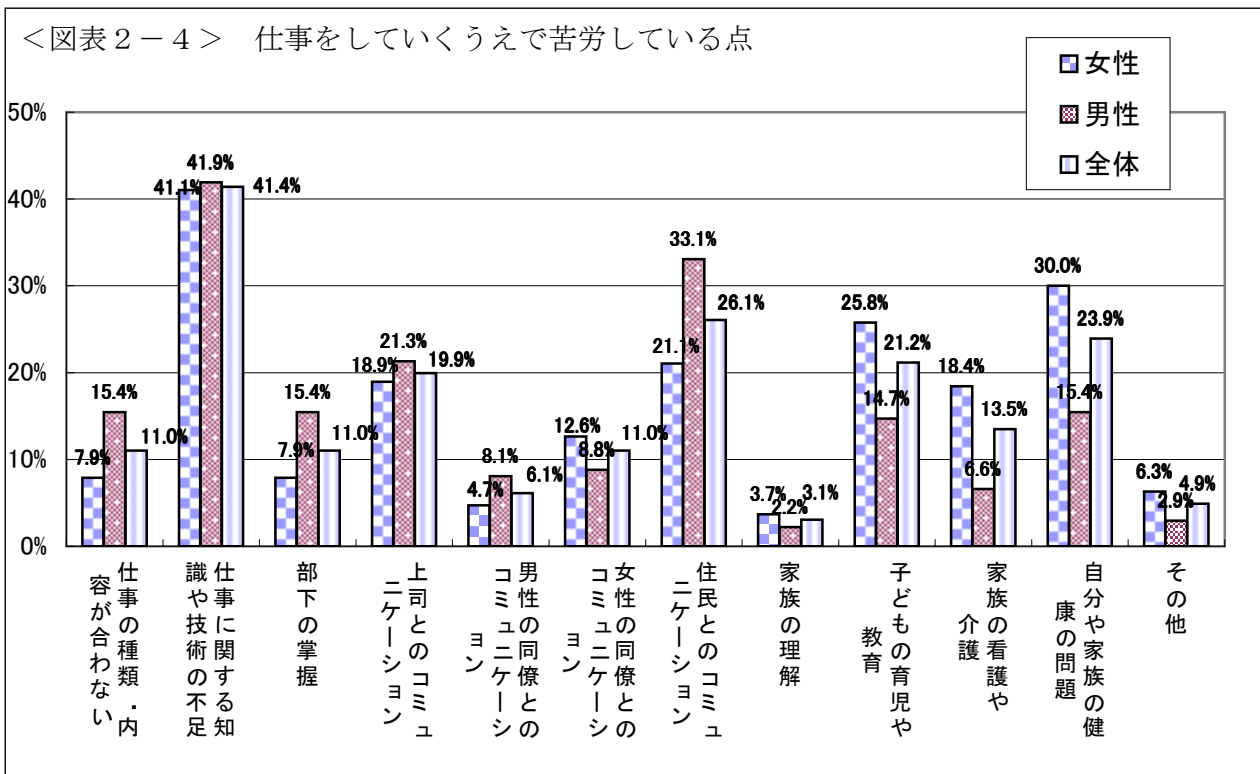
<図表2-3>職員意識調査男女別比較

	平成21年調査		平成17年調査	
	女性	男性	女性	男性
H21 女性n=190 男性n=136 H17 女性n=214 男性n=128				
職業を持つのが当たり前だから	33.2%	27.2%	29.9%	49.2%
仕事が生きがいだから	10.0%	2.2%	13.6%	3.1%
社会とのつながりがほしいから	25.8%	11.0%	30.4%	25.0%
能力や個性を生かしたいから	24.2%	9.6%	27.1%	14.8%
仕事を通じて自分を成長させたいから	38.4%	27.2%	42.5%	28.9%
社会に役立ちたいから	26.3%	37.5%	29.0%	43.0%
生計を維持するため	70.5%	94.9%	67.3%	91.4%
家計を補助するため	16.3%	8.8%	17.3%	5.5%
家庭に縛られたくないから	1.6%	0.0%	5.1%	0.0%
なんとなく	2.1%	2.2%	2.8%	9.4%
その他	1.1%	1.5%	3.3%	1.6%

問8 あなたが現在仕事をしていくうえで苦勞している点はどんなことですか。(○は3つまで)

	女性	男性	全体
仕事の種類・内容が合わない	15 7.9%	21 15.4%	36 11.0%
仕事に関する知識や技術の不足	78 41.1%	57 41.9%	135 41.4%
部下の掌握	15 7.9%	21 15.4%	36 11.0%
上司とのコミュニケーション	36 18.9%	29 21.3%	65 19.9%
男性の同僚とのコミュニケーション	9 4.7%	11 8.1%	20 6.1%
女性の同僚とのコミュニケーション	24 12.6%	12 8.8%	36 11.0%
住民とのコミュニケーション	40 21.1%	45 33.1%	85 26.1%
家族の理解	7 3.7%	3 2.2%	10 3.1%
子どもの育児や教育	49 25.8%	20 14.7%	69 21.2%
家族の看護や介護	35 18.4%	9 6.6%	44 13.5%
自分や家族の健康の問題	57 30.0%	21 15.4%	78 23.9%
その他	12 6.3%	4 2.9%	16 4.9%

女性 n = 190
男性 n = 136
全体 n = 326

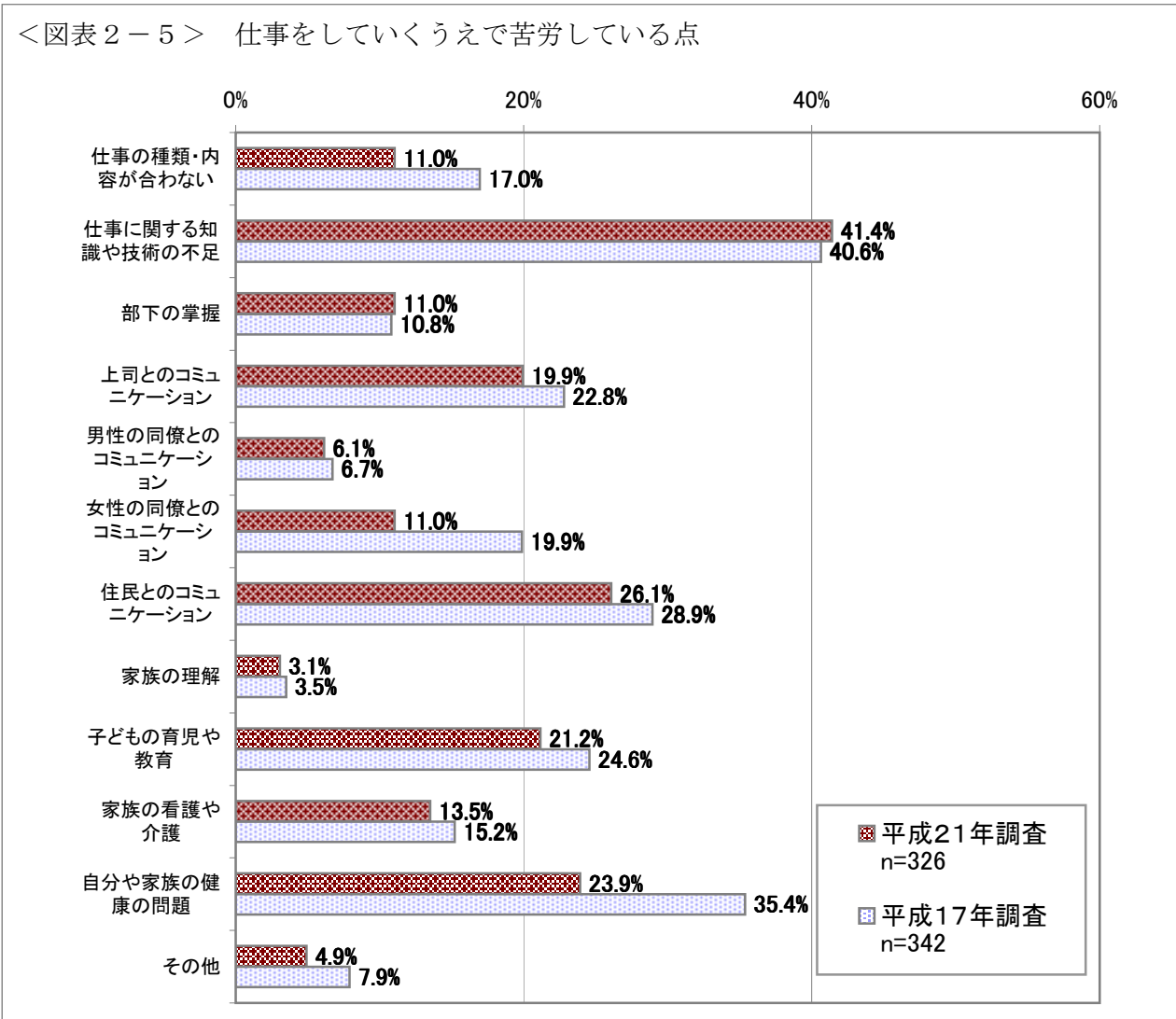


現在仕事をしていく上で苦勞している点をたずねたところ、全体としては「仕事に関する知識や技術の不足」(41.4%)、次に「住民とのコミュニケーション」(26.1%)をあげる人が多くなっています。男女別に見ると、女性では「仕事に関する知識や技術の不足」(41.1%)、「自分や家族の健康の問題」(30.0%)の順で高く、男性は、「仕事に

に関する知識や技術の不足」(41.9%)、「住民とのコミュニケーション」(33.1%)の順で高くなっています。

平成17年調査との比較では、「自分や家族の健康の問題」が35.4%から23.9%に減っています。

<参考>平成21年・平成17年職員意識調査との比較



<図表2-6>職員意識調査男女別比較

	平成21年調査		平成17年調査	
	女性	男性	女性	男性
H21 女性n=190 男性n=136 H17 女性n=214 男性n=128				
仕事の種類・内容が合わない	7.9%	15.4%	13.1%	23.4%
仕事に関する知識や技術の不足	41.1%	41.9%	36.4%	47.7%
部下の掌握	7.9%	15.4%	8.9%	14.1%
上司とのコミュニケーション	18.9%	21.3%	23.4%	21.9%
男性の同僚とのコミュニケーション	4.7%	8.1%	6.1%	7.8%
女性の同僚とのコミュニケーション	12.6%	8.8%	19.6%	20.3%
住民とのコミュニケーション	21.1%	33.1%	24.3%	36.7%
家族の理解	3.7%	2.2%	2.8%	4.7%
子どもの育児や教育	25.8%	14.7%	31.8%	12.5%
家族の看護や介護	18.4%	6.6%	17.8%	10.9%
自分や家族の健康の問題	30.0%	15.4%	38.8%	29.7%
その他	6.3%	2.9%	9.3%	5.5%

問9 あなたは「仕事」と「家庭」と「地域・個人の生活」について、どのような状況が理想だと考えますか。また、現実はどうですか。次の中から選んでください。

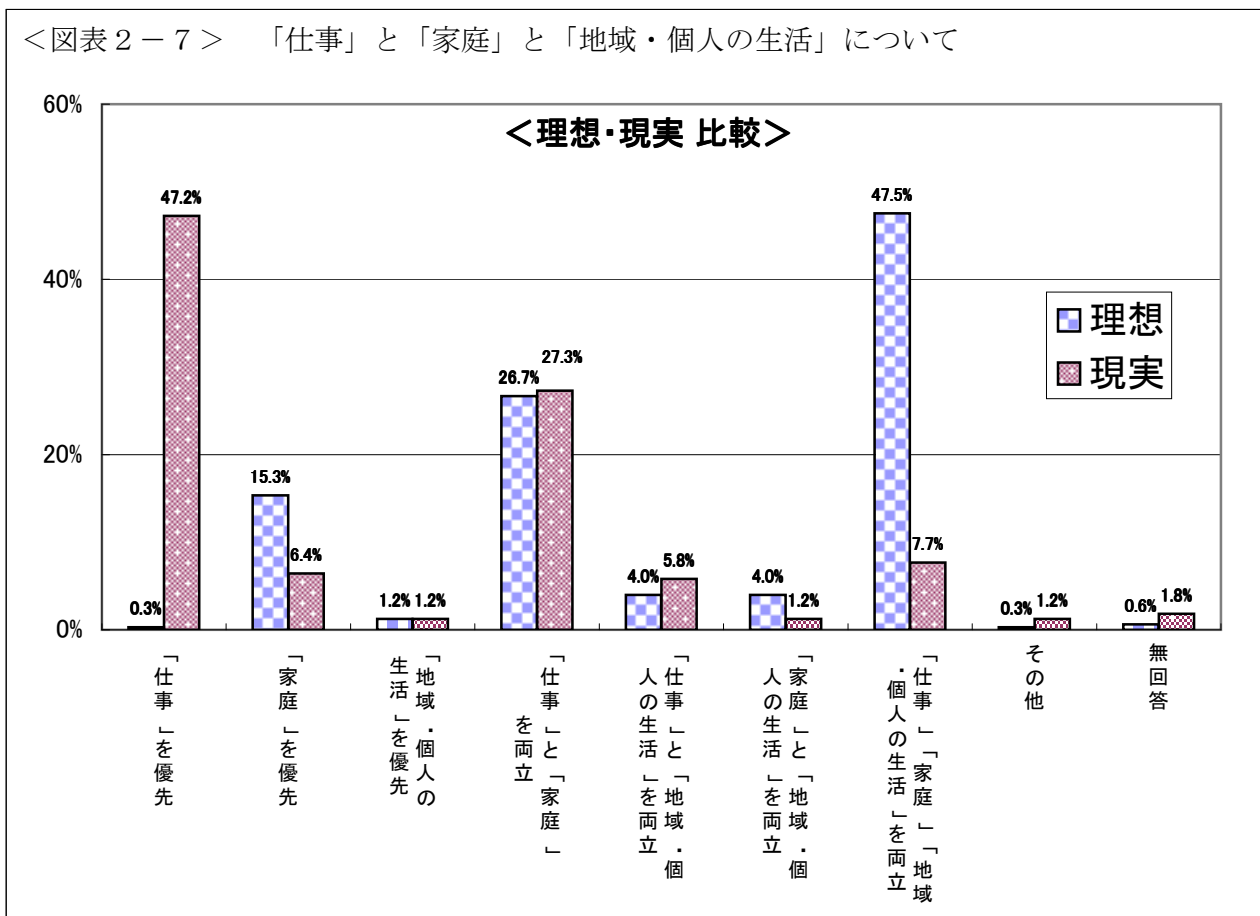
	a 理想			b 現実		
	女性	男性	全体	女性	男性	全体
「仕事」を優先	0 0.0%	1 0.7%	1 0.3%	88 46.3%	66 48.5%	154 47.2%
「家庭」を優先	21 11.1%	29 21.3%	50 15.3%	10 5.3%	11 8.1%	21 6.4%
「地域・個人の生活」を優先	0 0.0%	4 2.9%	4 1.2%	0 0.0%	4 2.9%	4 1.2%
「仕事」と「家庭」を両立	54 28.4%	33 24.3%	87 26.7%	59 31.1%	30 22.1%	89 27.3%
「仕事」と「地域・個人の生活」を両立	6 3.2%	7 5.1%	13 4.0%	8 4.2%	11 8.1%	19 5.8%
「家庭」と「地域・個人の生活」を両立	2 1.1%	11 8.1%	13 4.0%	1 0.5%	3 2.2%	4 1.2%
「仕事」「家庭」「地域・個人の生活」を両立	105 55.3%	50 36.8%	155 47.5%	16 8.4%	9 6.6%	25 7.7%
その他	1 0.5%	0 0.0%	1 0.3%	2 1.1%	2 1.5%	4 1.2%
無回答	1 0.5%	1 0.7%	2 0.6%	6 3.2%	0 0.0%	6 1.8%
総計	190 100.0%	136 100.0%	326 100.0%	190 100.0%	136 100.0%	326 100.0%

女性 n = 190

男性 n = 136

全体 n = 326

<図表2-7> 「仕事」と「家庭」と「地域・個人の生活」について



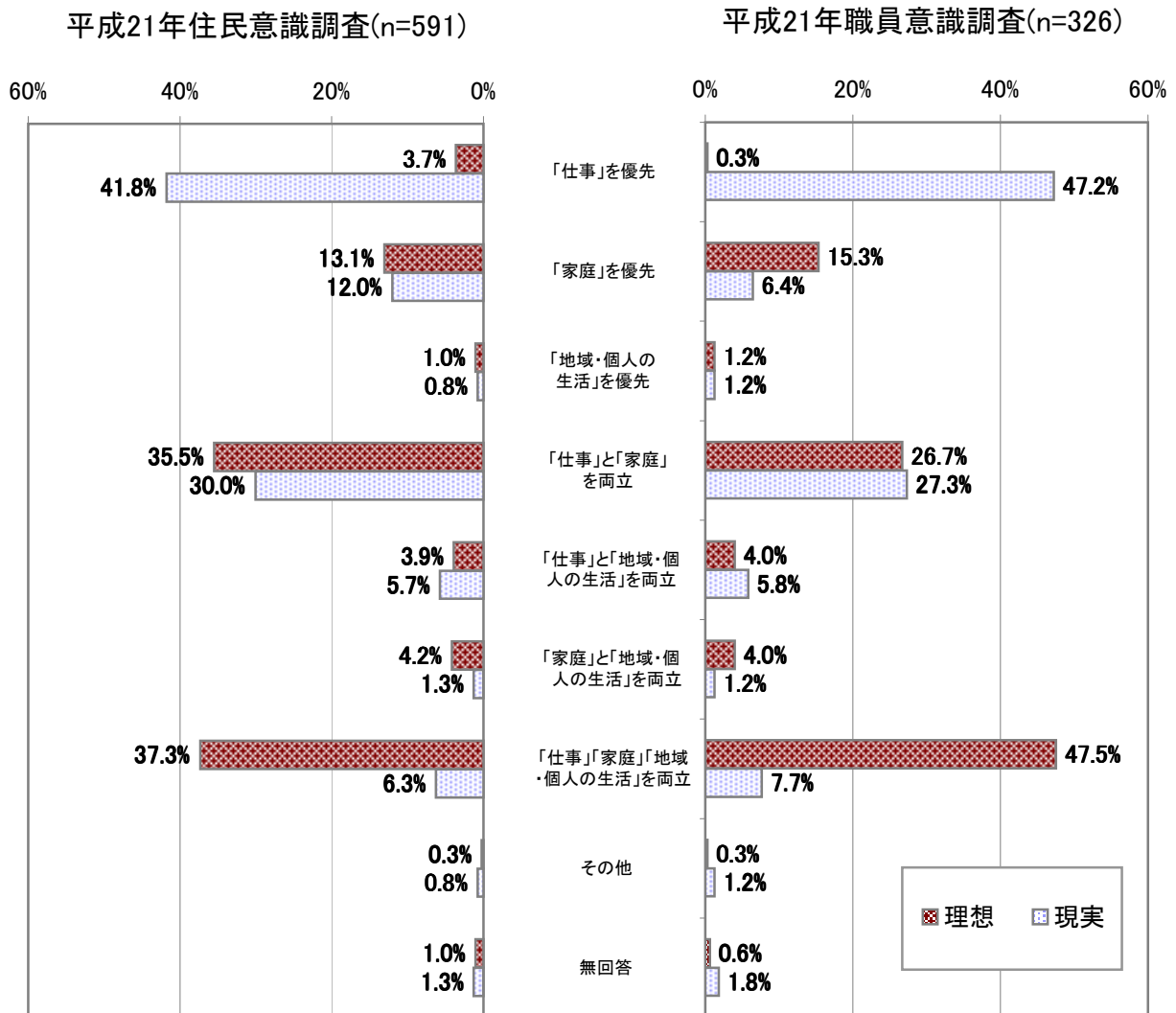
◇理想では、『「仕事」「家庭」「地域・個人の生活」を両立』が全体で見ると47.5%を占め、次に『「仕事」と「家庭」を両立』が26.7%と続いています。性別でも女性、男性とも同様の傾向が見られます。

◇現実では、『「仕事」を優先』が全体で見ると47.2%を占め、次に『「仕事」と「家庭」を両立』が27.3%と続いています。性別でも女性、男性とも同様の傾向が見られます。

職員意識調査・住民意識調査と比較してみても同様の傾向が見られます。

<参考>住民意識調査・職員意識調査との比較

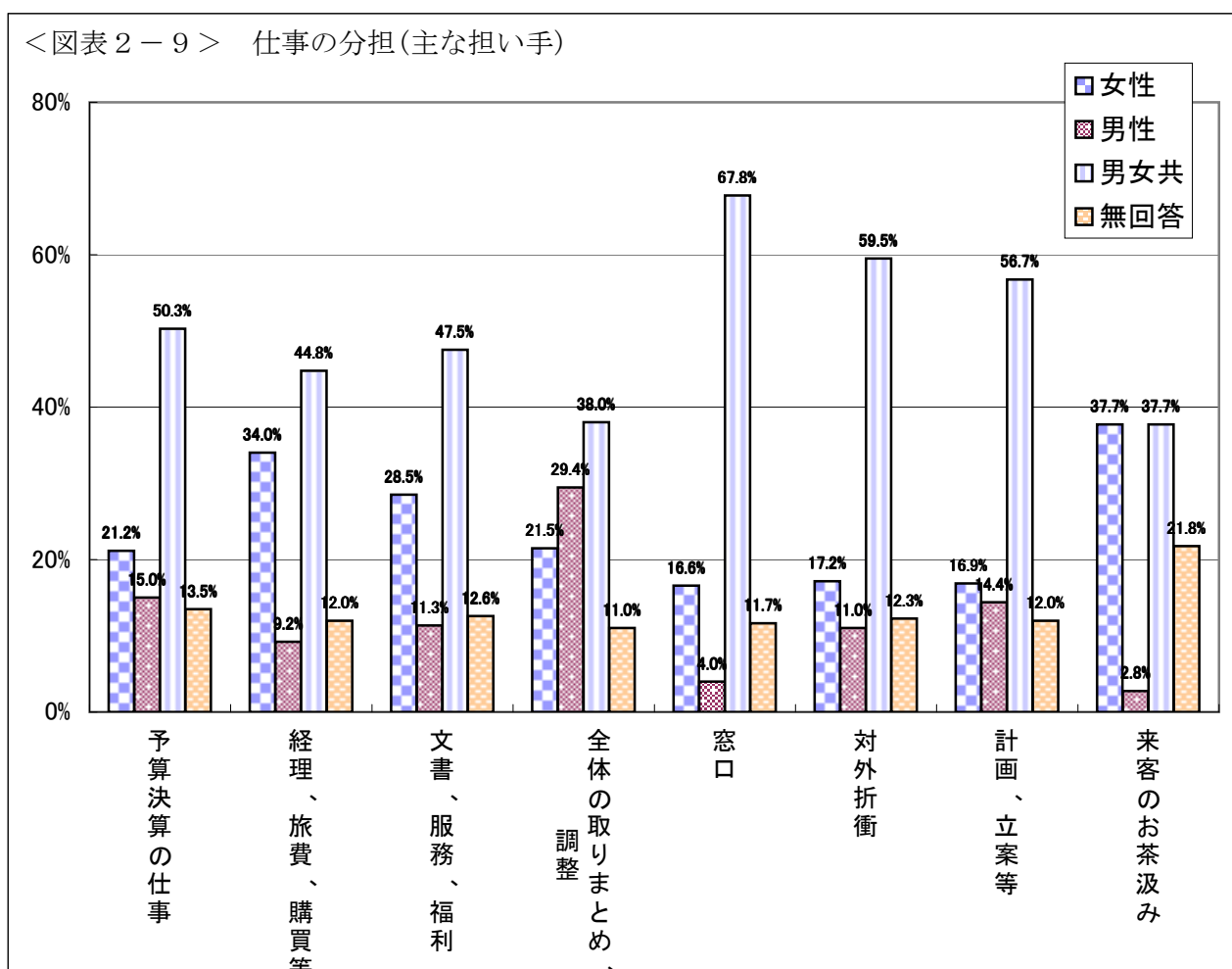
<図表2-8>



問10 あなたの職場では、仕事の分担はどのようになっていますか。次の a～h ごとに、1～3の中から選んでください。（○はそれぞれ1つ）

	女性	男性	男女共	無回答
a 予算決算の仕事	21.2%	15.0%	50.3%	13.5%
b 経理、旅費、購買等	34.0%	9.2%	44.8%	12.0%
c 文書、サービス、福利	28.5%	11.3%	47.5%	12.6%
d 全体の取りまとめ、調整	21.5%	29.4%	38.0%	11.0%
e 窓口	16.6%	4.0%	67.8%	11.7%
f 対外折衝	17.2%	11.0%	59.5%	12.3%
g 計画、立案等	16.9%	14.4%	56.7%	12.0%
h 来客のお茶汲み	37.7%	2.8%	37.7%	21.8%

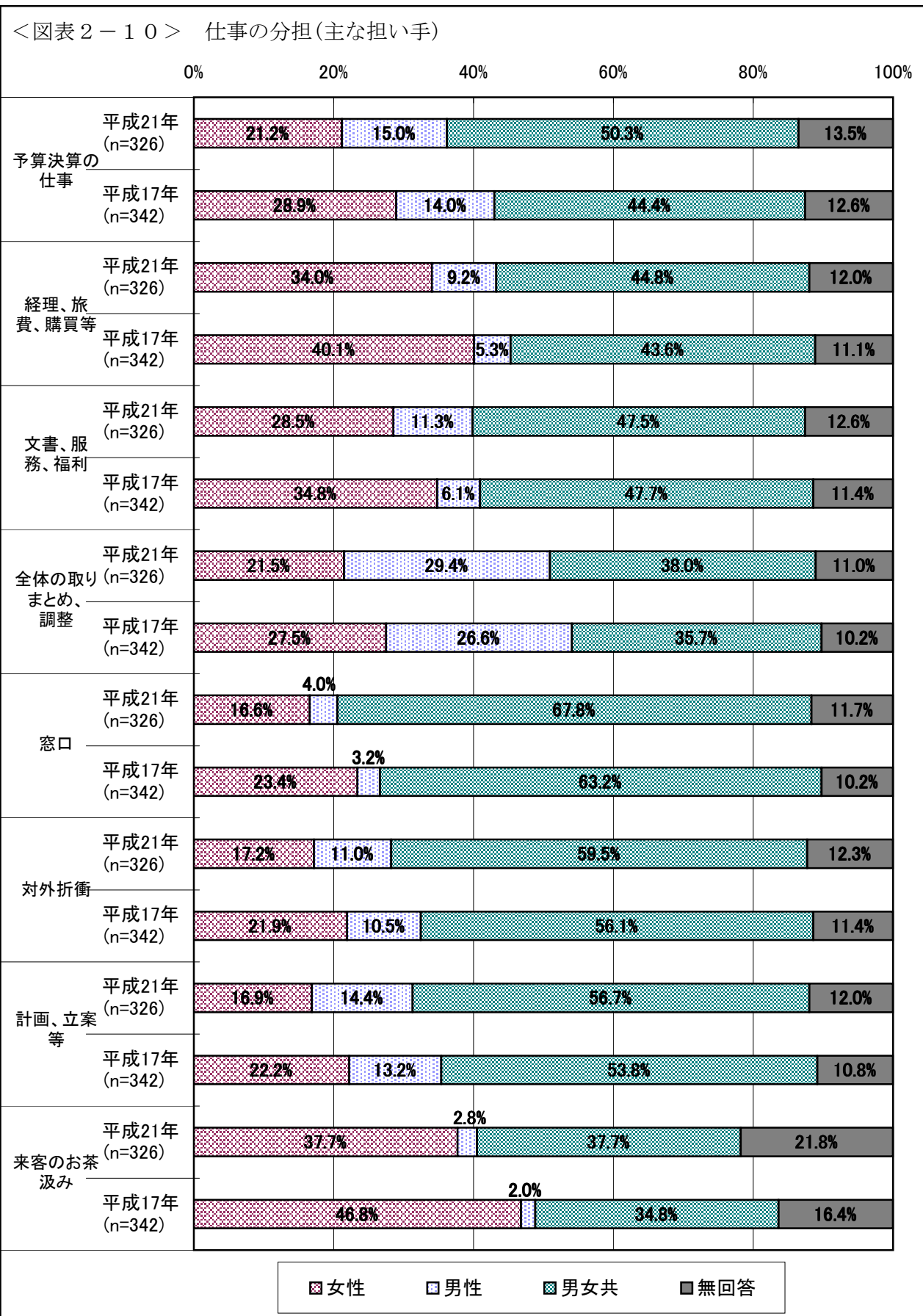
女性 n = 190
 男性 n = 136
 全体 n = 326



「来客のお茶汲み」については依然として「女性」が担っている割合が37.7%と他の項目に比べて高くなっています。

平成17年調査調査と比べると、すべての項目で「女性」とする割合が減り、「男性」・「男女とも」とする項目が増えています。

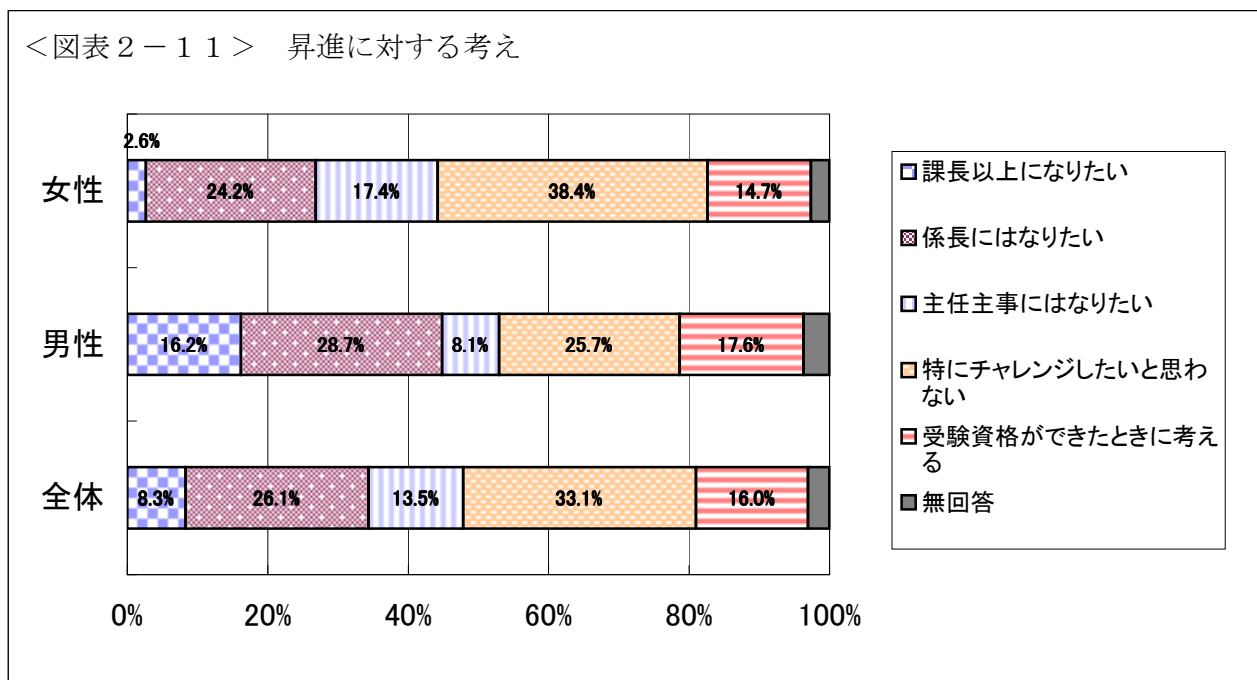
<参考>平成21年・平成17年職員意識調査との比較



問 1 1 あなたが定年まで勤めるとして、どこまでチャレンジしますか。(○は1つ)

	女性	男性	全体	
課長以上になりたい	5 2.6%	22 16.2%	27 8.3%	
係長にはなりたい	46 24.2%	39 28.7%	85 26.1%	
主任主事にはなりたい	33 17.4%	11 8.1%	44 13.5%	
特にチャレンジしたいと思わない	73 38.4%	35 25.7%	108 33.1%	
受験資格ができたときに考える	28 14.7%	24 17.6%	52 16.0%	
無回答	5 2.6%	5 3.7%	10 3.1%	女性 n = 190
総計	190 100.0%	136 100.0%	326 100.0%	男性 n = 136 全体 n = 326

<図表 2-11> 昇進に対する考え



昇進については、「課長以上になりたい」「係長にはなりたい」とした割合は女性 26.8% に対し男性 44.9% と 18ポイント男性の方が高くなっています。「主任主事にはなりたい」を選んだ割合は女性が多かったが、それを合計しても、なお男性の方がチャレンジしたいとする割合は高くなっています。

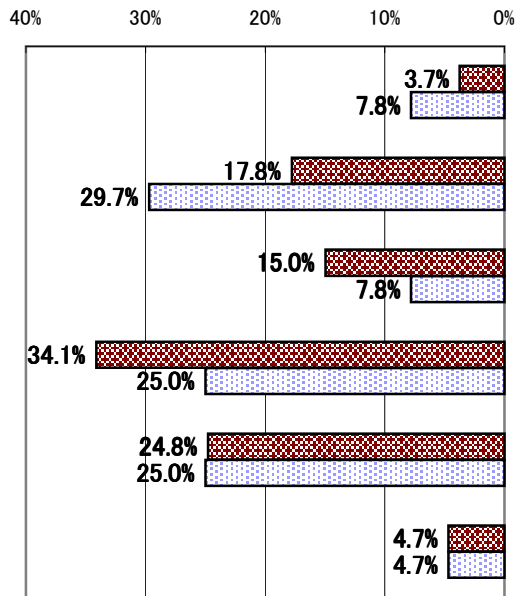
平成 17 年調査と比較すると、「課長以上になりたい」「係長にはなりたい」「主任主事にはなりたい」とした合計の割合は、男女あわせた全体では 39.8% だったのが 47.9% と 8.1ポイント増加しています。男性では「課長以上になりたい」とした割合は、平成 17 年調査の 7.8% から 16.2% へと 8.4ポイント増加しています。一方女性は 3.7% から 2.6% と 1.1ポイント減っています。

又、女性で「係長にはなりたい」が 17.8% から 24.2% と 6.4ポイント増え、「特にチャレンジしたいと思わない」も 34.1% から 38.4% と 4.3ポイント増えています。

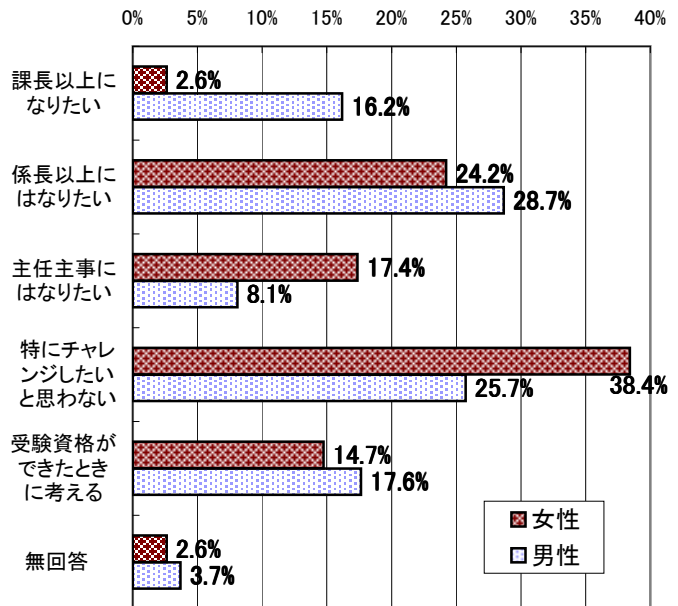
<参考>平成17年・平成21年職員意識調査との比較

<図表2-12>

平成17年職員意識調査
(女性n=214 男性n=128)



平成21年職員意識調査
(女性n=190 男性n=136)

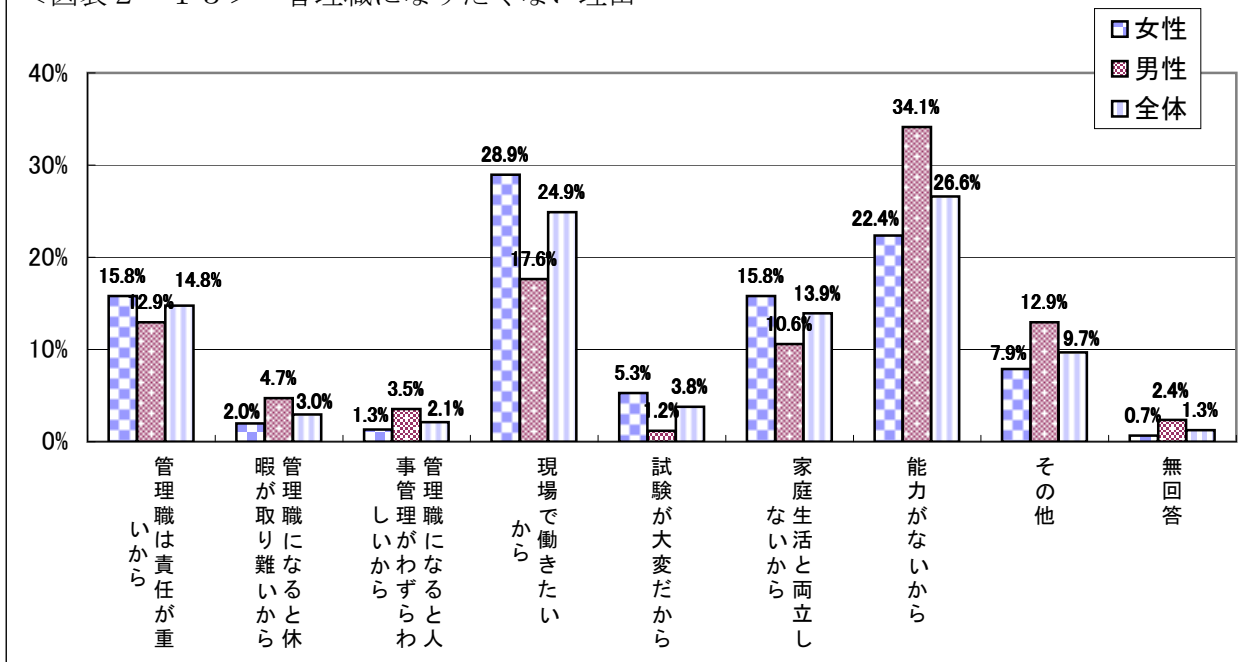


問12 (問11で 2、3、4 と答えた方に伺います。) 管理職になりたくない理由は何ですか。(○は1つ)

	女性	男性	全体
管理職は責任が重いから	24 15.8%	11 12.9%	35 14.8%
管理職になると休暇が取り難いから	3 2.0%	4 4.7%	7 3.0%
管理職になると人事管理がわずらわしいから	2 1.3%	3 3.5%	5 2.1%
現場で働きたいから	44 28.9%	15 17.6%	59 24.9%
試験が大変だから	8 5.3%	1 1.2%	9 3.8%
家庭生活と両立しないから	24 15.8%	9 10.6%	33 13.9%
能力がないから	34 22.4%	29 34.1%	63 26.6%
その他	12 7.9%	11 12.9%	23 9.7%
無回答	1 0.7%	2 2.4%	3 1.3%
総計	152 100.0%	85 100.0%	237 100.0%

女性 n = 152
男性 n = 85
全体 n = 237

<図表2-13> 管理職になりたくない理由



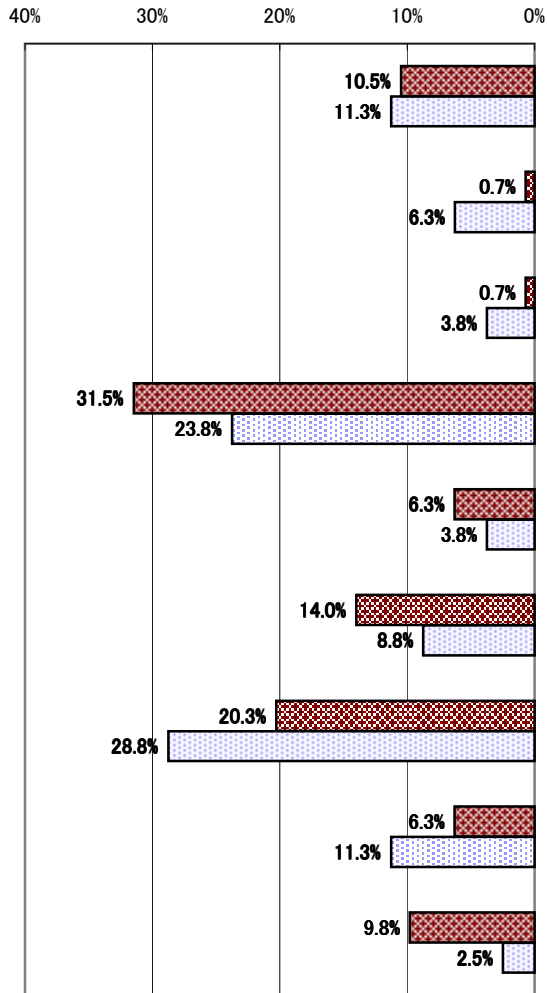
管理職（課長以上）になりたくない理由をたずねたところ、「能力がないから」が26.6%と最も高く、次に「現場で働きたいから」が24.9%となっています。

平成17年調査との比較でも、「現場で働きたいから」、「能力がないから」と続き大きな差は見られません。

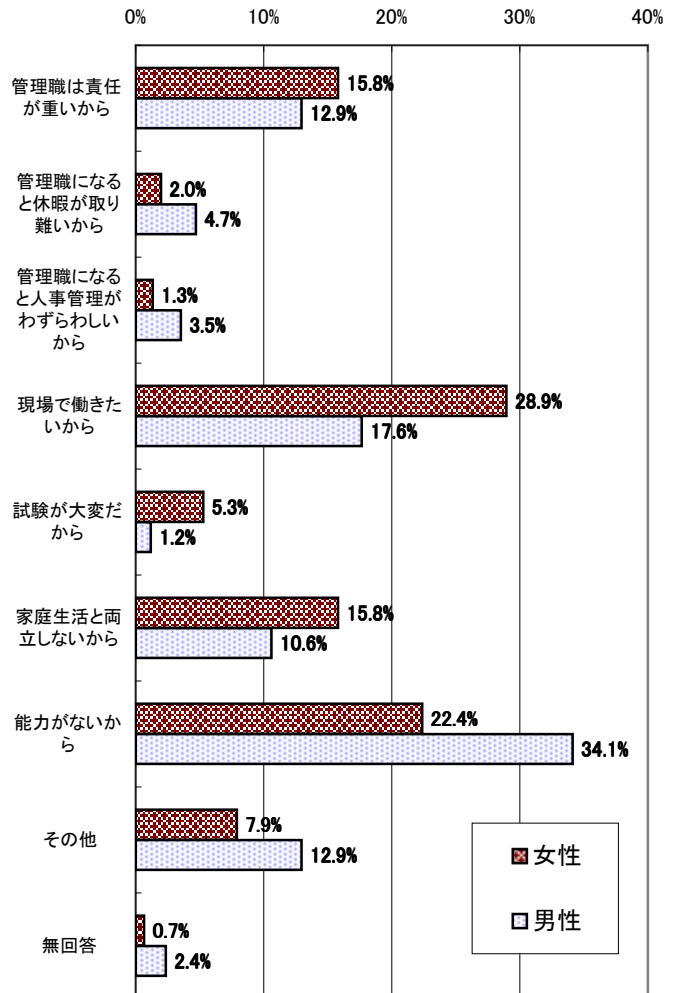
<参考>平成17年・平成21年職員意識調査との比較

<図表2-14>

平成17年職員意識調査
(女性n=143 男性n=80)



平成21年職員意識調査
(女性n=152 男性n=85)



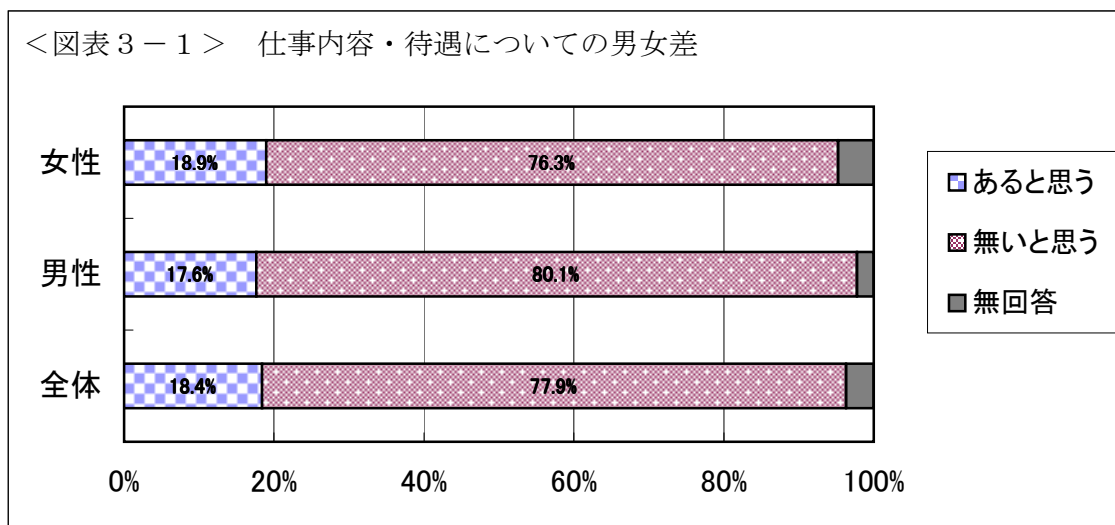
《 3 職場について 》

問 1 3 あなたの職場では、仕事の内容や待遇面で、男女の扱いに差はありますか。

	女性	男性	全体
あると思う	36 18.9%	24 17.6%	60 18.4%
無いと思う	145 76.3%	109 80.1%	254 77.9%
無回答	9 4.7%	3 2.2%	12 3.7%
総 計	190 100.0%	136 100.0%	326 100.0%

女性 n = 190
男性 n = 136
全体 n = 326

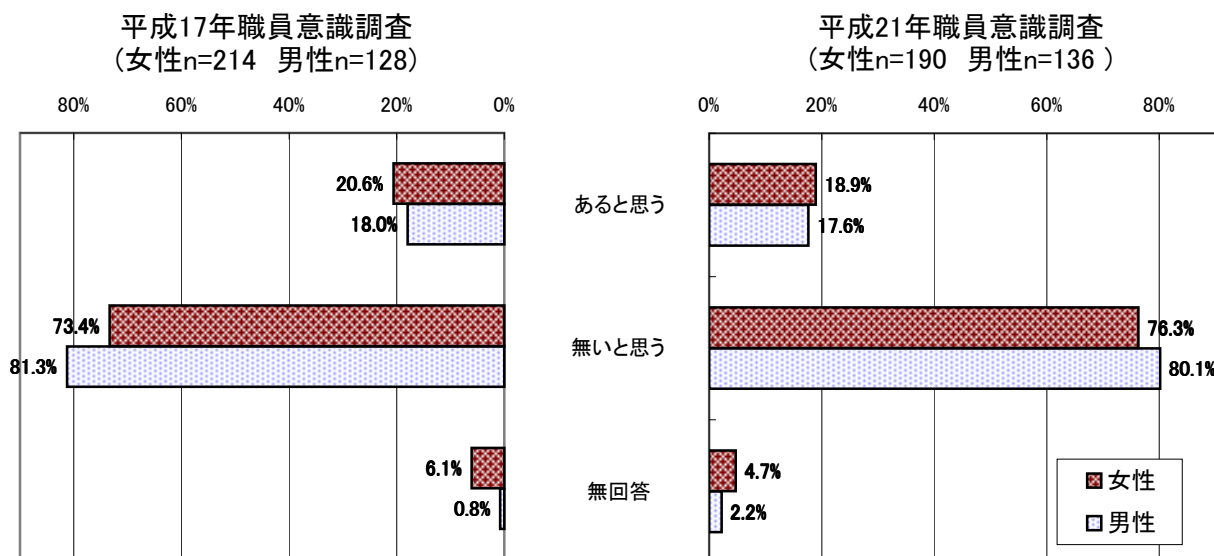
＜図表 3-1＞ 仕事内容・待遇についての男女差



仕事の内容や待遇面で男女差があるかたずねたところ、男女差が「ある」とした人は2割程度で、平成17年調査と比較しても大きな違いはありません。

＜参考＞平成17年・平成21年職員意識調査との比較

＜図表 3-2＞

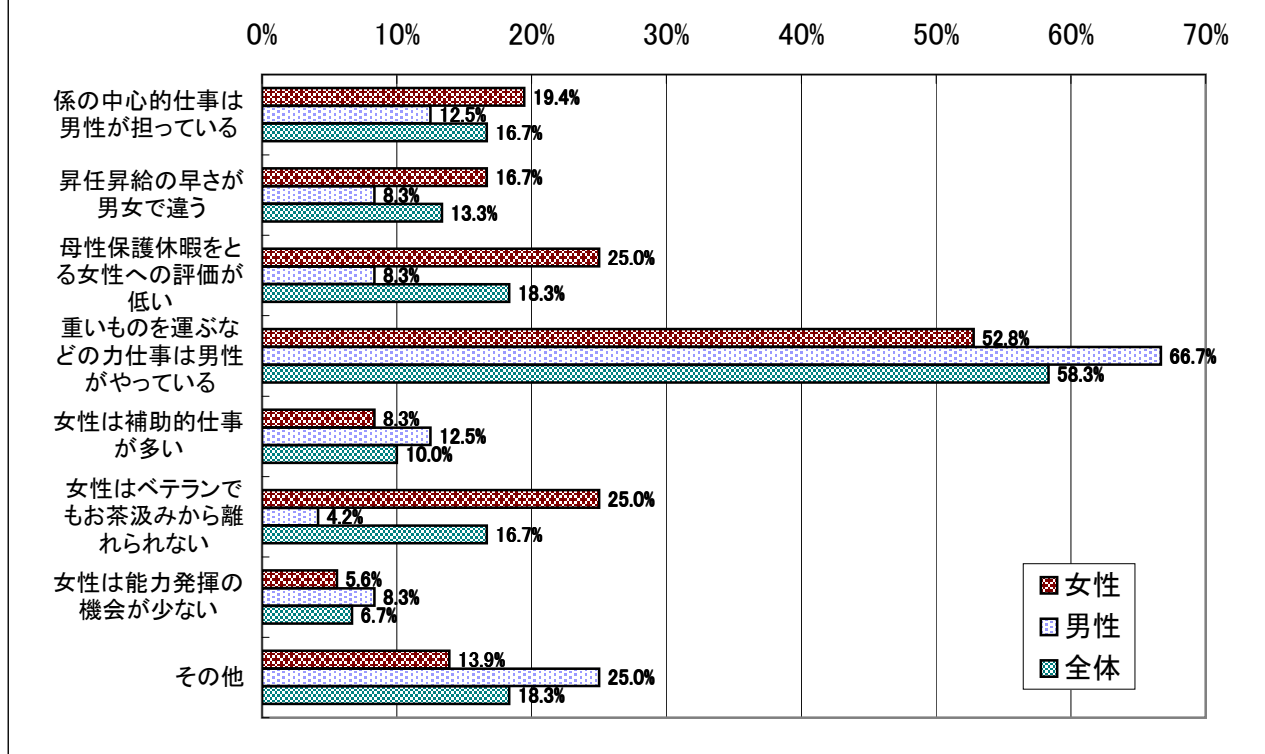


問14 (問13で「 1 あると思う」と答えた方に伺います) それほどのようなことですか。あなたの考えに近いものを選んでください。(〇はいくつでも)

	女性	男性	全体
係の中心的工作は男性が担っている	7 19.4%	3 12.5%	10 16.7%
昇任昇給の早さが男女で違う	6 16.7%	2 8.3%	8 13.3%
母性保護休暇をとる女性への評価が低い	9 25.0%	2 8.3%	11 18.3%
重いものを運ぶなどの力仕事は男性がやっている	19 52.8%	16 66.7%	35 58.3%
女性は補助的工作が多い	3 8.3%	3 12.5%	6 10.0%
女性はベテランでもお茶汲みから離れられない	9 25.0%	1 4.2%	10 16.7%
女性は能力発揮の機会が少ない	2 5.6%	2 8.3%	4 6.7%
その他	5 13.9%	6 25.0%	11 18.3%

女性 n = 36
男性 n = 24
全体 n = 60

<図表3-3> 仕事・待遇面で男女差があると思う内容



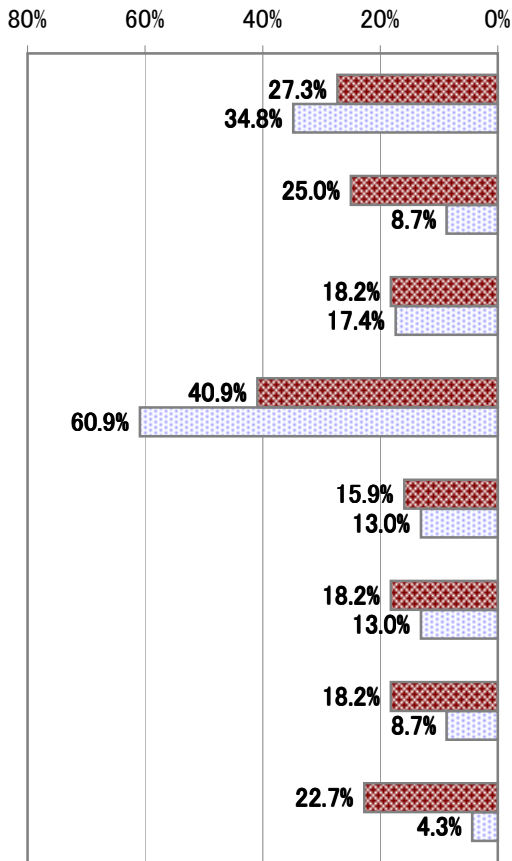
職場での男女の扱いに差があると答えた人に、その内容をたずねたところ「重いものを運ぶなどの力仕事は男性がやっている」が女性52.8%、男性66.7%と最も多く、「母性保護休暇をとる女性への評価が低い」については女性25.0%、男性8.3%と前回調査に比べ女性は6.8ポイント増え逆に男性は9.1ポイント減っています。

また、「係の中心的工作は男性が担っている」と答えた人を前回調査と比較すると、女性7.9ポイント減、男性では22.3ポイントと大幅に減っています。

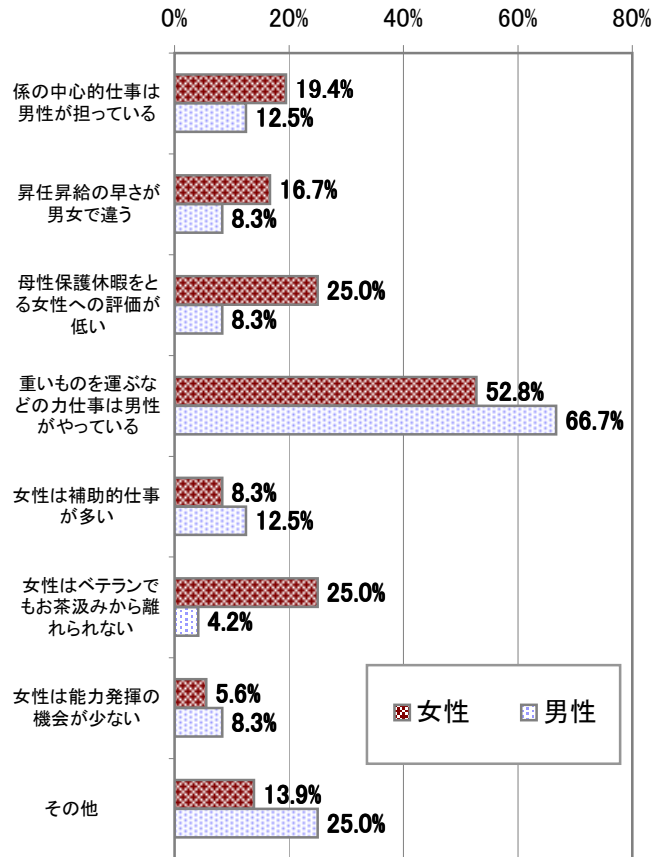
<参考>平成17年・平成21年職員意識調査との比較

<図表3-4>

平成17年職員意識調査
(女性n=44 男性n=23)



平成21年職員意識調査
(女性n=36 男性n=24)

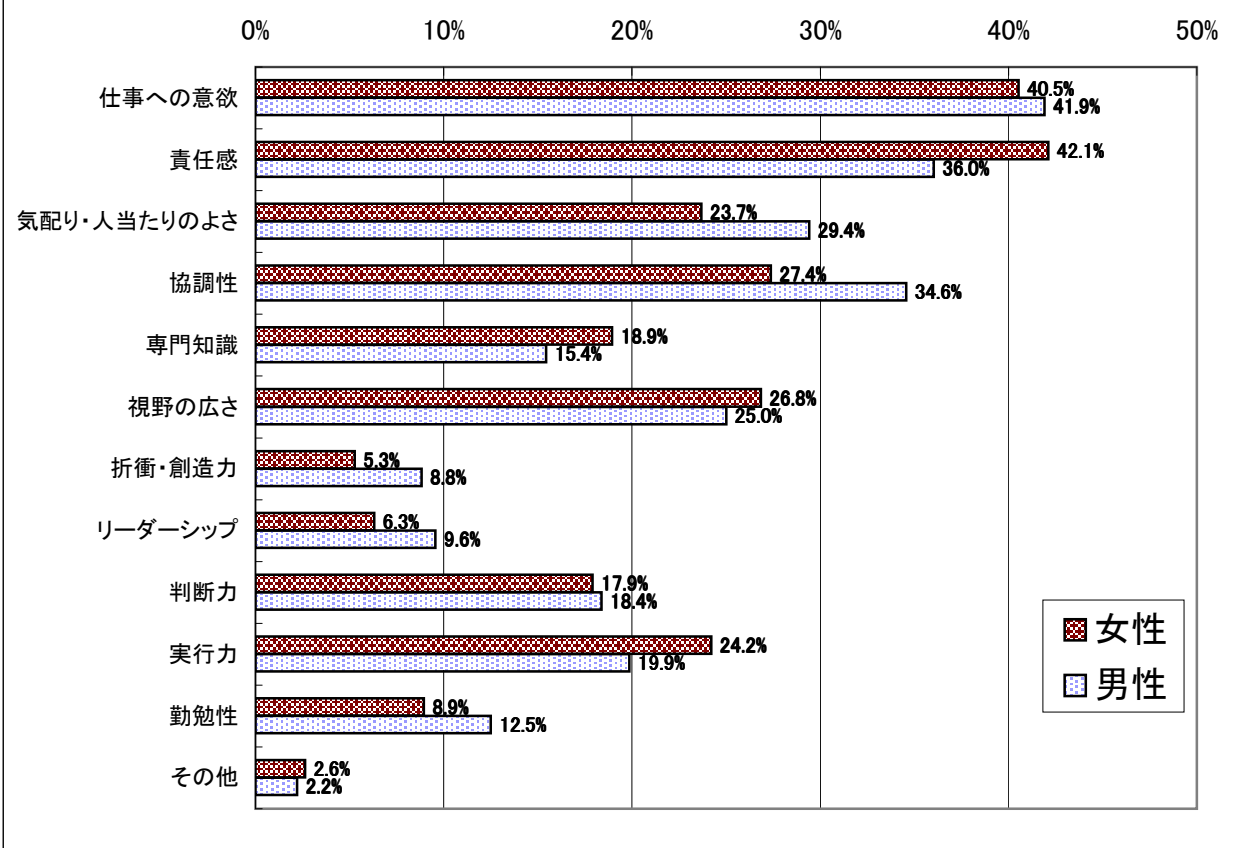


問15 あなたが職場の女性に期待することは主にどんなことですか。(○は3つまで)

	女性	男性	全体
仕事への意欲	77 40.5%	57 41.9%	134 41.1%
責任感	80 42.1%	49 36.0%	129 39.6%
気配り・人当たりのよさ	45 23.7%	40 29.4%	85 26.1%
協調性	52 27.4%	47 34.6%	99 30.4%
専門知識	36 18.9%	21 15.4%	57 17.5%
視野の広さ	51 26.8%	34 25.0%	85 26.1%
折衝・創造力	10 5.3%	12 8.8%	22 6.7%
リーダーシップ	12 6.3%	13 9.6%	25 7.7%
判断力	34 17.9%	25 18.4%	59 18.1%
実行力	46 24.2%	27 19.9%	73 22.4%
勤勉性	17 8.9%	17 12.5%	34 10.4%
その他	5 2.6%	3 2.2%	8 2.5%

女性 n = 190
男性 n = 136
全体 n = 326

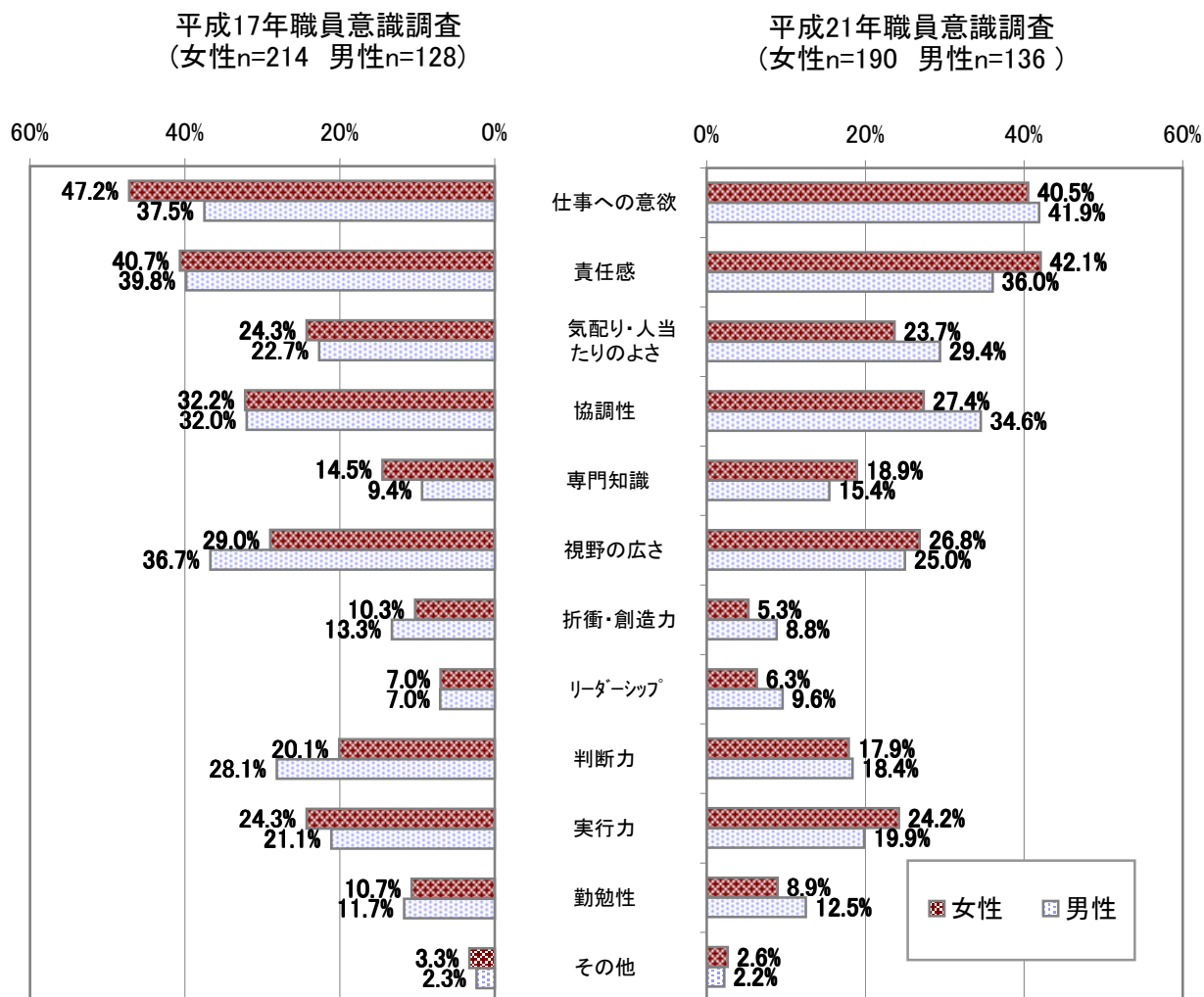
<図表3-5> 職場の女性に期待すること



女性職員に期待することを全員にたずねたところ「責任感」女性42.1%、男性36.0%、「仕事への意欲」女性40.5%、男性41.9%と高くなっています。また、平成17年調査と比較しても大きな差異はみられません。

<参考>平成17年・平成21年職員意識調査との比較

<図表3-6>

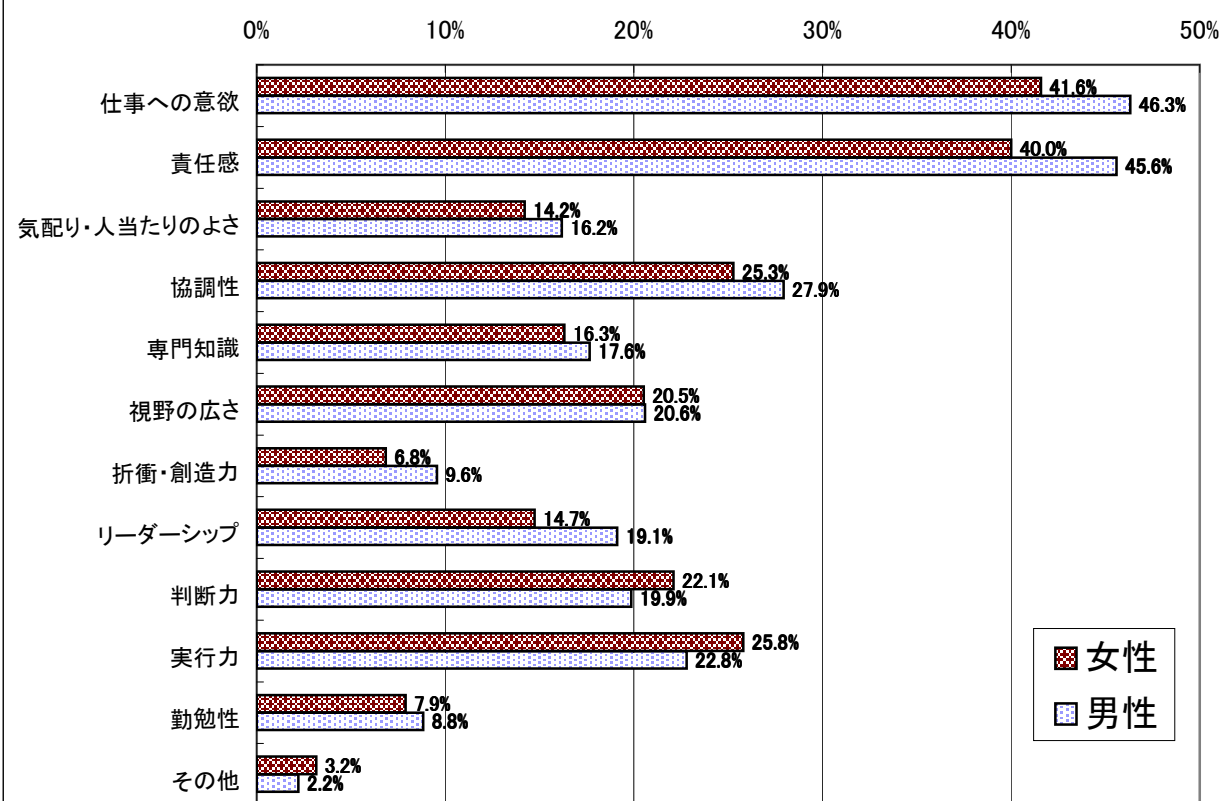


問16 あなたが職場の男性に期待することは主にどんなことですか。(〇は3つまで)

	女性	男性	全体
仕事への意欲	79 41.6%	63 46.3%	142 43.6%
責任感	76 40.0%	62 45.6%	139 42.6%
気配り・人当たりのよさ	27 14.2%	22 16.2%	51 15.6%
協調性	48 25.3%	38 27.9%	87 26.7%
専門知識	31 16.3%	24 17.6%	56 17.2%
視野の広さ	39 20.5%	28 20.6%	68 20.9%
折衝・創造力	13 6.8%	13 9.6%	26 8.0%
リーダーシップ	28 14.7%	26 19.1%	54 16.6%
判断力	42 22.1%	27 19.9%	70 21.5%
実行力	49 25.8%	31 22.8%	83 25.5%
勤勉性	15 7.9%	12 8.8%	27 8.3%
その他	6 3.2%	3 2.2%	9 2.8%

女性 n = 190
男性 n = 136
全体 n = 326

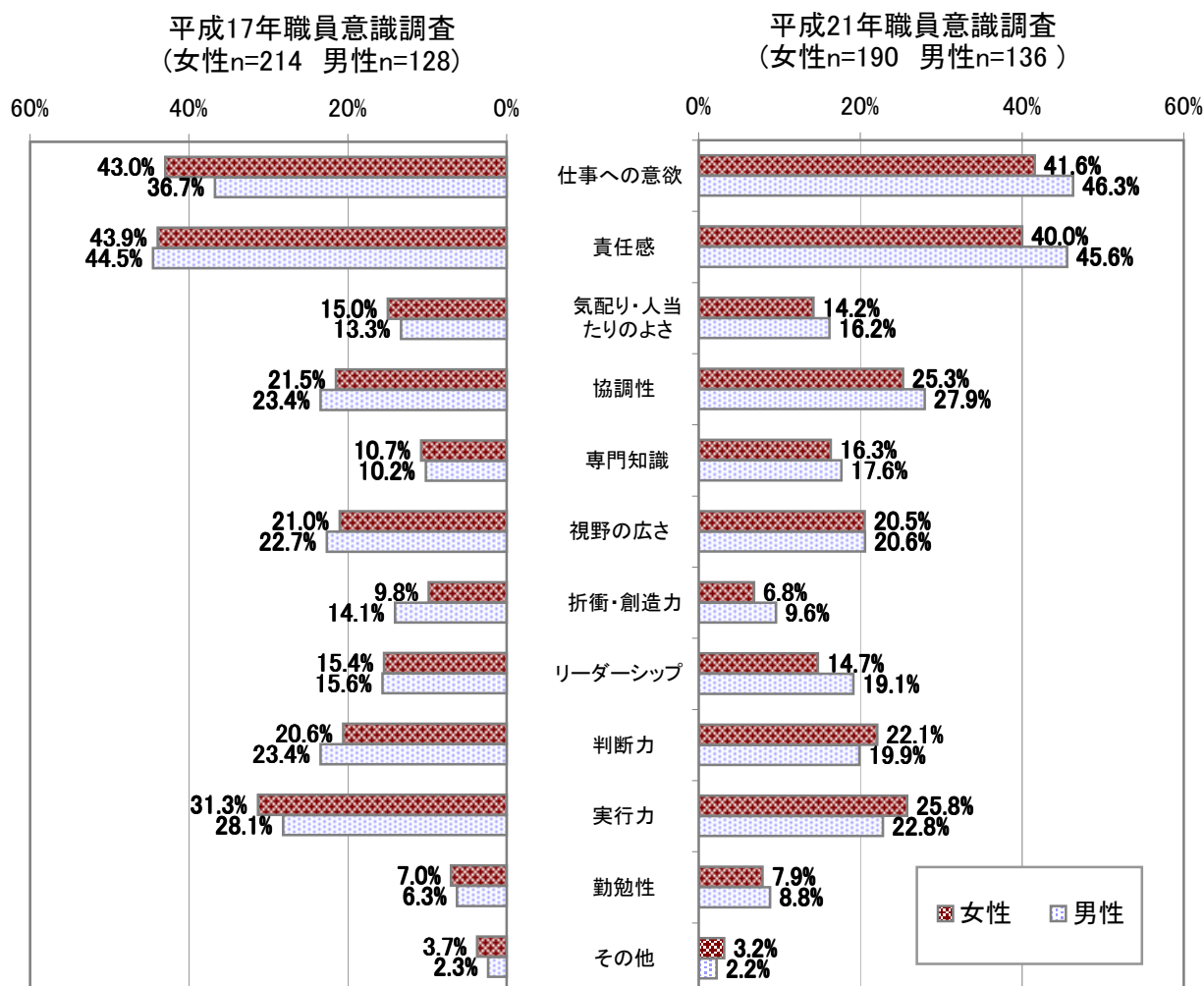
<図表3-7> 職場の男性に期待すること



男性職員に期待することを全員にたずねたところ「仕事への意欲」女性41.6%、男性46.3%、「責任感」女性40.0%、男性45.6%と高くなっています。また、平成17年調査と比較しても大きな差異はみられません。

<参考>平成17年・平成21年職員意識調査との比較

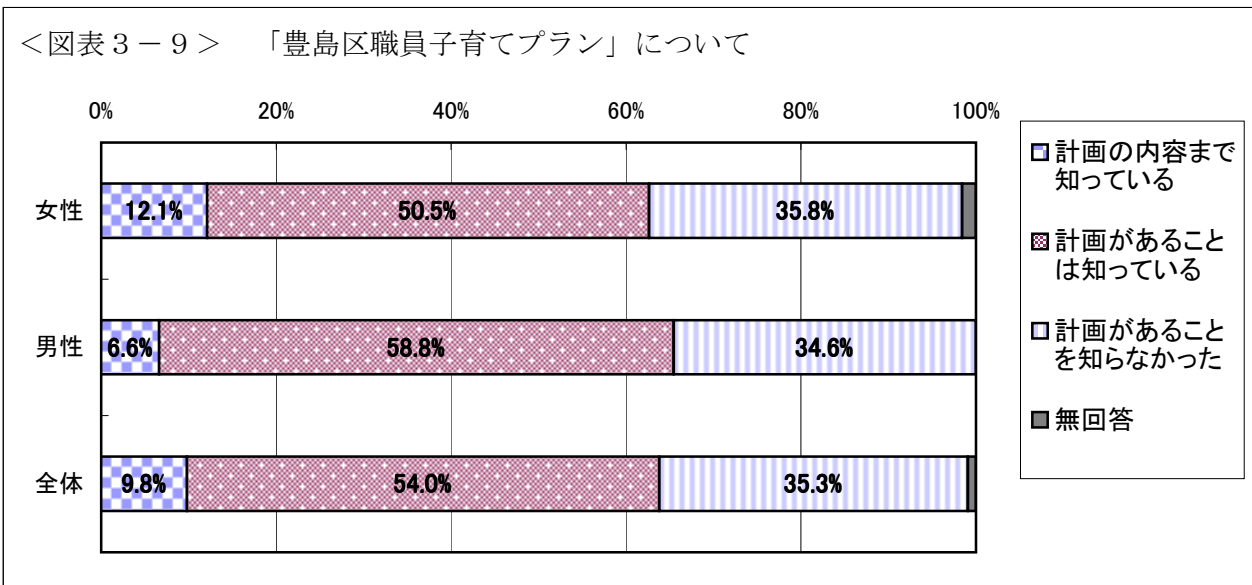
<図表3-8>



問17 仕事と育児が両立できる職場づくりを進めるために、平成17年3月に「職員子育て支援プラン」が策定されましたが、あなたはこのプランを知っていますか。（○は1つ）

	女性	男性	全体
計画の内容まで知っている	23 12.1%	9 6.6%	32 9.8%
計画があることは知っている	96 50.5%	80 58.8%	176 54.0%
計画があることを知らなかった	68 35.8%	47 34.6%	115 35.3%
無回答	3 1.6%	0 0.0%	3 0.9%
総計	190 100.0%	136 100.0%	326 100.0%

女性 n = 190
男性 n = 136
全体 n = 326

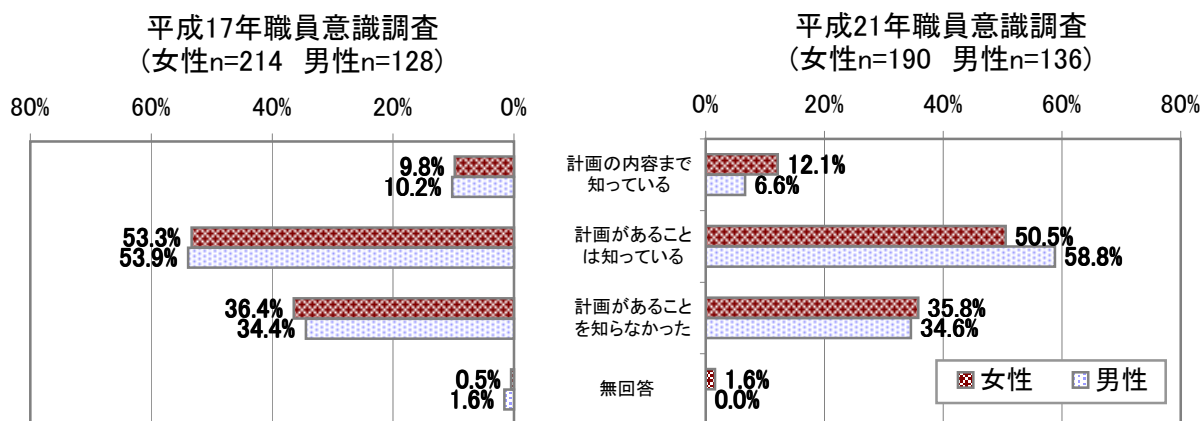


豊島区職員子育て支援プランについては、『「内容まで知っている」、「計画があることを知っている」』知っている人は女性62.6%、男性65.4%となっています。

平成17年調査と比較しても、ほとんど同様の結果です。

<参考>平成17年・平成21年職員意識調査との比較

<図表3-10>

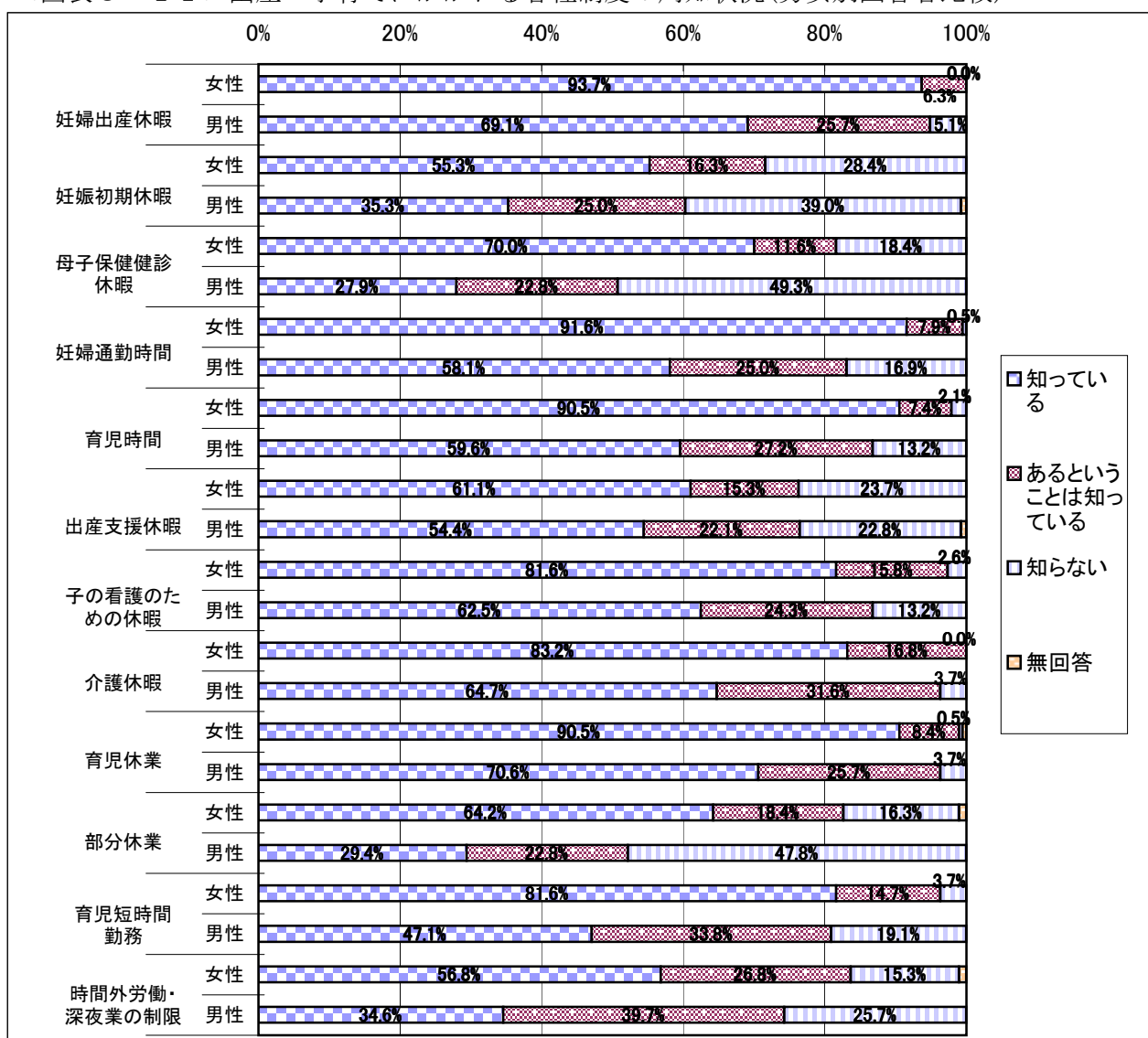


問18 あなたは次の制度を知っていますか。次の a～l ごとに、1～3 の中から選んでください。（○はそれぞれ1つ）

	よく知っている	あるとうことは知っている	知らない	無回答
a 妊婦出産休暇	83.4%	14.4%	2.1%	0.0%
b 妊娠初期休暇	46.9%	19.9%	32.8%	0.3%
c 母子保健健診休暇	52.5%	16.3%	31.3%	0.0%
d 妊婦通勤時間	77.6%	15.0%	7.4%	0.0%
e 育児時間	77.6%	15.6%	6.7%	0.0%
f 出産支援休暇	58.3%	18.1%	23.3%	0.3%
g 子の看護のための休暇	73.6%	19.3%	7.1%	0.0%
h 介護休暇	75.5%	23.0%	1.5%	0.0%
i 育児休業	82.2%	15.6%	1.8%	0.3%
j 部分休業	49.7%	20.2%	29.4%	0.6%
k 育児短時間勤務	67.2%	22.7%	10.1%	0.0%
l 時間外労働・深夜業の制限 (妊婦及び育児・介護者)	47.5%	32.2%	19.6%	0.6%

女性 n = 190
男性 n = 136
全体 n = 326

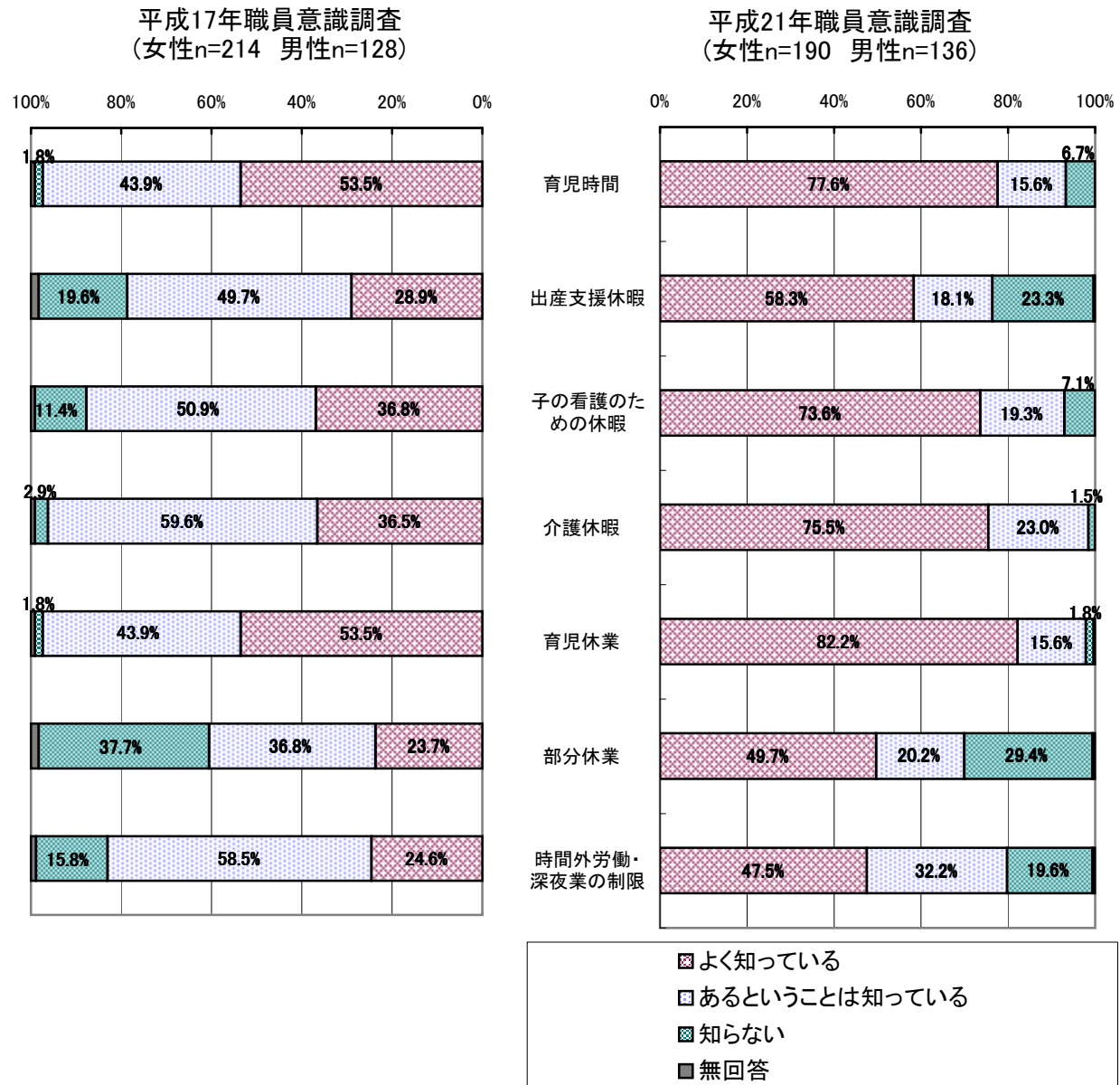
<図表3-11> 出産～子育てにかかわる各種制度の周知状況(男女別回答者比較)



多くの制度で『「よく知っている」「あるということは知っている」』をあわせた「知っている」の割合は90%以上となっており周知度は高く、また、平成17年調査と比較しても大きな差異はみられません。

<参考>平成17年・平成21年職員意識調査との比較

<図表3-12>



※平成17年の調査では設問していないため比較していない。

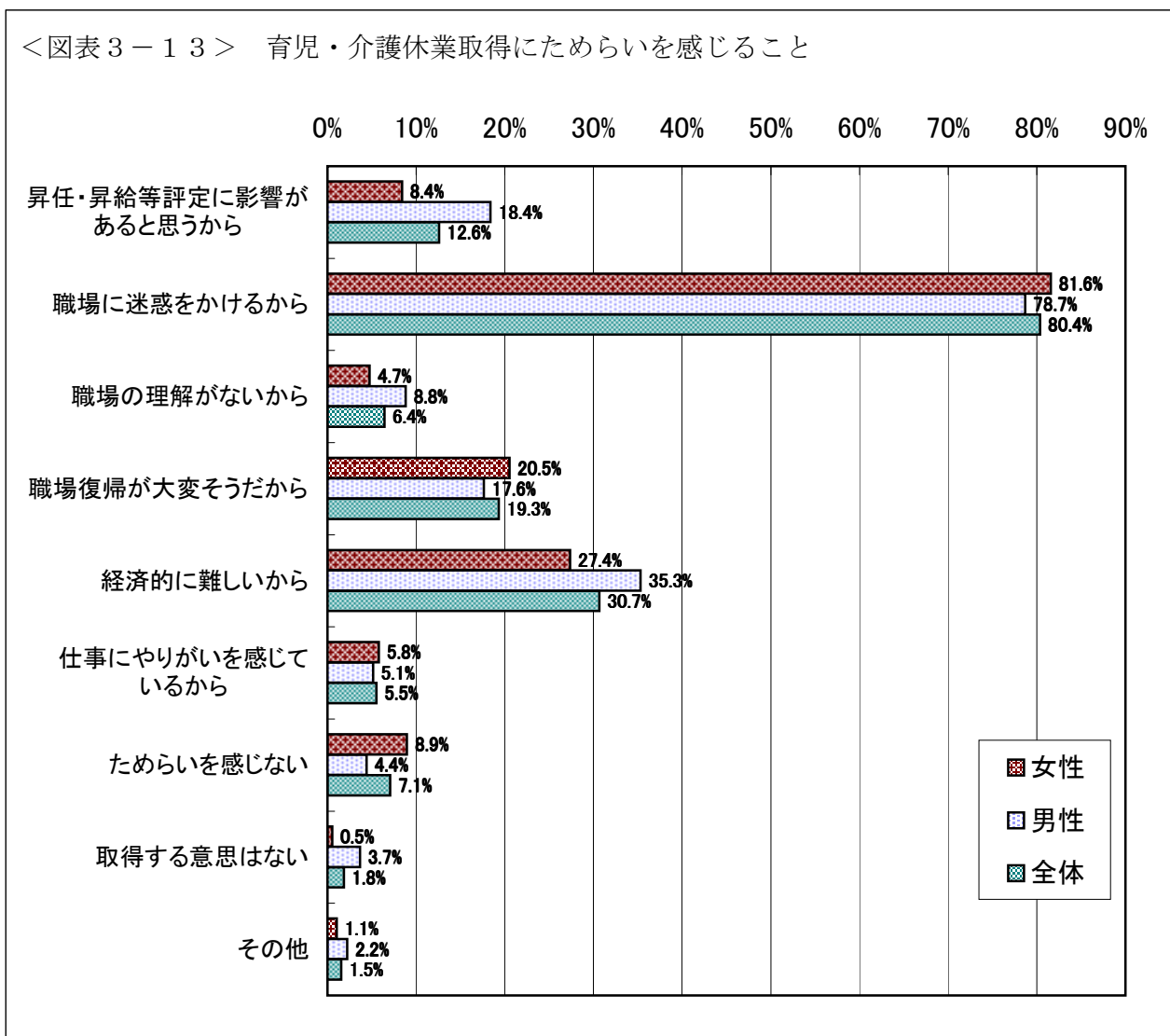
- 妊婦出産休暇
- 妊娠初期休暇
- 母子保健健診休暇
- 妊婦通勤時間
- 育児短時間勤務

問19 今、あなたが育児・介護休業を取るとしたら、どのようなことにためらいを感じますか。（〇はいくつでも）

	女性	男性	全体
昇任・昇給等評定に影響があると思うから	16 8.4%	25 18.4%	41 12.6%
職場に迷惑をかけるから	155 81.6%	107 78.7%	262 80.4%
職場の理解がないから	9 4.7%	12 8.8%	21 6.4%
職場復帰が大変そうだから	39 20.5%	24 17.6%	63 19.3%
経済的に難しいから	52 27.4%	48 35.3%	100 30.7%
仕事にやりがいを感じているから	11 5.8%	7 5.1%	18 5.5%
ためらいを感じない	17 8.9%	6 4.4%	23 7.1%
取得する意思はない	1 0.5%	5 3.7%	6 1.8%
その他	2 1.1%	3 2.2%	5 1.5%

女性 n = 190
男性 n = 136
全体 n = 326

<図表3-13> 育児・介護休業取得にためらいを感じること

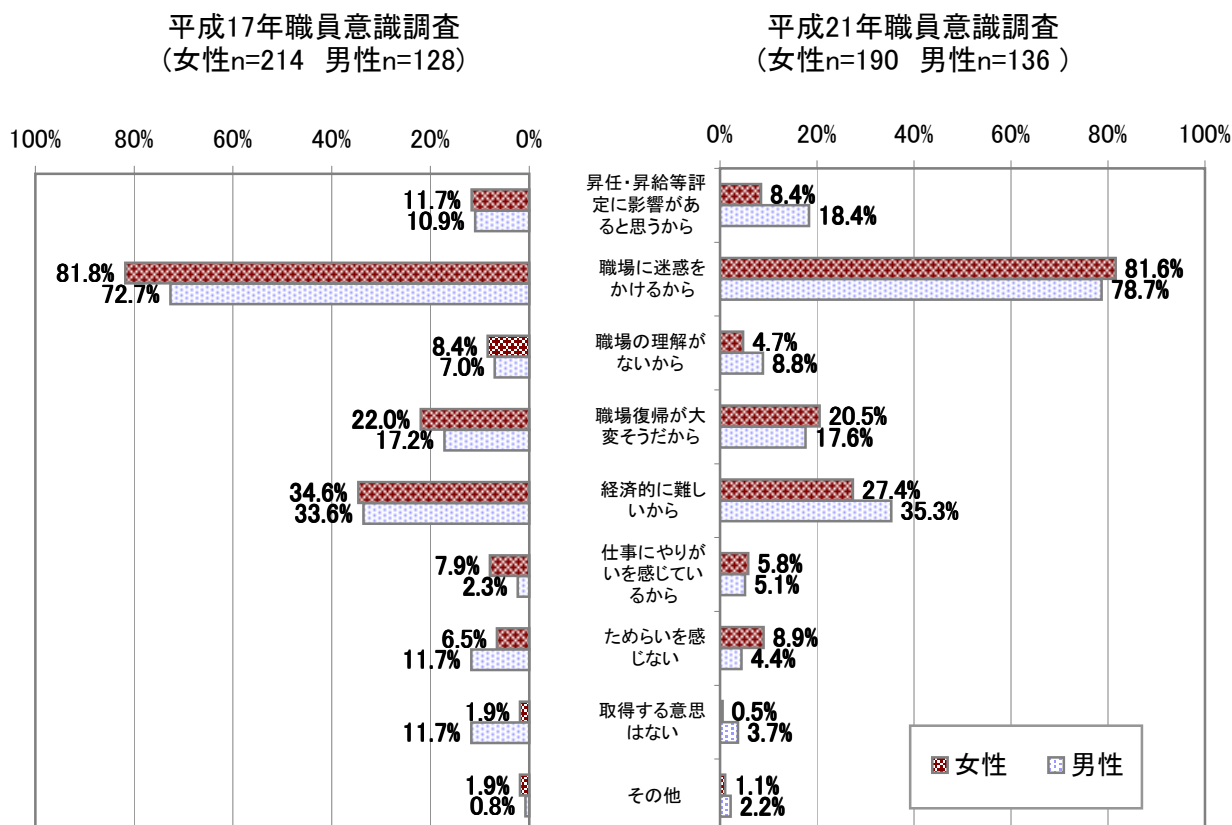


育児休業・介護休暇を取るとしたらどんなことにためらいを感じるかたずねたところ、男女とも「職場に迷惑をかけるから」とする割合が女性81.6%、男性78.7%、と他を引き離して高く、次いで「経済的に難しいから」が高くなっています。

しかし、「昇任・昇給等評定に影響があると思うから」と回答した男性は、10.9%（平成17年調査）から18.4%と7.5ポイント増えています。

<参考>平成17年・平成21年職員意識調査との比較

<図表3-14>

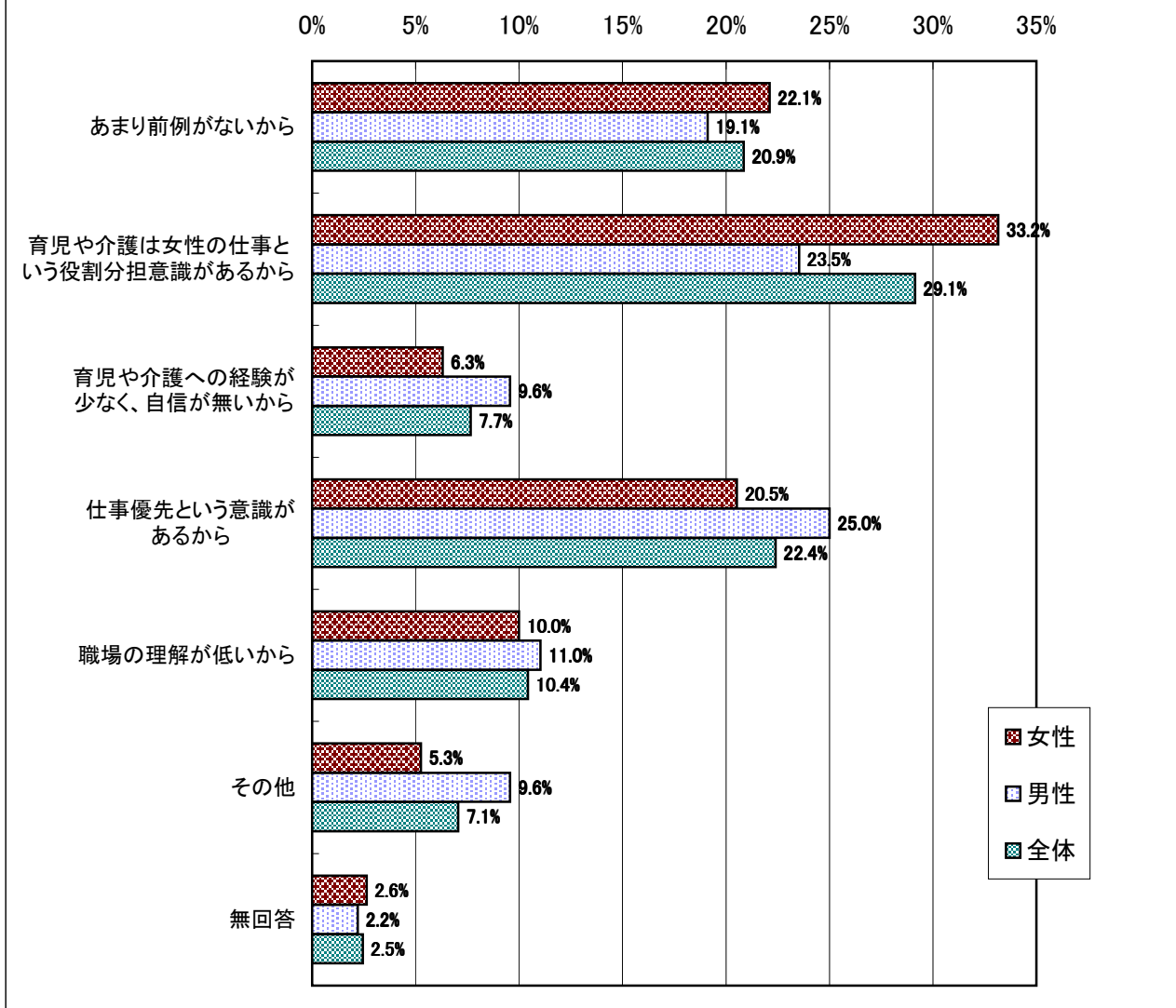


問20 あなたは、育児・介護休業が、男女職員を対象としているにもかかわらず、男性職員の取得率が低いのはなぜだと思いますか。（〇は1つ）

	女性	男性	全体
あまり前例がないから	42 22.1%	26 19.1%	68 20.9%
育児や介護は女性の仕事という役割分担意識があるから	63 33.2%	32 23.5%	95 29.1%
育児や介護への経験が少なく、自信が無いから	12 6.3%	13 9.6%	25 7.7%
仕事優先という意識があるから	39 20.5%	34 25.0%	73 22.4%
職場の理解が低いから	19 10.0%	15 11.0%	34 10.4%
その他	10 5.3%	13 9.6%	23 7.1%
無回答	5 2.6%	3 2.2%	8 2.5%
総計	190 100.0%	136 100.0%	326 100.0%

女性 n = 190
男性 n = 136
全体 n = 326

<図表3-15> 男性の育児介護休業取得率が低い理由

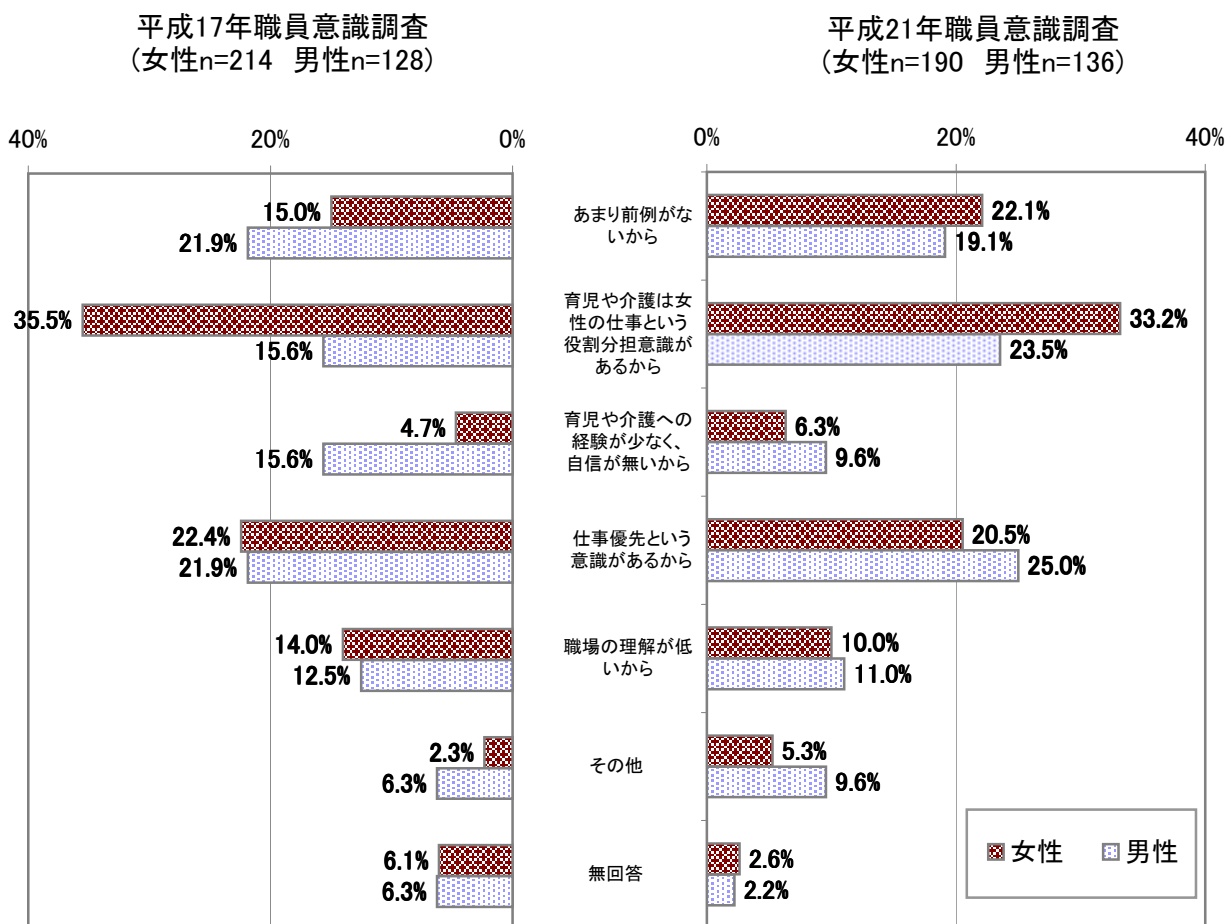


男性の育児休業・介護休暇取得が低い理由をたずねたところ、女性では「育児や介護は女性の仕事という役割分担意識があるから」とした割合が33.2%と最も高く、次いで「あまり前例がないから」が22.1%、「仕事優先という意識があるから」と続いています。当事者である男性は「仕事優先という意識があるから」25.0%、次いで「育児や介護は女性の仕事という役割分担意識があるから」23.5%、「あまり前例がないから」の19.1%となっています。

平成17年調査と比較すると、男女とも同様の傾向で「育児や介護は女性の仕事という役割分担意識があるから」、「仕事優先という意識があるから」、「あまり前例がないから」と続いています。

<参考>平成17年・平成21年職員意識調査との比較

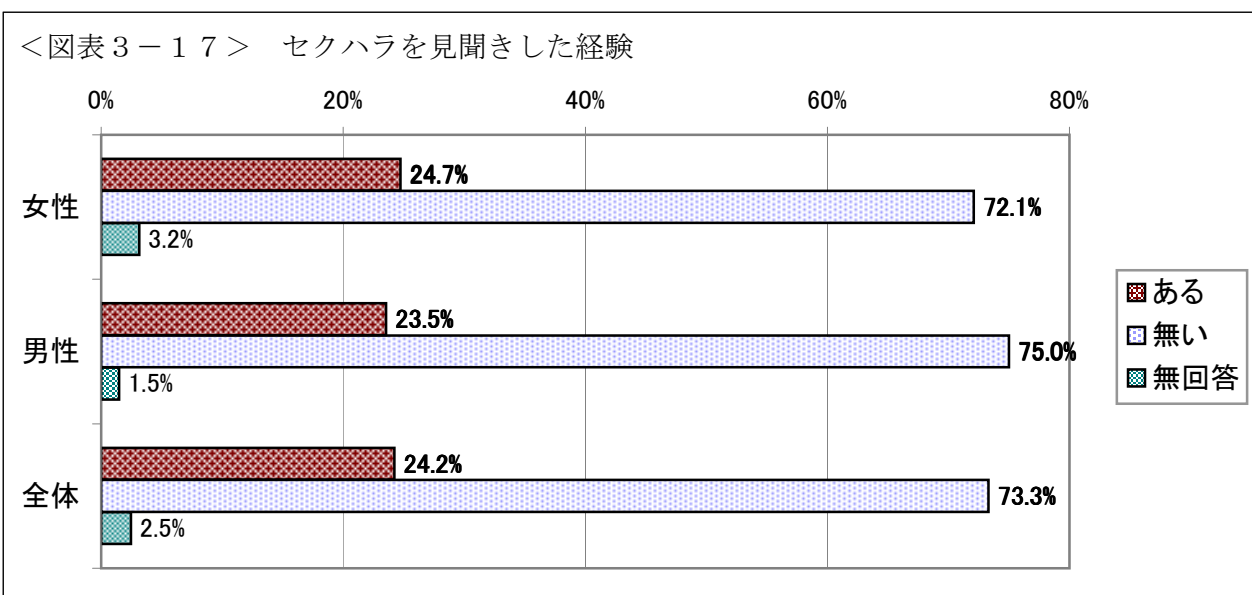
<図表3-16>



問 2 1 あなたの職場でセクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）を見たり聴いたりしたことはありますか。あるいは、職場で実際に体験したことがありますか。（○は1つ）

	女性	男性	全体
ある	47 24.7%	32 23.5%	79 24.2%
無い	137 72.1%	102 75.0%	239 73.3%
無回答	6 3.2%	2 1.5%	8 2.5%
総計	190 100.0%	136 100.0%	326 100.0%

女性 n = 190
男性 n = 136
全体 n = 326

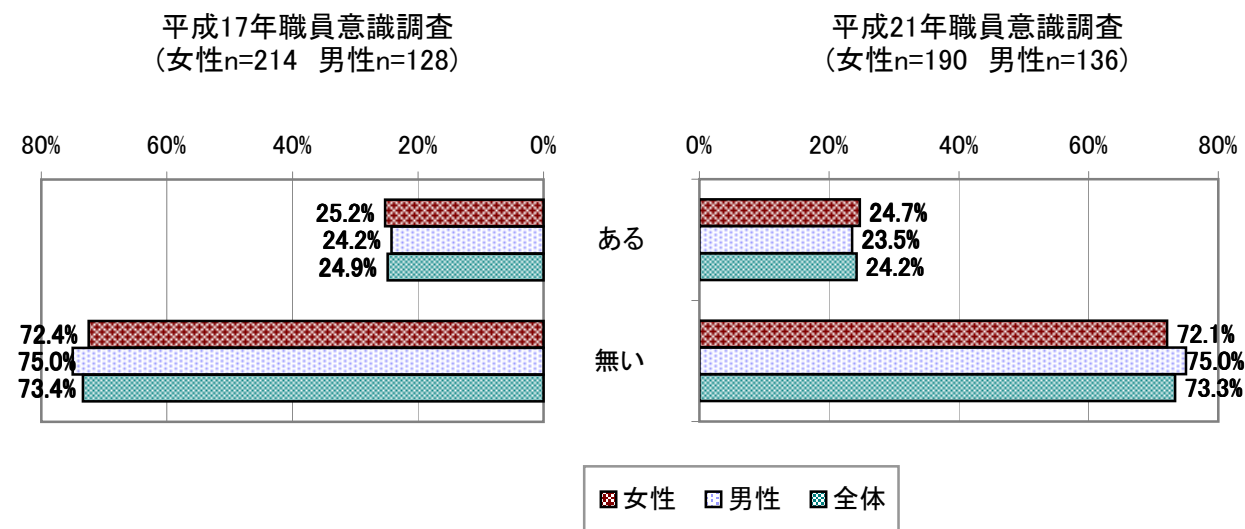


「見聞きしたことはない」とする割合は高いものの、男女とも「見聞きしたことがある」とする割合が依然として約 25%ほどあります。

また、前回調査と比較しても、変化がありません。

<参考>平成17年・平成21年職員意識調査との比較

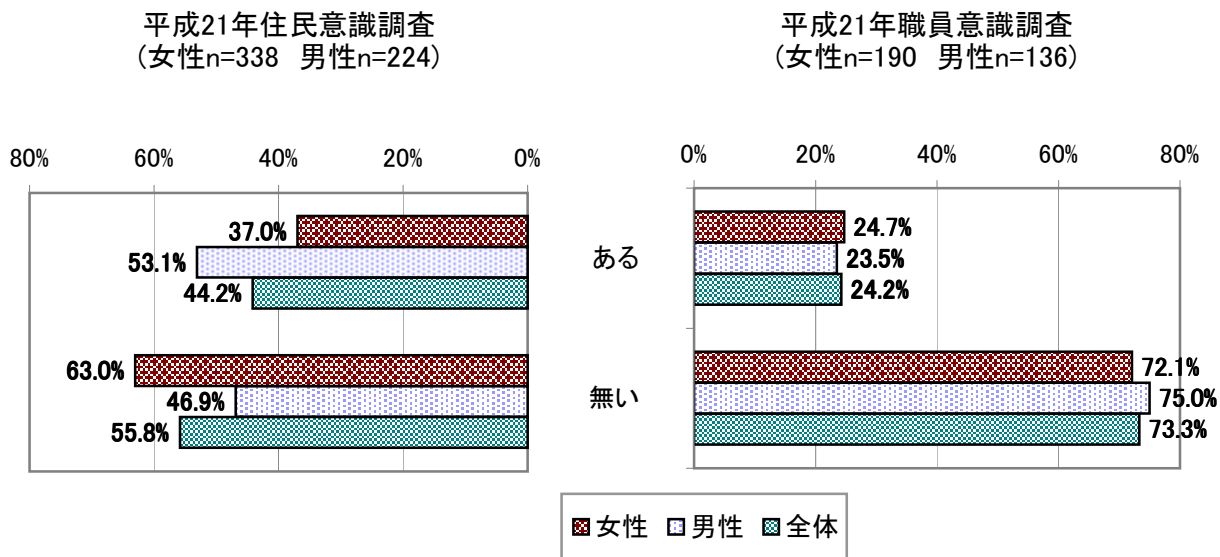
<図表 3-18>



住民意識調査と比較すると「見聞きしたことがある」とした割合は、女性で12.2ポイント、男性で29.6ポイント少なくなっています。

<参考>平成21年住民意識調査・職員意識調査との比較

<図表3-19>

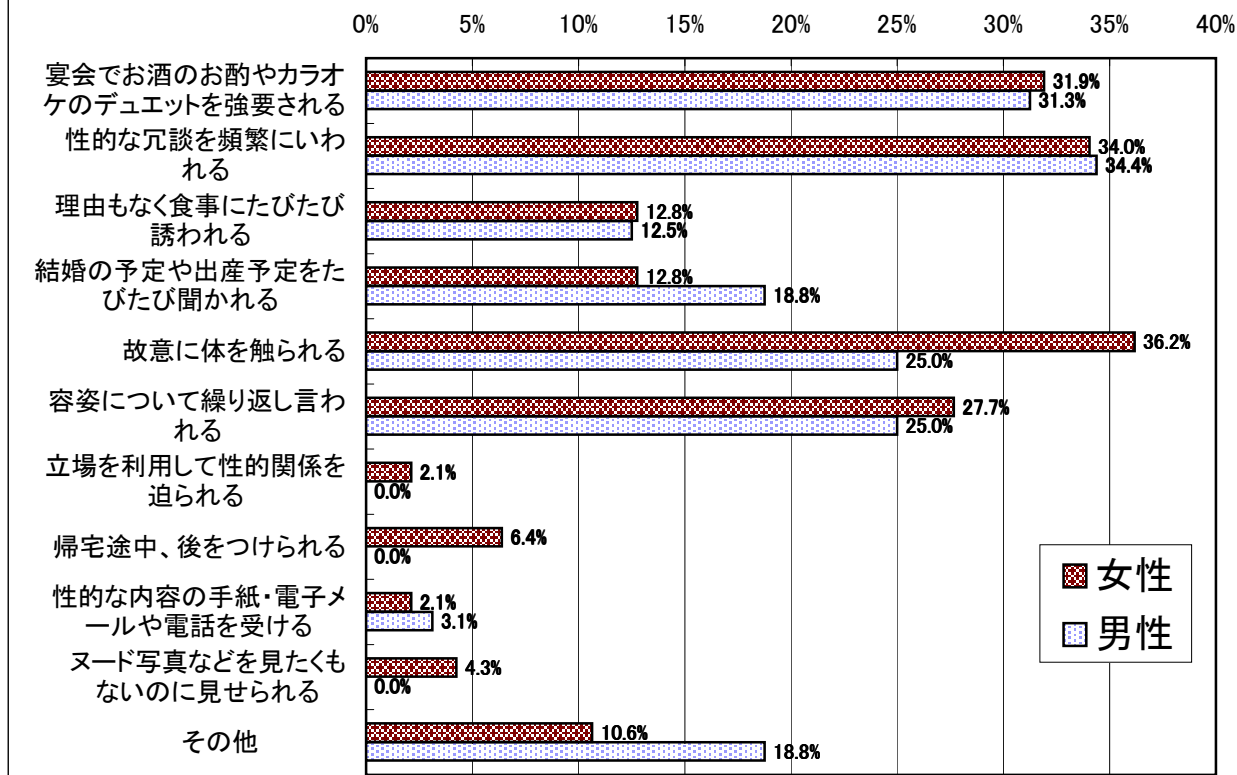


問22 (問21で、「ある」と答えた方に伺います。) それほどのようなことですか。
(○は該当するものいくつかでも)

	女性	男性	全体
宴会でお酒のお酌やカラオケのデュエットを強要される	15 31.9%	10 31.3%	25 31.6%
性的な冗談を頻繁にいわれる	16 34.0%	11 34.4%	27 34.2%
理由もなく食事にたびたび誘われる	6 12.8%	4 12.5%	10 12.7%
結婚の予定や出産予定をたびたび聞かれる	6 12.8%	6 18.8%	12 15.2%
故意に体を触られる	17 36.2%	8 25.0%	25 31.6%
容姿について繰り返し言われる	13 27.7%	8 25.0%	21 26.6%
立場を利用して性的関係を迫られる	1 2.1%	0 0.0%	1 1.3%
帰宅途中、後をつけられる	3 6.4%	0 0.0%	3 3.8%
性的な内容の手紙・電子メールや電話を受ける	1 2.1%	1 3.1%	2 2.5%
ヌード写真などを見たくもないのに見せられる	2 4.3%	0 0.0%	2 2.5%
その他	5 10.6%	6 18.8%	11 13.9%

女性 n = 47
男性 n = 32
全体 n = 79

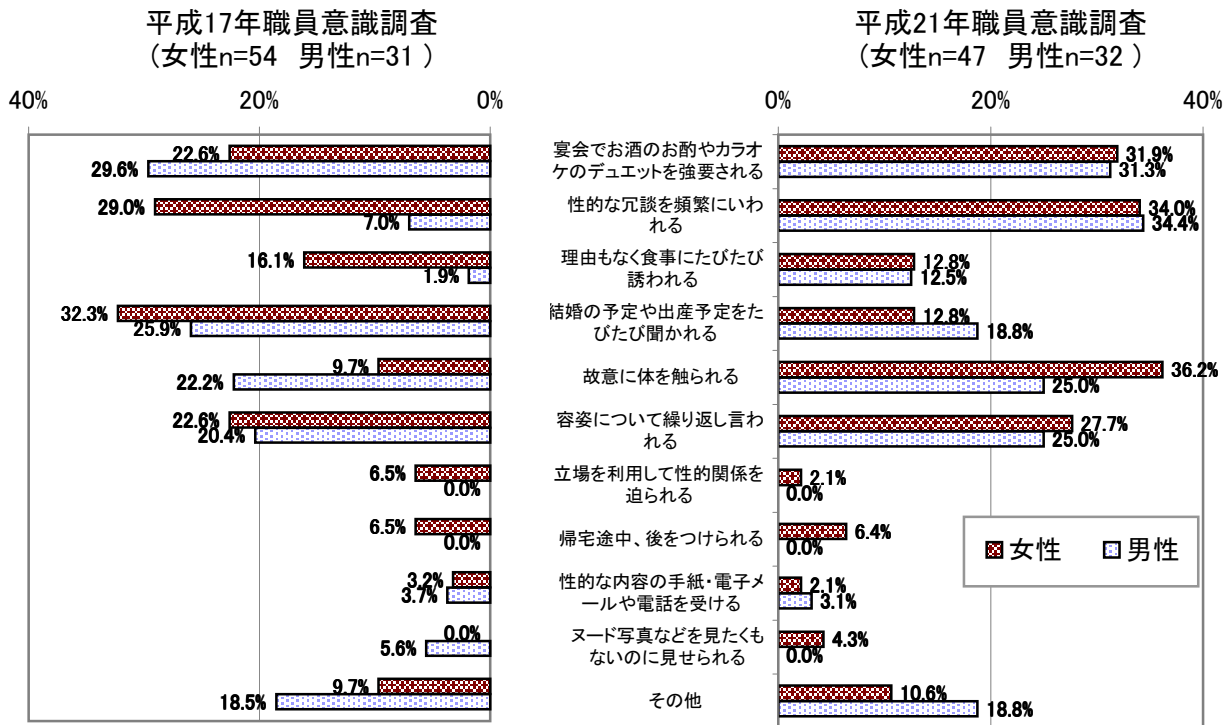
<図表3-20> 見・聞きしたことがあるセクハラの内容



セクハラの内容については、「故意に体を触られる」女性36.2%、男性25.0%、「性的な冗談を頻繁に言われる」女性34.0%、男性、34.4%、「宴会でのお酌やカラオケのデュエットの強要」女性31.9%、男性31.3%などがあげられます。

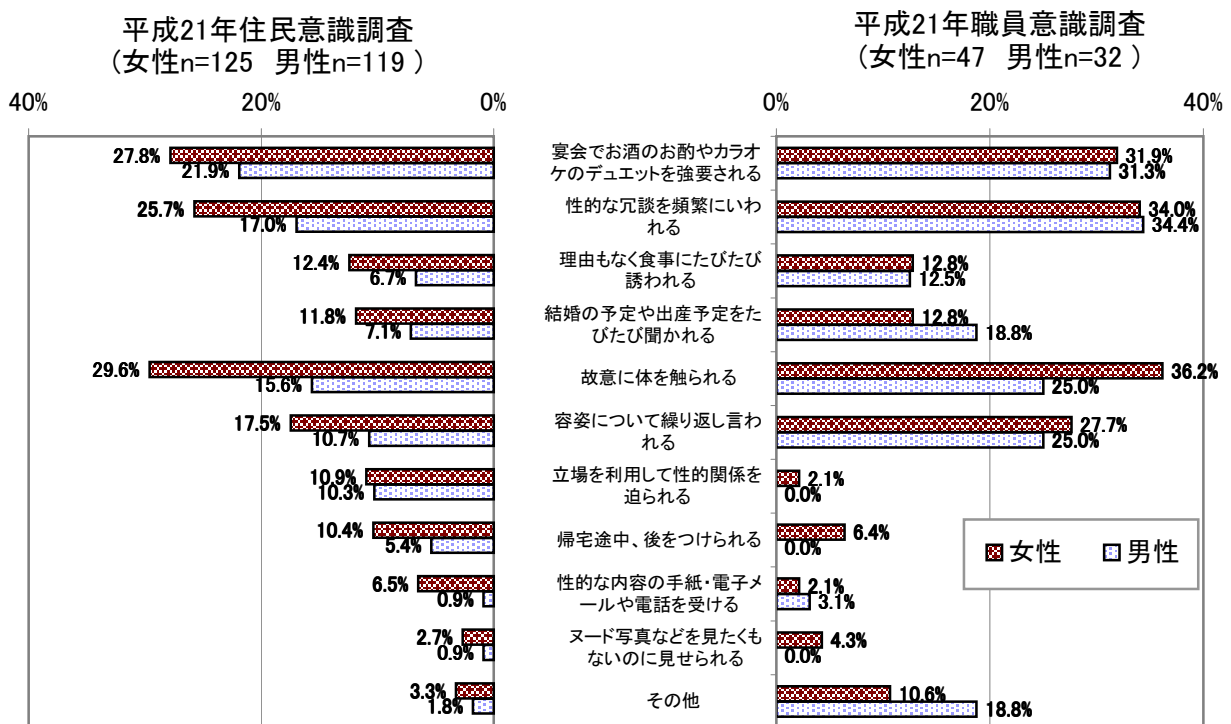
<参考>平成17年・平成21年職員意識調査との比較

<図表3-21>



<参考>平成21年住民意識調査・職員意識調査との比較

<図表3-22>



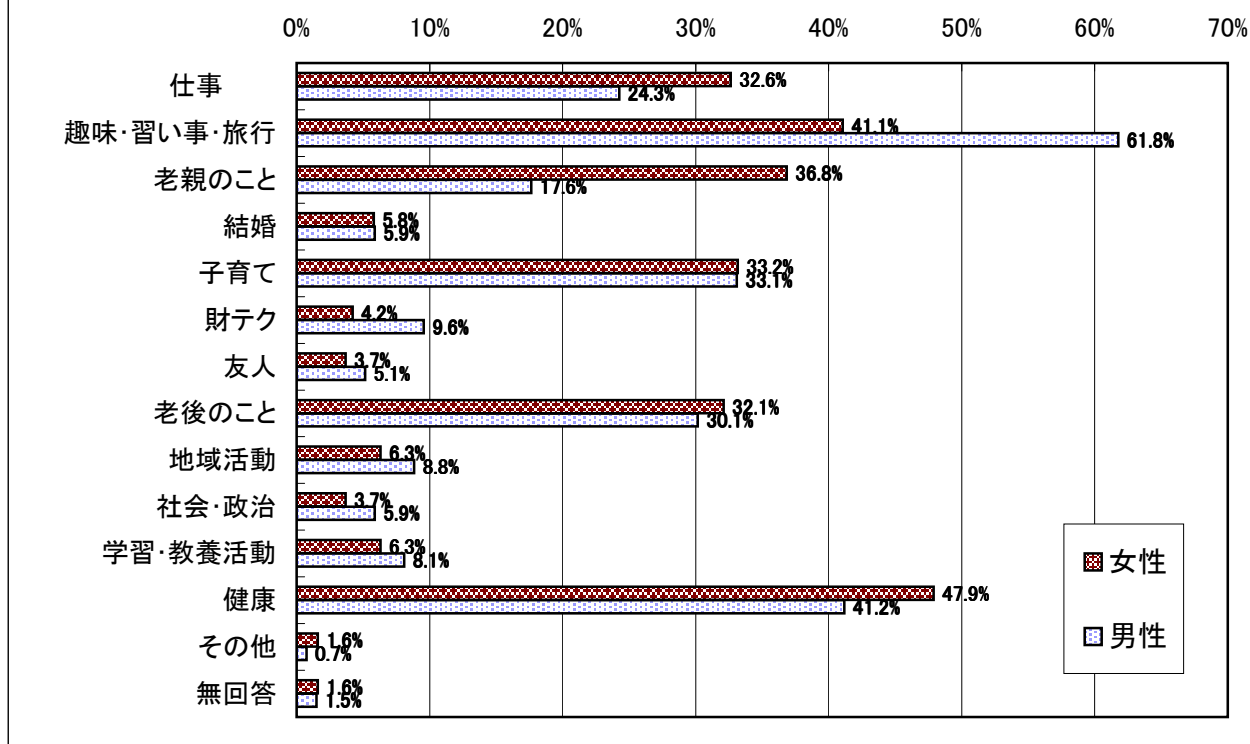
《 4 生活について 》

問 2 3 あなたの生活の中で、現在特に関心をもっているのは何ですか。(○は3つまで)

	女性	男性	全体
仕事	62 32.6%	33 24.3%	95 29.1%
趣味・習い事・旅行	78 41.1%	84 61.8%	162 49.7%
老親のこと	70 36.8%	24 17.6%	94 28.8%
結婚	11 5.8%	8 5.9%	19 5.8%
子育て	63 33.2%	45 33.1%	108 33.1%
財テク	8 4.2%	13 9.6%	21 6.4%
友人	7 3.7%	7 5.1%	14 4.3%
老後のこと	61 32.1%	41 30.1%	102 31.3%
地域活動	12 6.3%	12 8.8%	24 7.4%
社会・政治	7 3.7%	8 5.9%	15 4.6%
学習・教養活動	12 6.3%	11 8.1%	23 7.1%
健康	91 47.9%	56 41.2%	147 45.1%
その他	3 1.6%	1 0.7%	4 1.2%
無回答	3 1.6%	2 1.5%	5 1.5%

女性 n = 190
男性 n = 136
全体 n = 326

＜図表 4-1＞ 生活のなかで、現在関心をもっていること

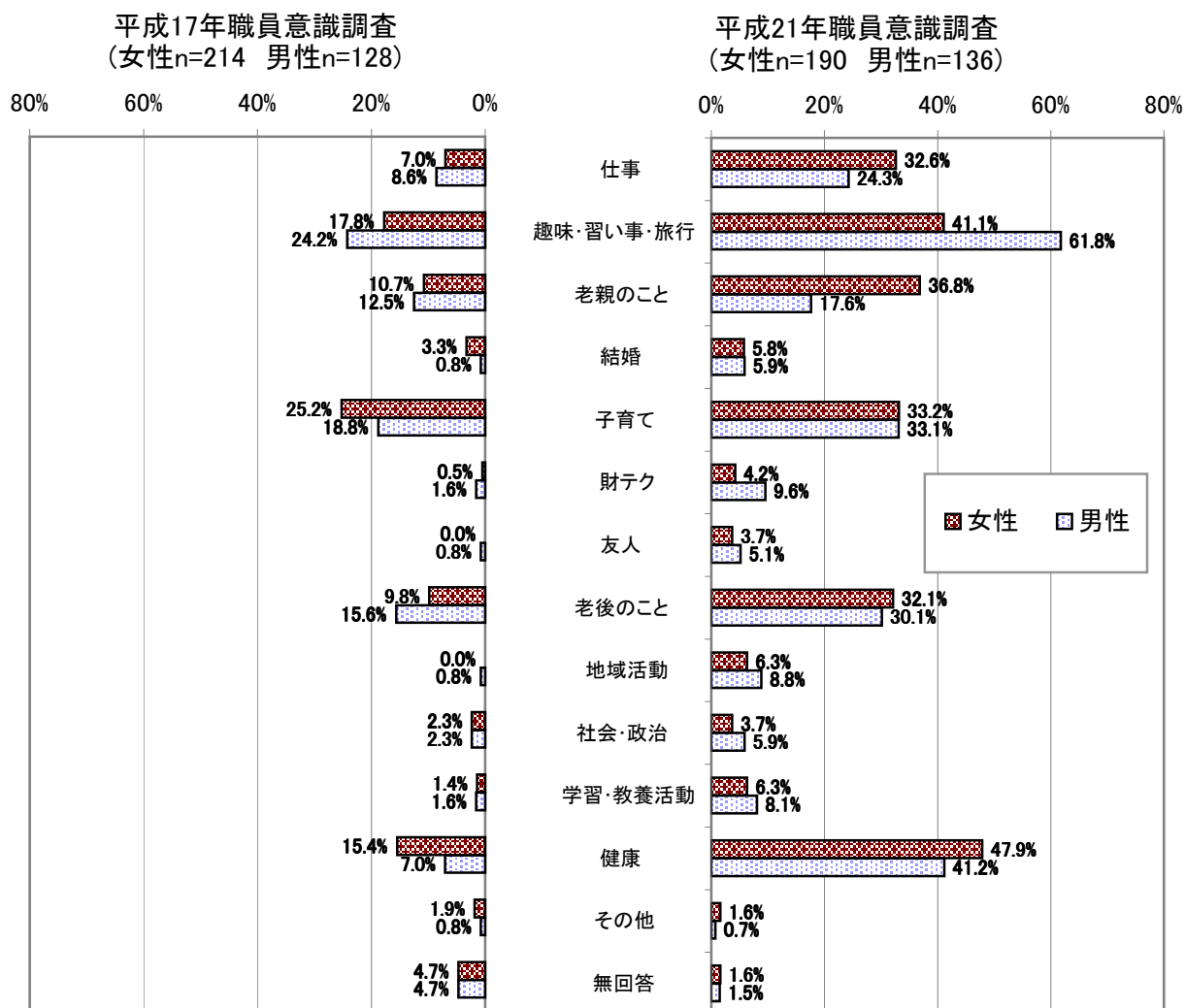


現在の関心事についてきいたところ、女性では「健康」47.9%、「趣味・習い事・旅行」41.1%、「老親のこと」36.8%、の順で高く、男性では「趣味・習い事・旅行」61.8%、「健康」41.2%、「子育て」33.1%の順で高くなっています。

平成17年調査との比較では男女とも「健康」「趣味・習い事・旅行」「老親のこと」が増えています。

<参考>平成17年・平成21年職員意識調査との比較

<図表4-2>

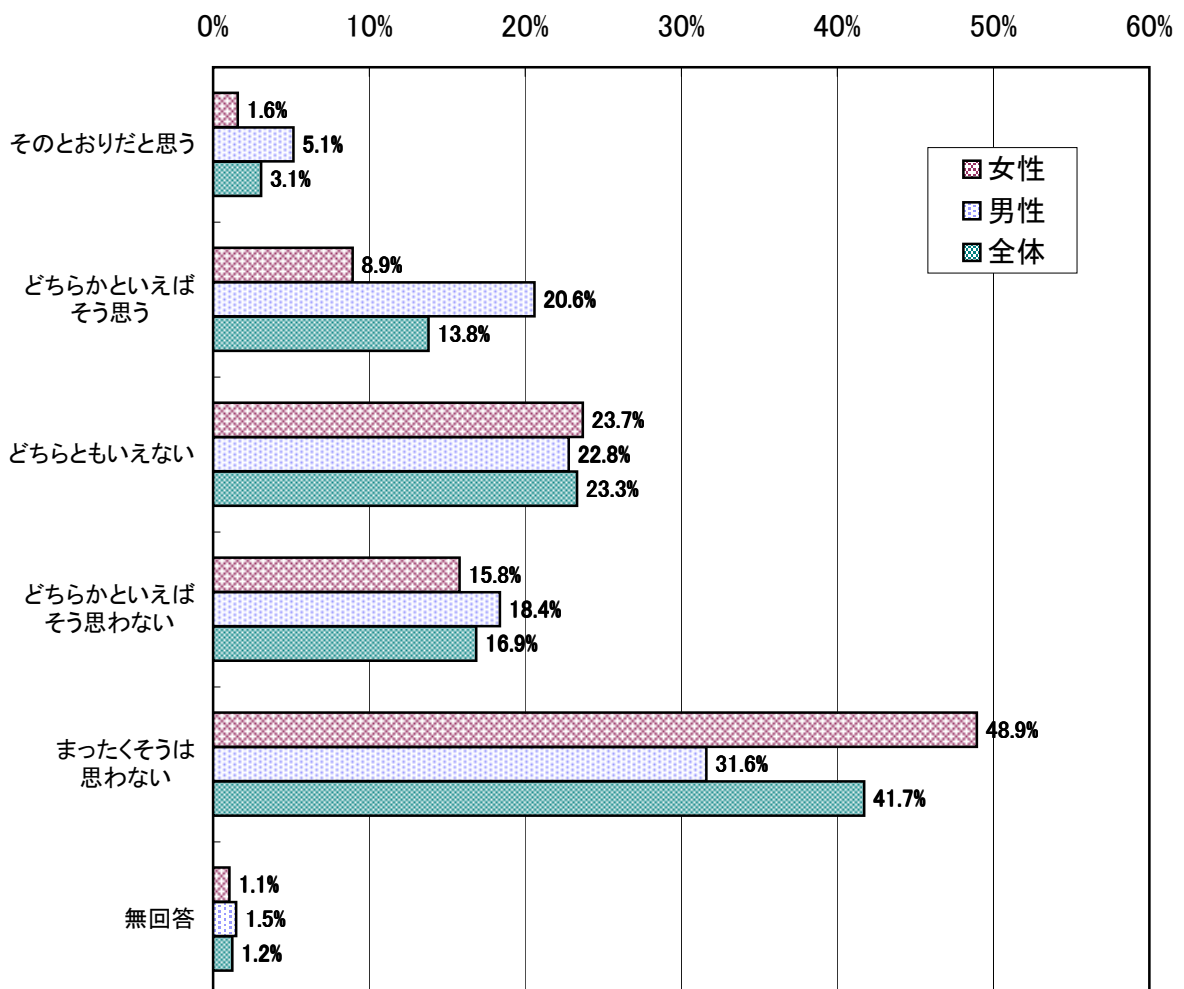


問24 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。次の中から選んでください。（○は1つ）

	女性	男性	全体
そのとおりだと思う	3 1.6%	7 5.1%	10 3.1%
どちらかといえばそう思う	17 8.9%	28 20.6%	45 13.8%
どちらともいえない	45 23.7%	31 22.8%	76 23.3%
どちらかといえばそう思わない	30 15.8%	25 18.4%	55 16.9%
まったくそうは思わない	93 48.9%	43 31.6%	136 41.7%
無回答	2 1.1%	2 1.5%	4 1.2%
総計	190 100.0%	136 100.0%	326 100.0%

女性 n = 190
男性 n = 136
全体 n = 326

<図表4-3> 男は仕事・女は家庭という意識



男は仕事、女は家庭という考え方については、「まったくそうは思わない」（41.7%）と最も高く、「どちらともいえない」（23.3%）「どちらかといえばそう思わない」が16.9%と続いています。

また、「まったくそうは思わない」・「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』が58.6%、「そのとおりだと思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が16.9%となっています。

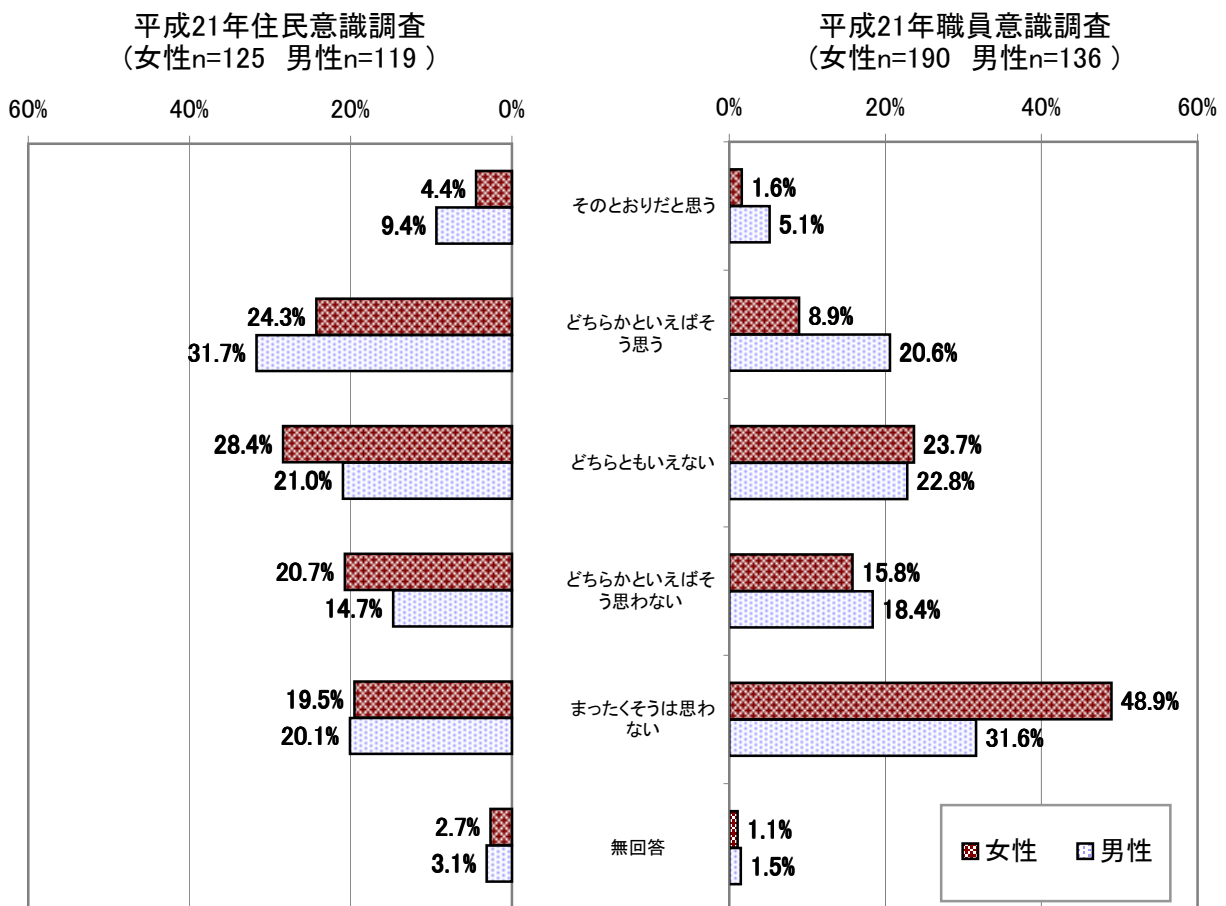
女性で『そう思わない』が64.7%と、男性（50.0%）より14.7ポイント高くなっています。

一方、男性で『そう思う』が25.7%と、女性（10.5%）より15.2ポイント高くなっています。

住民意識調査と比較すると、『そう思わない』が37.7%であり、職員意識調査（58.6%）の方が20.9ポイント高くなっています。

<参考>平成21年住民意識調査・職員意識調査との比較

<図表4-4>

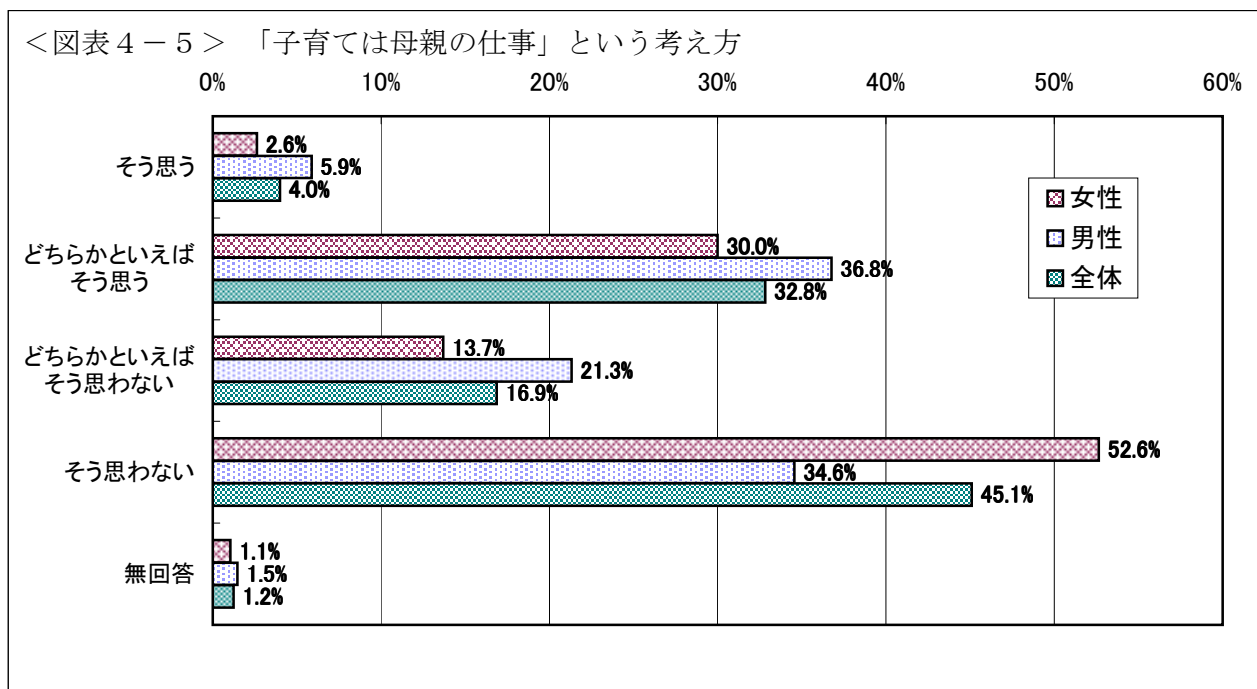


問25 「子育ては母親の仕事」・「家事は女性の仕事」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。それぞれ当てはまるものを、1～4の中から選んでください。（〇はそれぞれ1つ）

問25 a 「子育ては母親の仕事」という考え方

	女性	男性	全体
そう思う	5 2.6%	8 5.9%	13 4.0%
どちらかといえばそう思う	57 30.0%	50 36.8%	107 32.8%
どちらかといえばそう思わない	26 13.7%	29 21.3%	55 16.9%
そう思わない	100 52.6%	47 34.6%	147 45.1%
無回答	2 1.1%	2 1.5%	4 1.2%
合計	190 100.0%	136 100.0%	326 100.0%

女性 n = 190
男性 n = 136
全体 n = 326



子育ては母親の仕事という考え方については、「そう思わない」が45.1%と最も高く、「どちらかといえばそう思う」（32.8%）、「どちらかといえばそう思わない」（16.9%）となっています。

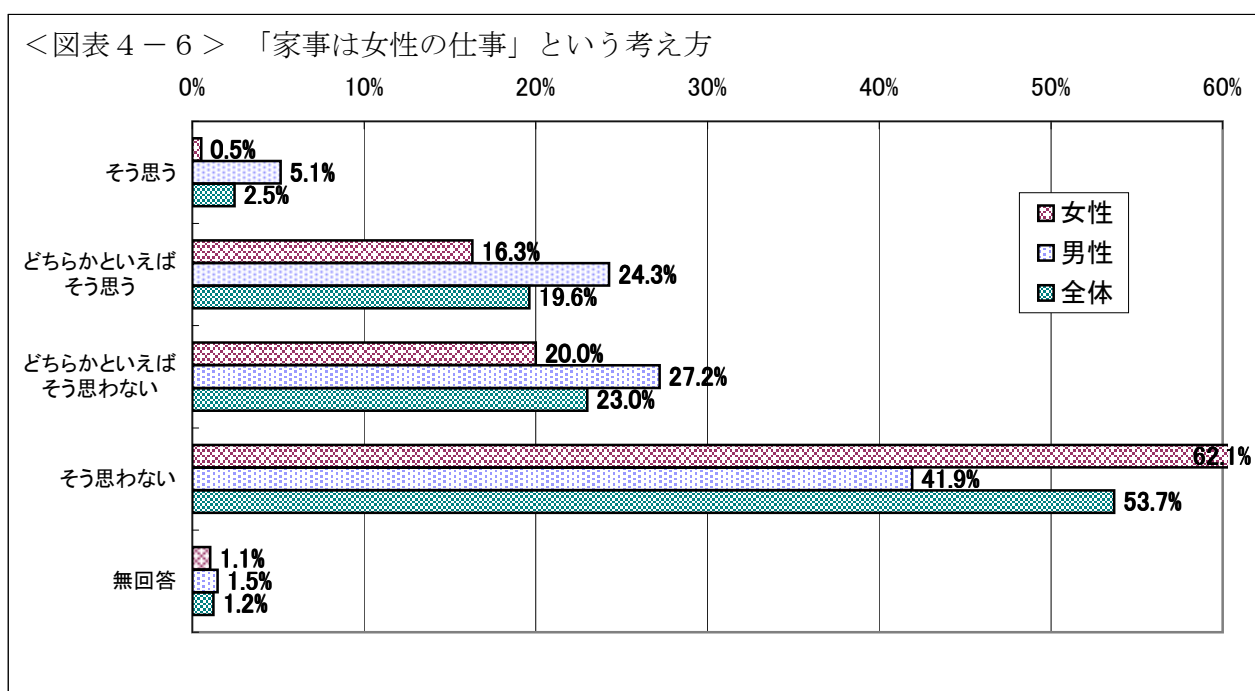
女性で「そう思う」・「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が32.6%と、男性（42.7%）より10.1ポイント低くなっています。

平成17年調査と比較すると、女性では「そう思わない」が、平成21年調査（52.6%）平成17年調査（43.0%）と9.6ポイント増えています。逆に男性では「どちらかといえばそう思う」が平成21年調査（36.8%）、平成17年調査（28.1%）と8.6ポイント増えています。

問 2 5 b 「家事は女性の仕事」という考え方

	女性	男性	全体
そう思う	1 0.5%	7 5.1%	8 2.5%
どちらかといえばそう思う	31 16.3%	33 24.3%	64 19.6%
どちらかといえばそう思わない	38 20.0%	37 27.2%	75 23.0%
そう思わない	118 62.1%	57 41.9%	175 53.7%
無回答	2 1.1%	2 1.5%	4 1.2%
合計	190 100.0%	136 100.0%	326 100.0%

女性 n = 190
男性 n = 136
全体 n = 326



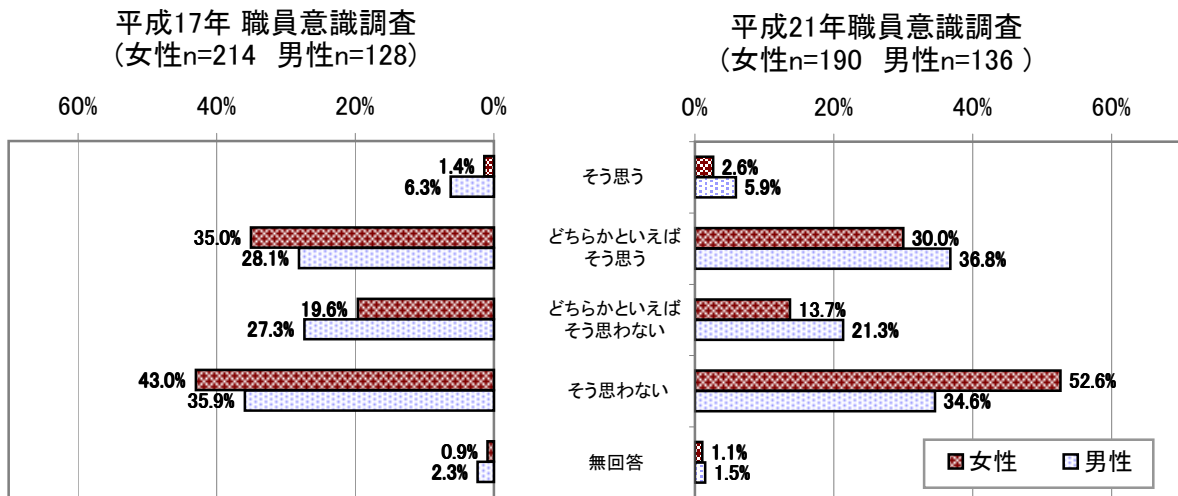
家事は女性の仕事という考え方については、「そう思わない」が53.7%と最も高く、「どちらかというと思わない」(23.0%)、「どちらかといえばそう思う」(19.6%)と続いています。

女性で「そう思う」・「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が16.8%と、男性(29.4%)より12.6ポイント低くなっています。

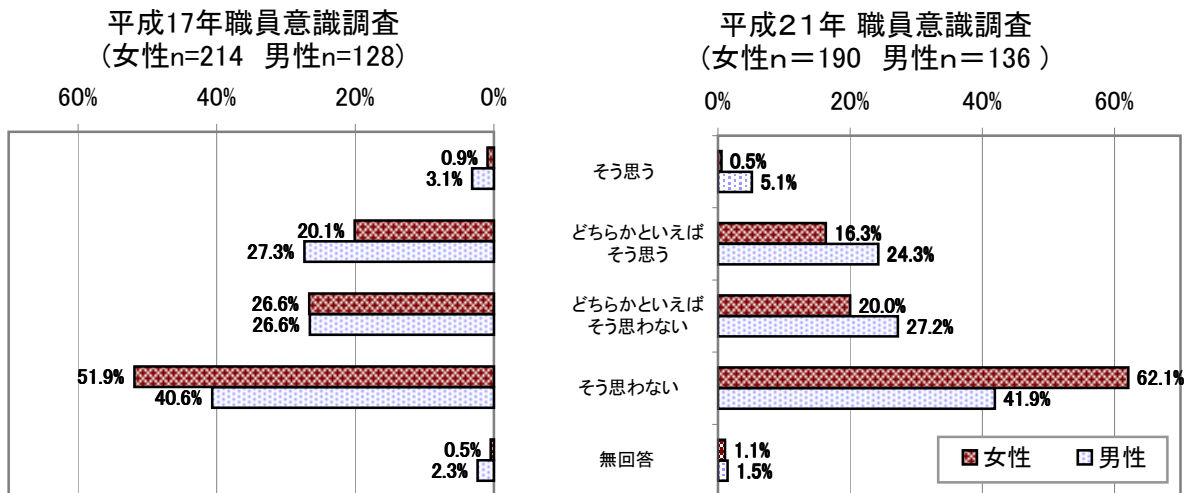
平成17年調査と比較すると、女性では「そう思わない」が、平成21年調査(62.1%)平成17年調査(51.9%)と10.2ポイント増えています。逆に男性では「そう思う」が平成21年調査(5.1%)、平成17年調査(3.1%)と2.0ポイント増えています。

<参考>平成17年・平成21年職員意識調査との比較

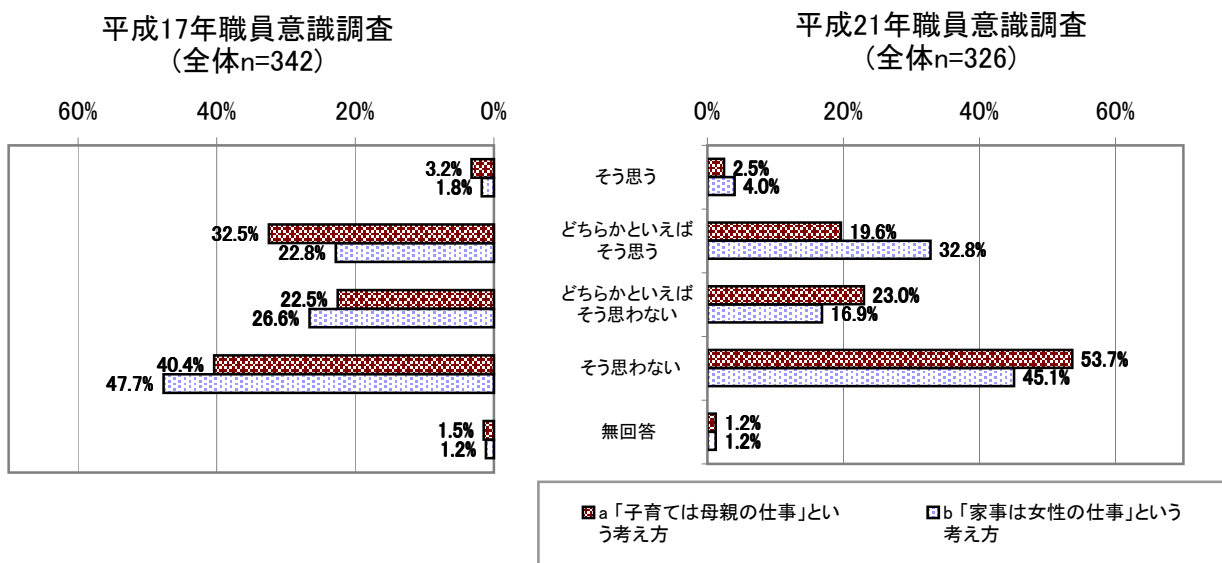
<図表4-7> 「子育ては母親の仕事」という考え方



<図表4-8> 「家事は女性の仕事」という考え方



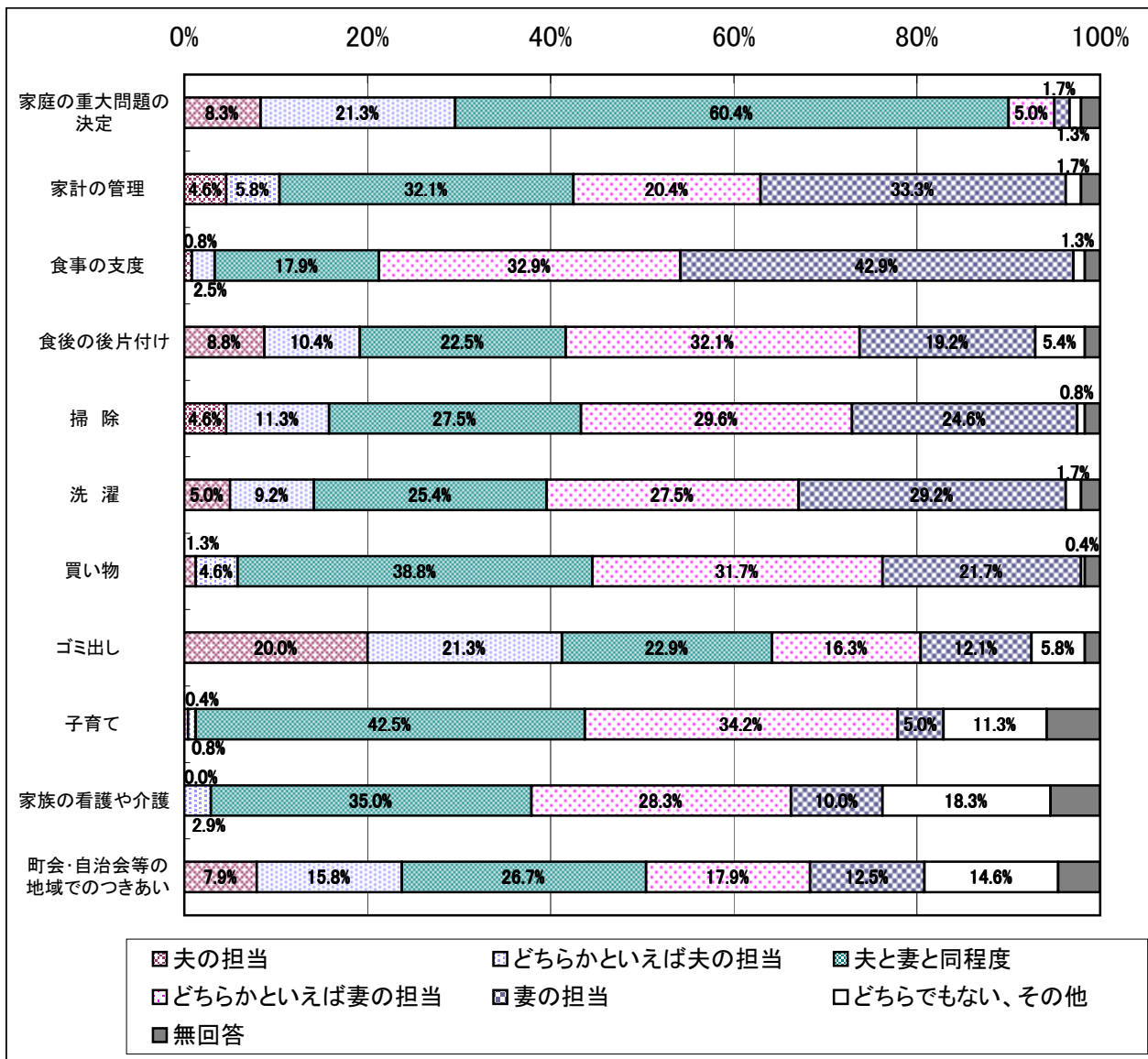
<図表4-9> 「子育ては母親の仕事」・「家事は女性の仕事」という考え方



問26 既婚（配偶者同居）の方に伺います。あなたの家庭では家事、育児などの分担はどのようにしていますか。 a～k の各項目ごとに、 1～6 の中から選んでください。（○はそれぞれ1つ）

	女性n=143 男性n= 97 全体n=240	夫の担当	どちらか といえば 夫の担当	夫と妻と 同程度	どちらか といえば 妻の担当	妻の担当	どちらで もない、 その他	無回答
a 家庭の重大問題の決定	女性	6.3%	18.9%	65.7%	6.3%	0.7%	0.0%	2.1%
	男性	11.3%	24.7%	52.6%	3.1%	3.1%	3.1%	2.1%
	全体	8.3%	21.3%	60.4%	5.0%	1.7%	1.3%	2.1%
b 家計の管理	女性	4.2%	3.5%	32.2%	21.0%	34.3%	2.1%	2.8%
	男性	5.2%	9.3%	32.0%	19.6%	32.0%	1.0%	1.0%
	全体	4.6%	5.8%	32.1%	20.4%	33.3%	1.7%	2.1%
c 食事の支度	女性	0.7%	3.5%	16.1%	32.9%	43.4%	1.4%	2.1%
	男性	1.0%	1.0%	20.6%	33.0%	42.3%	1.0%	1.0%
	全体	0.8%	2.5%	17.9%	32.9%	42.9%	1.3%	1.7%
d 食後の後片付け	女性	9.8%	10.5%	19.6%	30.8%	19.6%	7.7%	2.1%
	男性	7.2%	10.3%	26.8%	34.0%	18.6%	2.1%	1.0%
	全体	8.8%	10.4%	22.5%	32.1%	19.2%	5.4%	1.7%
e 掃除	女性	4.2%	11.2%	25.2%	28.0%	29.4%	0.0%	2.1%
	男性	5.2%	11.3%	30.9%	32.0%	17.5%	2.1%	1.0%
	全体	4.6%	11.3%	27.5%	29.6%	24.6%	0.8%	1.7%
f 洗濯	女性	3.5%	11.2%	24.5%	27.3%	29.4%	2.1%	2.1%
	男性	7.2%	6.2%	26.8%	27.8%	28.9%	1.0%	2.1%
	全体	5.0%	9.2%	25.4%	27.5%	29.2%	1.7%	2.1%
g 買い物	女性	0.7%	2.1%	34.3%	32.2%	28.0%	0.7%	2.1%
	男性	2.1%	8.2%	45.4%	30.9%	12.4%	0.0%	1.0%
	全体	1.3%	4.6%	38.8%	31.7%	21.7%	0.4%	1.7%
h ゴミ出し	女性	18.2%	24.5%	25.2%	13.3%	11.2%	5.6%	2.1%
	男性	22.7%	16.5%	19.6%	20.6%	13.4%	6.2%	1.0%
	全体	20.0%	21.3%	22.9%	16.3%	12.1%	5.8%	1.7%
i 子育て	女性	0.0%	0.7%	40.6%	33.6%	5.6%	12.6%	7.0%
	男性	1.0%	1.0%	45.4%	35.1%	4.1%	9.3%	4.1%
	全体	0.4%	0.8%	42.5%	34.2%	5.0%	11.3%	5.8%
j 家族の看護や介護	女性	0.0%	2.8%	29.4%	31.5%	12.6%	17.5%	6.3%
	男性	0.0%	3.1%	43.3%	23.7%	6.2%	19.6%	4.1%
	全体	0.0%	2.9%	35.0%	28.3%	10.0%	18.3%	5.4%
k 町会・自治会等地域でのつきあい	女性	4.9%	15.4%	24.5%	17.5%	18.2%	13.3%	6.3%
	男性	12.4%	16.5%	29.9%	18.6%	4.1%	16.5%	2.1%
	全体	7.9%	15.8%	26.7%	17.9%	12.5%	14.6%	4.6%

<図表4-10>



既婚者に家庭内での家事・育児などの分担についてたずねたところ、「夫と妻と同程度」とする割合が最も高かったのは「家庭の重大問題の決定」（60.4%）、次に「子育て」（42.5%）、「買い物」（38.8%）と続いています。

「夫の役割」・「どちらかといえば夫の役割」と回答した割合は「ゴミ出し」（41.3%）「家庭の重大問題の決定」（29.6%）で高かったものの、全体としては「妻の役割」・「どちらかといえば妻の役割」はほとんどの項目で夫に比べて割合が高く、「食事の支度」では（75.8%）となっています。

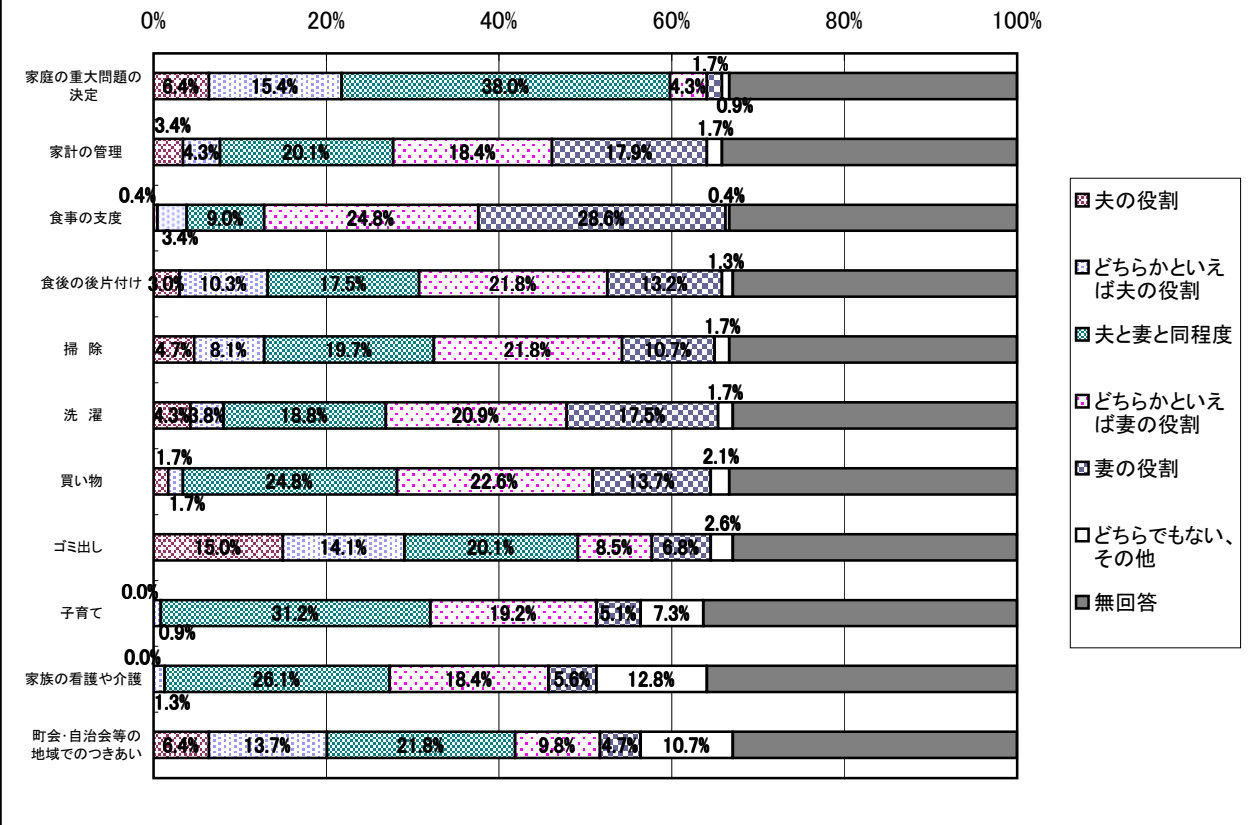
平成17年調査と比較しても、大きな差異は見られません。

※平成17年調査では、「結婚している」と回答した者を対象にして集計したが、無回答がどの項目も3割程度あり、この無回答の中には世帯構成から見て同居でない形態が含まれています。

住民意識調査と比較しても、全体的に同様な傾向が見られます。

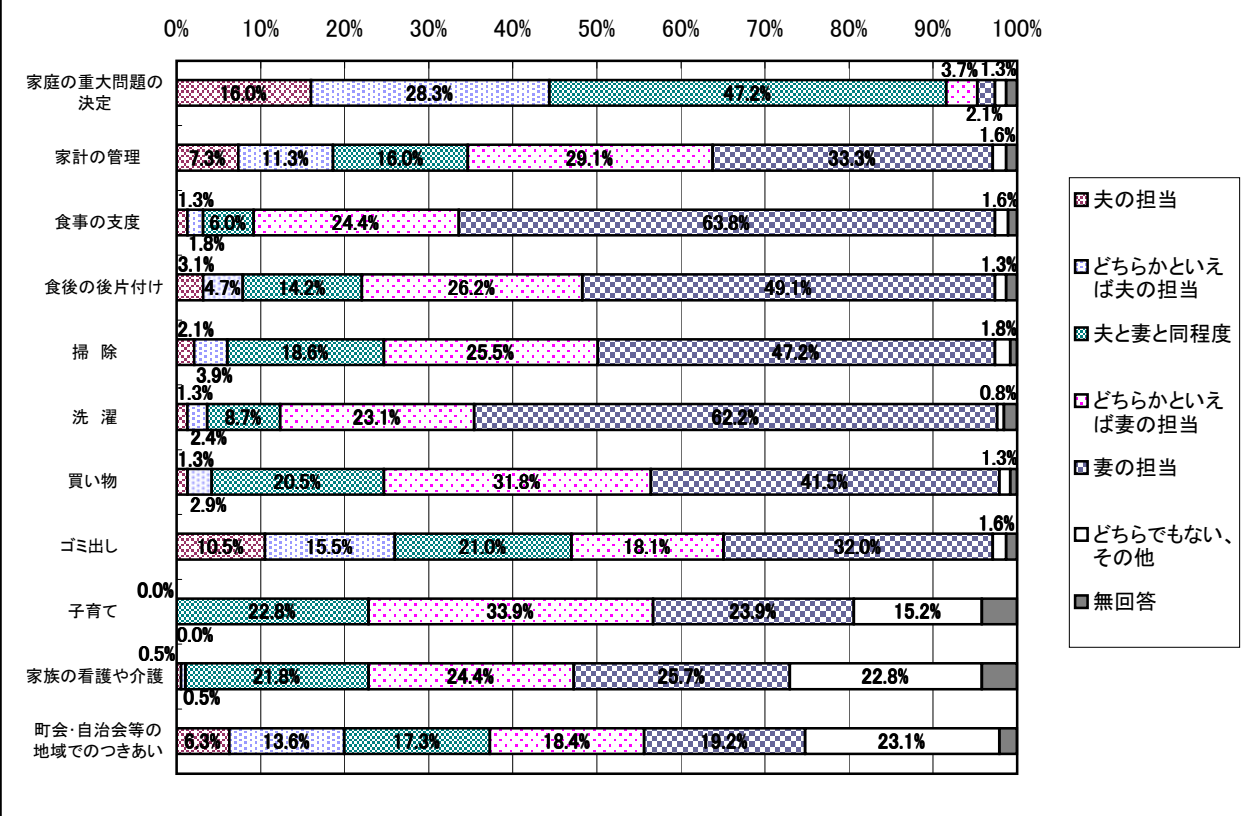
<参考>平成17年職員意識調査

<図表4-11>平成17年 職員意識調査(全体n=234)



<参考>平成21年住民意識調査

<図表4-12>平成21年住民意識調査(全体n=381)



Ⅲ 調査票及び単純集計結果

豊島区職員の男女平等意識に関する調査

— ご協力をお願い —

区では、男女一人ひとりの人権が尊重され、その個性と能力を存分に発揮できる「男女共同参画社会」の実現に向けて様々な取組みを行っています。

この意識調査は、区行政を男女共同参画の視点のもとで積極的に推進するため、それを担う職員の意識及び職場の状況を把握し、今後の施策の資料とするために実施するものです。

対象は、前回（平成17年）と同様に、全職員の中から無作為に500名を抽出し、実施いたします。

回答は無記名で、結果はすべて統計的に処理しますので、ご回答いただいた方にご迷惑をおかけすることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力くださるようお願い申し上げます。

なお、この調査は、「としま男女共同参画推進プラン」に基き、総務部人事課と男女平等推進センターが実施します。

平成21年 9月

総務部人事課
男女平等推進センター

<記入上の注意>

1. 宛名のご本人がお答えください。氏名は記入しないでください。
2. ボールペン、または、濃い鉛筆でご記入ください。
3. お答えは、設問ごとに「○は1つ」、「○はいくつでも」、「○はそれぞれ1つ」など指定されていますので、当てはまる番号を○で囲んでください。
4. 特に指定がない設問は全員が答えてください。
5. 「その他」を選択した場合は、その内容を具体的に記入してください。
6. ご記入いただいた調査票は **9月16日(水)**までに同封の返信用封筒に入れて交換で返送してください。
7. この調査票についてのお問い合わせは、下記へお願いします。

総務部人事課人事グループ 内線(2242)
男女平等推進センター 直通(5952)9501

一般的な男女平等についてお伺いします

問1 あなたは、今の世の中は男女平等になっていると思いますか。(○は1つ)

n=326

- | | |
|------------------------|-------|
| 1 男女平等になっている | 3.7% |
| 2 どちらかといえば、男女平等になっている | 30.4% |
| 3 どちらかといえば、男女平等になっていない | 38.3% |
| 4 男女平等になっていない | 19.3% |
| 5 わからない | 3.4% |
| 無回答 | 4.9% |

問2 では、次の a~g の分野では、男女平等がどの程度実現されていると思いますか。
各分野ごとに、1~6 の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

n=326

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	男女平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
a 家庭の中で	9.5%	50.3%	26.7%	6.1%	1.2%	4.9%	1.2%
b 職場の中で	3.1%	38.0%	34.0%	10.7%	1.2%	11.3%	1.5%
c 学校教育の場で	1.5%	15.3%	57.7%	1.8%	0.6%	20.6%	2.5%
d 政治の場で	26.4%	45.7%	15.3%	2.1%	0.3%	8.9%	1.2%
e 制度や法律の上で	10.4%	32.5%	34.7%	9.8%	1.2%	10.1%	1.2%
f 社会通念・習慣・しきたりで	28.8%	53.4%	7.4%	3.1%	0.9%	4.6%	1.8%
g 地域活動の場で	9.8%	42.6%	22.7%	6.7%	0.6%	15.6%	1.8%

問3 社会的に配偶者(事実婚や離婚後も含む)への暴力(DV)が問題になっていますが、配偶者間で次のようなことが行われた場合、あなたはそれを暴力だと思いますか。

社会的に配偶者(事実婚や離婚後も含む)への暴力(DV)が問題になっていますが、配偶者間で次のようなことが行われた場合、あなたはそれを暴力だと思いますか。

次の a~l ごとに、1~3 の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

n=326

	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力の場合も、そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない	無回答
a 何を言っても無視する	35.6%	57.1%	6.7%	0.6%
b 交友関係や電話、メール、郵便を細かく監視する	53.4%	40.5%	5.5%	0.6%
c 自分が家にいるときは外出しないようにと言う	52.8%	41.7%	4.9%	0.6%
d 大切にしている物をわざと壊したり、捨てたりする	87.7%	10.4%	0.9%	0.9%
e 「誰のおかげで食べられるのだ」とか「かいしょうなし」と言う	76.4%	20.9%	1.8%	0.9%
f なぐるふりをして、おどす	86.2%	12.0%	1.2%	0.6%
g なぐる蹴るの暴力をふるう	97.2%	1.5%	0.6%	0.6%
h 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	83.1%	13.8%	2.1%	0.9%
I 避妊に協力しない	78.8%	18.1%	1.8%	1.2%
j おどしや暴力によって、意に反して性的な行為を強要する	95.1%	4.0%	0.3%	0.6%
k 大声でどなる	69.3%	29.1%	0.9%	0.6%
l 生活費を渡さない	69.0%	28.5%	1.5%	0.9%

問4 現在、男女共同参画社会の実現にむけて、法律や制度の整備が進んでいます。

あなたは、国における次の法律・政策・用語を知っていますか。次の a~k ごとに、それぞれ当てはまるものを、1~3 の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

n=326

	知っている	あるという ことは 知っている	知らない	無回答
a 男女共同参画社会	53.4%	38.7%	7.1%	0.9%
b 男女共同参画社会基本法	23.9%	50.6%	24.2%	1.2%
c 女子差別撤廃条約	16.9%	38.7%	43.9%	0.6%
d 男女雇用機会均等法(雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律)	63.8%	31.6%	4.0%	0.6%
e 育児・介護休業法(育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律)	65.3%	31.6%	2.8%	0.3%
f ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	31.3%	31.0%	37.1%	0.6%
g ポジティブアクション(積極的改善措置)	11.7%	27.6%	59.8%	0.9%
h DV防止法(配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律)	61.0%	33.4%	4.9%	0.6%
I ストーカー規制法(ストーカー行為等の規制等に関する法律)	71.2%	27.0%	1.5%	0.3%
j 児童虐待防止法(児童虐待の防止に関する法律)	73.0%	24.2%	2.5%	0.3%
k トラフィッキング(人身取引)	15.6%	39.9%	43.6%	0.9%

問5 あなたは、豊島区における次の事業・施策を知っていますか。次の a～e ごとに、それぞれ当てはまるものを、1～3の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

n=326

	知っている	あるということは知っている	知らない	無回答
a 豊島区男女共同参画都市宣言	38.3%	41.1%	19.3%	1.2%
b 豊島区男女共同参画推進条例	34.7%	43.3%	20.9%	1.2%
c としま男女共同参画推進プラン	42.0%	46.3%	10.1%	1.5%
d 豊島区男女共同参画推進会議	25.8%	45.7%	27.3%	1.2%
e 豊島区男女共同参画苦情処理委員	15.3%	30.4%	53.1%	1.2%

問6 男女共同参画社会を実現するために、あなたが重要であると思うことは何ですか。あなたの考えに近いものを選んでください。(○は該当するものいくつでも)

n=326

1 法律や制度の見直しを行い、女性差別につながるものを改めること	47.9%
2 女性をとりまくさまざまな偏見や固定的な社会通念・慣習・しきたりを改めること	62.0%
3 女性自身が経済力をつけたり、積極的に知識・技術を習得すること	43.6%
4 女性の就業・社会参加を支援する施設サービスの充実を図ること	41.7%
5 行政や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること	25.2%
6 家事や育児、高齢者・病人の介護を、男女とも担える社会づくりを進めること	75.2%
7 学校や教育の場で、男女平等教育を推し進めること	38.7%
8 夫や家族の理解や協力を得ること	40.2%
9 男女平等に関する普及啓発や区民の自主的活動への支援などを行うこと	19.3%
10 その他	2.8%
回答計	396.3%

仕事についてお伺いします

問7 あなたが現在働いている理由は何ですか。(○は3つまで)

n=326

1 職業を持つのがあたり前だから	30.7%	7 生計を維持するため	80.7%
2 仕事が生きがいだから	6.7%	8 家計を補助するため	13.2%
3 社会とのつながりがほしいから	19.6%	9 家庭に縛られたくないから	0.9%
4 能力や個性を生かしたいから	18.1%	10 なんとなく	2.1%
5 仕事を通じて自分を成長させたいから	33.7%	11 その他	1.2%
6 社会に役立ちたいから	31.0%	回答計	238.0%

問8 あなたが現在仕事をしていくうえで苦勞している点はどんなことですか。(○は3つまで) n=326

1 仕事の種類・内容が合わない	11.0%	7 住民とのコミュニケーション	26.1%
2 仕事に関する知識や技術の不足	41.4%	8 家族の理解	3.1%
3 部下の掌握	11.0%	9 子どもの育児や教育	21.2%
4 上司とのコミュニケーション	19.9%	10 家族の看護や介護	13.5%
5 男性の同僚とのコミュニケーション	6.1%	11 自分や家族の健康の問題	23.9%
6 女性の同僚とのコミュニケーション	11.0%	12 その他	4.9%
回答計			193.3%

問9 あなたは「仕事」と「家庭」と「地域・個人の生活」について、どのような状況が理想だと考えますか。また、現実はどのようですか。次の中から選んでください。 n=326

a 理想 (○は1つ)

1 「仕事」を優先	0.3%	5 「仕事」と「地域・個人」の生活を両立	4.0%
2 「家庭」を優先	15.3%	6 「家庭」と「地域・個人」の生活を両立	4.0%
3 「地域・個人」の生活を優先	1.2%	7 「仕事」「家庭」「地域・個人」の生活を両立	47.5%
4 「仕事」と「家庭」を両立	26.7%	8 その他	0.3%
		無回答	0.6%

b 現実 (○は1つ)

1 「仕事」を優先	47.2%	5 「仕事」と「地域・個人」の生活を両立	5.8%
2 「家庭」を優先	6.4%	6 「家庭」と「地域・個人」の生活を両立	1.2%
3 「地域・個人」の生活を優先	1.2%	7 「仕事」「家庭」「地域・個人」の生活を両立	7.7%
4 「仕事」と「家庭」を両立	27.3%	8 その他	1.2%
		無回答	1.8%

問10 あなたの職場では、仕事の分担はどのようになっていますか。次の a~h ごとに、1~3 の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ) n=326

	女性	男性	男性	無回答
a 予算決算の仕事	21.2%	15.0%	50.3%	13.5%
b 経理、旅費、購買等	34.0%	9.2%	44.8%	12.0%
c 文書、服務、福利	28.5%	11.3%	47.5%	12.6%
d 全体の取りまとめ、調整	21.5%	29.4%	38.0%	11.0%
e 窓口	16.6%	4.0%	67.8%	11.7%
f 対外折衝	17.2%	11.0%	59.5%	12.3%
g 計画、立案等	16.9%	14.4%	56.7%	12.0%
h 来客のお茶汲み	37.7%	2.8%	37.7%	21.8%

問11 あなたが定年まで勤めるとして、どこまでチャレンジしますか。(○は1つ)

n=326

- | | | |
|---|-----------------|-------|
| 1 | 課長以上になりたい | 8.3% |
| 2 | 係長にはなりたい | 26.1% |
| 3 | 主任主事にはなりたい | 13.5% |
| 4 | 特にチャレンジしたいと思わない | 33.1% |
| 5 | 受験資格ができたときに考える | 16.0% |
| | 無回答 | 3.1% |

問12 (問11で 2、3、4 と答えた方に伺います。)

管理職になりたくない理由は何ですか。(○は1つ)

n=237

- | | | |
|---|----------------------|-------|
| 1 | 管理職は責任が重いから | 14.8% |
| 2 | 管理職になると休暇が取り難いから | 3.0% |
| 3 | 管理職になると人事管理がわずらわしいから | 2.1% |
| 4 | 現場で働きたいから | 24.9% |
| 5 | 試験が大変だから | 3.8% |
| 6 | 家庭生活と両立しないから | 13.9% |
| 7 | 能力がないから | 26.6% |
| 8 | その他 | 9.7% |
| | 無回答 | 1.3% |

職場についてお伺いします

問13 あなたの職場では、仕事の内容や待遇面で、男女の扱いに差はありますか。

n=326

- | | | |
|---|-------|-------|
| 1 | あると思う | 18.4% |
| 2 | 無いと思う | 77.9% |
| | 無回答 | 3.7% |

問14 (問13で「1 あると思う」と答えた方に伺います)

それはどのようなことですか。あなたの考えに近いものを選んでください。(○はいくつでも)

n= 60

- | | | |
|---|------------------------|-------|
| 1 | 係の中心的仕事は男性が担っている | 16.7% |
| 2 | 昇任昇給の早さが男女で違う | 13.3% |
| 3 | 母性保護休暇をとる女性への評価が低い | 18.3% |
| 4 | 重いものを運ぶなどの力仕事は男性がやっている | 58.3% |
| 5 | 女性は補助的の仕事が多い | 10.0% |
| 6 | 女性はベテランでもお茶汲みから離れられない | 16.7% |
| 7 | 女性は能力発揮の機会が少ない | 6.7% |
| 8 | その他 | 18.3% |

回答計 158.3%

問15 あなたが職場の女性に期待することは主にどんなことですか。(○は3つまで) n=326

1 仕事への意欲	41.1%	7 折衝・創造力	6.7%
2 責任感	39.6%	8 リーダーシップ	7.7%
3 気配り・人当たりのよさ	26.1%	9 判断力	18.1%
4 協調性	30.4%	10 実行力	22.4%
5 専門知識	17.5%	11 勤勉性	10.4%
6 視野の広さ	26.1%	12 その他	2.5%
回答計			248.5%

問16 あなたが職場の男性に期待することは主にどんなことですか。(○は3つまで) n=326

1 仕事への意欲	43.6%	7 折衝・創造力	8.0%
2 責任感	42.6%	8 リーダーシップ	16.6%
3 気配り・人当たりのよさ	15.6%	9 判断力	21.5%
4 協調性	26.7%	10 実行力	25.5%
5 専門知識	17.2%	11 勤勉性	8.3%
6 視野の広さ	20.9%	12 その他	2.8%
回答計			249.1%

問17 仕事と育児が両立できる職場づくりを進めるために、平成17年3月に「職員子育て支援プラン」が策定されましたが、あなたはこのプランを知っていますか。(○は1つ) n=326

1 計画の内容まで知っている	9.8%
2 計画があることは知っている	54.0%
3 計画があることを知らなかった	35.3%
無回答	0.9%

問18 あなたは次の制度を知っていますか。次の a~l ごとに、1~3の中から選んでください。
(○はそれぞれ1つ) n=326

	知っている	あるということは知っている	知らない	無回答
a 妊婦出産休暇	83.4%	14.4%	2.1%	0.0%
b 妊娠初期休暇	46.9%	19.9%	32.8%	0.3%
c 母子保健健診休暇	52.5%	16.3%	31.3%	0.0%
d 妊婦通勤時間	77.6%	15.0%	7.4%	0.0%
e 育児時間	77.6%	15.6%	6.7%	0.0%
f 出産支援休暇	58.3%	18.1%	23.3%	0.3%
g 子の看護のための休暇	73.6%	19.3%	7.1%	0.0%
h 介護休暇	75.5%	23.0%	1.5%	0.0%
I 育児休業	82.2%	15.6%	1.8%	0.3%
j 部分休業	49.7%	20.2%	29.4%	0.6%
k 育児短時間勤務	67.2%	22.7%	10.1%	0.0%
l 時間外労働・深夜業の制限(妊婦及び育児・介護者)	47.5%	32.2%	19.6%	0.6%

問19 今、あなたが育児・介護休業を取るとしたら、どのようなことにためらいを感じますか。(○はいくつでも)

	n=326
1 昇任・昇給等評定に影響があると思うから	12.6%
2 職場に迷惑をかけるから	80.4%
3 職場の理解がないから	6.4%
4 職場復帰が大変そうだから	19.3%
5 経済的に難しいから	30.7%
6 仕事にやりがいを感じているから	5.5%
7 ためらいを感じない	7.1%
8 取得する意思はない	1.8%
9 その他	1.5%
回答計	165.3%

問20 あなたは、育児・介護休業が、男女職員を対象としているのにもかかわらず、男性職員の取得率が低いのはなぜだと思いますか。(○は1つ)

	n=326
1 あまり前例がないから	20.9%
2 育児や介護は女性の仕事という役割分担意識があるから	29.1%
3 育児や介護への経験が少なく、自信が無いから	7.7%
4 仕事優先という意識があるから	22.4%
5 職場の理解が低いから	10.4%
6 その他	7.1%
無回答	2.5%

問21 あなたの職場でセクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)を見たり聴いたりしたことはありますか。あるいは、職場で実際に体験したことがありますか。(○は1つ)

	n=326
1 ある	24.2%
2 無い	73.3%
無回答	2.5%

問22 (問21で、「1 ある」と答えた方に伺います。)

それはどのようなことですか。(○は該当するものいくつでも)

	n=79
1 宴会でお酒のお酌やカラオケのデュエットを強要される	31.6%
2 性的な冗談を頻繁にいわれる	34.2%
3 理由もなく食事にたびたび誘われる	12.7%
4 結婚の予定や出産予定をたびたび聞かれる	15.2%
5 故意に体を触られる	31.6%
6 容姿について繰り返し言われる	26.6%
7 立場を利用して性的関係を迫られる	1.3%
8 帰宅途中、後をつけられる	3.8%
9 性的な内容の手紙・電子メールや電話を受ける	2.5%
10 スラウド写真などを見たくもないのに見せられたりする	2.5%
11 その他	13.9%

生活についてお伺いします

問23 あなたの生活の中で、現在特に興味をもっているのは何ですか。(○は3つまで)

n=326

1 仕事	29.1%	8 老後のこと	31.3%
2 趣味・習い事・旅行	49.7%	9 地域活動	7.4%
3 老親のこと	28.8%	10 社会・政治	4.6%
4 結婚	5.8%	11 学習・教養活動	7.1%
5 子育て	33.1%	12 健康	45.1%
6 財テク	6.4%	13 その他	1.2%
7 友人	4.3%	無回答	1.5%
			<u>回答計</u> 255.5%

問24 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。次の中から選んでください。(○は1つ)

n=326

1 そのとおりだと思う	3.1%	4 どちらかといえばそう思わない	16.9%
2 どちらかといえばそう思う	13.8%	5 まったくそうは思わない	41.7%
3 どちらともいえない	23.3%	無回答	1.2%

問25 「子育ては母親の仕事」・「家事は女性の仕事」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。それぞれ当てはまるものを、1～4の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

n=326

	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答
a 「子育ては母親の仕事」という考え方	4.0%	32.8%	16.9%	45.1%	1.2%
b 「家事は女性の仕事」という考え方	2.5%	19.6%	23.0%	53.7%	1.2%

問26 既婚(配偶者同居)の方に伺います。

あなたの家庭では家事、育児などの分担はどのようにしていますか。

a～kの各項目ごとに、1～6の中から選んでください。(○はそれぞれ1つ)

n=326

	夫の担当	どちらか といえば 夫の担当	夫と妻と 同程度	どちらか といえば 妻の担当	妻の担当	どちらで もない、 その他	無回答
a 家庭の重大問題の決定	8.3%	21.3%	60.4%	5.0%	1.7%	1.3%	2.1%
b 家計の管理	4.6%	5.8%	32.1%	20.4%	33.3%	1.7%	2.1%
c 食事の支度	0.8%	2.5%	17.9%	32.9%	42.9%	1.3%	1.7%
d 食後の後片付け	8.8%	10.4%	22.5%	32.1%	19.2%	5.4%	1.7%
e 掃除	4.6%	11.3%	27.5%	29.6%	24.6%	0.8%	1.7%
f 洗濯	5.0%	9.2%	25.4%	27.5%	29.2%	1.7%	2.1%
g 買い物	1.3%	4.6%	38.8%	31.7%	21.7%	0.4%	1.7%
h ゴミ出し	20.0%	21.3%	22.9%	16.3%	12.1%	5.8%	1.7%
I 子育て	0.4%	0.8%	42.5%	34.2%	5.0%	11.3%	5.8%
j 家族の看護や介護	0.0%	2.9%	35.0%	28.3%	10.0%	18.3%	5.4%
k 町会・自治会等地域での つきあい	7.9%	15.8%	26.7%	17.9%	12.5%	14.6%	4.6%

最後にあなたご自身のことについてお伺いします

F1 あなたの性別を教えてください。

n=326

- | | |
|------|-------|
| 1 女性 | 58.3% |
| 2 男性 | 41.7% |

F2 あなたの年齢を教えてください。

n=326

- | | | | |
|----------|-------|----------|-------|
| 1 ～29歳 | 5.8% | 3 40～49歳 | 37.7% |
| 2 30～39歳 | 22.4% | 4 50～60歳 | 34.0% |

F3 あなたの職層を教えてください。

n=326

- | | |
|--------|-------|
| 1 管理職 | 4.0% |
| 2 係長級職 | 25.5% |
| 3 一般職員 | 70.2% |
| 無回答 | 0.3% |

F4 あなたの職種は以下のどれにあたりますか。

n=326

1	事務系 (一般事務、社会教育)	42.9%
2	福祉系 (福祉、保育士、児童指導、心理)	30.7%
3	一般技術系 (土木、造園、建築、機械、電気、保健・食品衛生監視、化学技術、学芸員)	11.0%
4	医療技術系 (医師、診療放射線、歯科衛生士、理学・作業療法士、検査技術、栄養士、保健師、看護師、准看護師)	3.7%
5	技能系 (介護指導、電話交換、警備(学校開放員含む)、作業Ⅰ、調理、用務、自動車運転Ⅲ、作業Ⅲ)	9.8%
6	業務系 (一般業務、一般事務〔業務〕)	1.5%
	無回答	0.3%

F5 あなたは現在、結婚していますか。 n=326

1	結婚している	73.3%
2	結婚していない	26.4%
	無回答	0.3%

F6 配偶者の就労状況は以下のどれにあたりますか。(配偶者のいる方のみお書きください。) n=326

1	民間常勤	27.6%	4	自営等(家族従業者含む)	5.0%
2	官公庁常勤	43.9%	5	無職	13.8%
3	派遣・パート・アルバイト	7.9%	6	その他	0.8%
				無回答	0.8%

F7 一番年下のお子さんの状況は以下のどれにあたりますか。 n=326

1	乳幼児	11.3%	5	高校生以上	17.5%
2	小学生(3年生以下)	7.7%	6	社会人	13.2%
3	小学生(4年生以上)	8.6%	7	子どもはいない	15.3%
4	中学生	5.8%		無回答	20.6%

F8 あなたの世帯構成は、以下のどれにあたりますか。 n=326

1	単身世帯(ひとり暮らし)	8.3%	4	三世帯世帯(親と子と孫)	6.7%
2	一世帯世帯(夫婦のみ)	16.6%	5	その他の世帯	0.6%
3	二世帯世帯(親と子)	58.0%		無回答	9.8%

ご協力ありがとうございました。

**豊島区職員の男女平等意識に関する調査
報告書**

平成 22 年 3 月

発 行 豊島区総務部人事課
豊島区立男女平等センター（エポック 10）
豊島区西池袋 2 - 3 7 - 4
電話 03（5952）9501